

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1712152号99
成績書管理番号 : 1-09

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-09

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月11日
至 令和2年9月11日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) 関原発第239号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-09

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月11日	良	大江 勇人 	ボ行一、ク一七シ 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年 6月 11日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年 6 月 12 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・◎	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年6月12日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 格納容器安全設備 主配管 原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口配管分岐点～弁 (3MOV-5420) 弁 (3MOV-5420) ～格納容器貫通部 PEN#301 格納容器貫通部 PEN#301～弁 (3V-5421) 弁 (3V-5421) ～原子炉下部キャビティ取合点 : ※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0111、M3-1-0112 ・目視で確認した範囲：— ※1：別紙1～21参照			

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(1) 格納容器安全設備に係る次の事項

リ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

名称	変更前			変更後			
	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	
格納容器安全設備 原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)					(注3, 27) 88.9	(注3, 15, 27) 5.5	(注27) SUS27TP
					(注3) 88.9	(注3) 5.5	SUS304TP
					(注3) 89.1	(注3) 5.5	SUS304TP
					(注3) 114.3	(注3, 15) 6.0	SUS304TP
					(注3) 165.2	(注3, 15) 7.1	SUS304TP

変更前				変更後					
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	さ材	料		
格納容器安全設備				原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)	2.7	95	(注3)	(注3)	
							114.3	6.0	SUS304TP
							/	/	
							88.9	5.5	
							(注3)	(注3)	
							165.2	7.1	SUS304TP
/	/								
89.1	5.5								
(注3)	(注3)								
165.2	7.1								
/	/								
165.2	7.1								
/	/								
-	-								

名 称		変 更 前			変 更 後			材 料					
		最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	最高使用 圧 (MPa)		最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
格納容器安全設備		—	—	—	—	—	2.7	95	(注3)	88.9	(注3)	5.5	SUS304TP
									—	—	—	—	
原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)		—	—	—	—	—	2.7	95	(注3)	88.9	(注3)	5.5	SUS304TP
									—	—	—	—	

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材	料
格納容器安全設備							
	弁 (3MOV-5420) ~ 格納容器貫通部 PEN#301	2.7	138	(注3, 27)	(注3, 27)	(注27)	(注27)
				88.9	5.5	SUS27TP	
				(注3)	(注3, 15)		
	格納容器貫通部 PEN#301 ~ 格納容器貫通部 弁 (3V-5421)	2.7	138	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)
				114.3	6.0	SUS304TP	
				114.3	6.0	SUS304TP	
				(注3)	(注3, 15)	(注3, 15)	(注3, 15)
				88.9	5.5	SUS304TP	SUS304TP

4

5

変更前				変更後						
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料			
格納容器安全設備				弁 (3V-5421) ～ 原子炉下部 キャビティ 取合点	2.7	138	SUS27TP	(注3, 27) 88.9	(注3, 15, 27) 5.5	(注27) SUS27TP
								(注3)	(注3, 16)	(注3)
								88.9	5.5	SUS304TP
								(注3)	(注3, 16)	(注3)
								165.2	7.1	SUS304TP
								(注3)	(注3)	(注3)
165.2	7.1	138	SUS304TP							
89.1	5.5	2.7	138	89.1	5.5	SUS304TP				
88.9	5.5	2.7	138	88.9	5.5	SUS304TP				
89.1	5.5	2.7	138	89.1	5.5	SUS304TP				

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁 (3-6400A、B) 」と記載
(注2) SI単位に変換したものである。

- (注3) 公称値
- (注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注6) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備）のうち消火設備と兼用
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-6400A、B）～A、B、C、D内部スプレポンプへの分岐点」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁（3-6408A、B）」と記載
- (注9) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用
- (注10) 重大事故等時における使用時の値
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-6408A、B）～内部スプレポンプへの合流点」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプへの分岐点～内部スプレポンプ入口レギュレーサ（10×8）」と記載
- (注13) SUS27TP同等材（SUS304TP）への取替えを行う。
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口レギュレーサ（8×6）～内部スプレクレーラへの合流点」と記載
- (注15) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクレーラ入口合流点～内部スプレクレーラ出口分岐点」と記載
- (注17) 重大事故等時に使用
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクレーラ出口分岐点～レギュレーサ（8×6）」及び「レギュレーサ（8×6）および分岐点～オリフィス」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ（8×6）および分岐点～オリフィス」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「オリフィス～内部スプレリングヘッダー」と記載
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレリングヘッダー（1A、2A、4A、1B、2B、4B）」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレリングヘッダー（3A、3B）」と記載

變更前		變更後									
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
格納容器安全設備 原子炉下部 キャビテイ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)	2.7	95	(注3)	(注3, 16) 5.5	SUS27TP	變更なし	(注10) 2.7	(注10) 95			
			(注3)	(注3) 5.5	SUS304TP						
			(注3)	(注3) 5.5	SUS304TP						
			(注3)	(注3) 5.5	SUS304TP						
			(注3)	(注3, 16) 6.0	SUS304TP						
			(注3)	(注3, 16) 7.1	SUS304TP						

変更前				変更後			
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	口径 (mm)	材料	名称
格納容器安全設備	2.7	95	(注3) 114.3	(注3) 6.0	(注3) 88.9	SUS304TP	変更なし
			/	/	/		
			(注3) 89.1	(注3) 5.5	(注3) 88.9		
原子炉下部 キャビタイ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)	2.7	95	(注3) 165.2	(注3) 7.1	(注3) 89.1	SUS304TP	変更なし
			/	/	/		
			(注3) 165.2	(注3) 7.1	(注3) 89.1		
格納容器安全設備							変更なし

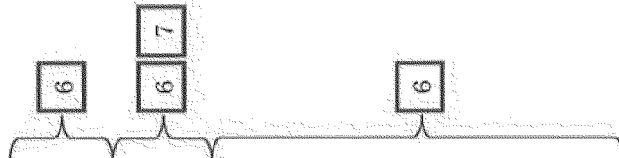
		変 更 前					変 更 後						
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
格納容器安全設備				(注3) 88.9	(注3) 5.5		格納容器安全設備						
	原子炉下部 キャビタイ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)	2.7	95	/	/	SUS304TP		変更なし	(注10) 2.7	(注10) 95			変更なし
				(注3) 88.9	(注3) 5.5								
				/	/	SUS304TP							
				/	/	SUS304TP							
				(注3) 89.1	(注3) 5.5								

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
格納容器貫通部 弁 (3MOV-5420) ～ 格納容器貫通部 PEN#301	2.7	138	(注3) 88.9	(注3) 5.5	SUS27TP	変更なし	(注10) 2.7	(注10) 138	変更なし	変更なし	変更なし
			(注3) 114.3	(注3, 15) 6.0	SUS304TP						
			(注3) 114.3 ／ 88.9	(注3) 6.0 ／ 5.5	SUS304TP						
格納容器貫通部 PEN#301 ～ 弁 (3V-5421)	2.7	138	(注3) 88.9	(注3, 15) 5.5	SUS304TP	変更なし	(注10) 2.7	(注10) 138	変更なし	変更なし	変更なし

4

5

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
格納容器安全設備 弁 (3V-5421) ～ 原子炉下部 キャビティ 取合点	2.7	138	(注3)	(注3, 15)	SUS27TP	変更なし	(注10)	(注10)	138	変更なし	
			88.9	5.5							
			(注3)	(注3, 15)	SUS304TP						
			88.9	5.5							
			(注3)	(注3, 15)	SUS304TP						
			165.2	7.1							
(注3)	(注3)	SUS304TP	格納容器安全設備	(注10)	2.7	(注10)	138	変更なし	変更なし		
165.2	7.1										
/	/	SUS304TP									
89.1	5.5										
(注3)	(注3)	SUS304TP									
88.9	5.5										
/	/										
/	/										
89.1	5.5										



(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁 (3-6400A、B)」と記載
(注2) SI単位に変換したものである。



工事計画認可申請	第7-2-2因
美 法 業 電 所	第 3 号 機
原子炉格納施設の系統図 (圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)) (2/10) (重大事故等対策設備)	
関 西 電 力 株 式 会 社	

- 3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項
 (1) 格納容器安全設備に係る次の事項
 リ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

* 常設

変更前				変更後									
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
格納容器安全設備						原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ出口配管 分岐点 弁 (3MOV-5420)	2.7	95	(注3, 27)	(注3, 15, 27)	(注27)	SUS277P	
									88.9	5.5	88.9		5.5
									(注3)	(注3)	(注3)		(注3)
									88.9	5.5	89.1		5.5
									(注3)	(注3)	(注3)		(注3)
									114.3	6.0	(注3, 15)		SUS304TP
165.2	7.1	(注3, 15)	SUS304TP										

1

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	さ材	料
格納容器安全設備							
	弁 (3MOV-5420) ~ 格納容器貫通部 PEN#301	2.7	138	(注3,27) 88.9	(注3,27) 5.5	(注27) SUS27TP	(注27)
				(注3) 114.3	(注3,15) 6.0	SUS304TP	
				(注3) 114.3	6.0	SUS304TP	
				88.9	5.5	SUS304TP	
	格納容器貫通部 PEN#301 ~ 弁 (3V-5421)	2.7	138	(注3) 88.9	(注3,15) 5.5	SUS304TP	

2

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料
	格納容器安全設備			(注3, 27) 88.9	(注3, 15, 27) 5.5	(注27) SUS27TP	4
				(注3) 88.9	(注3, 16) 5.5	SUS304TP	
	弁 (3V-5421) ～ 原子炉下部 キャビティ 取合点	2.7	138	(注3) 165.2	(注3, 15) 7.1	SUS304TP	
				(注3) 165.2	(注3) 7.1	7.1	7.1
	格納容器安全設備			(注3) 89.1	(注3) 5.5	SUS304TP	
				(注3) 88.9	5.5	5.5	
	格納容器安全設備			89.1	5.5	SUS304TP	
				89.1	5.5	5.5	

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁 (3-6400A、B)」と記載

(注2) SI単位に変換したものである。

- (注3) 公称値
- (注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注6) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備）のうち消火設備と兼用
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-6400A、B）～A、B、C、D内部スプレポンプへの分岐点」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁（3-6408A、B）」と記載
- (注9) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用
- (注10) 重大事故等時における使用時の値
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-6408A、B）～内部スプレポンプへの合流点」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプへの分岐点～内部スプレポンプ入口レギュレーサ（10×8）」と記載
- (注13) SUS27TP同等材（SUS304TP）への取替えを行う。
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口レギュレーサ（8×6）～内部スプレクーラへの合流点」と記載
- (注15) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-6417A、B）～エダクタ」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「よう素除去薬品タンク～弁（3-6417A、B）」と記載
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクーラ出口分岐点～弁（3-6411A、B）」と記載
- (注26) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注27) 本設備は既存の設備である。

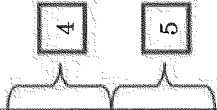
1

変更前		変更後									
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
格納容器安全設備 原子炉下部 キャビタイ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)	2.7	95	(注3)	(注3, 15)	SUS27TP	変更なし	(注10)	(注10)	95	変更なし	変更なし
			88.9	5.5							
			(注3)	(注3)	SUS304TP						
			88.9	5.5							
			(注3)	(注3)	SUS304TP						
89.1	5.5										
	2.7	95	(注3)	(注3, 15)	SUS304TP	変更なし	(注10)	(注10)	95	変更なし	変更なし
			114.3	6.0							
			(注3)	(注3, 15)	SUS304TP						
			165.2	7.1							

2

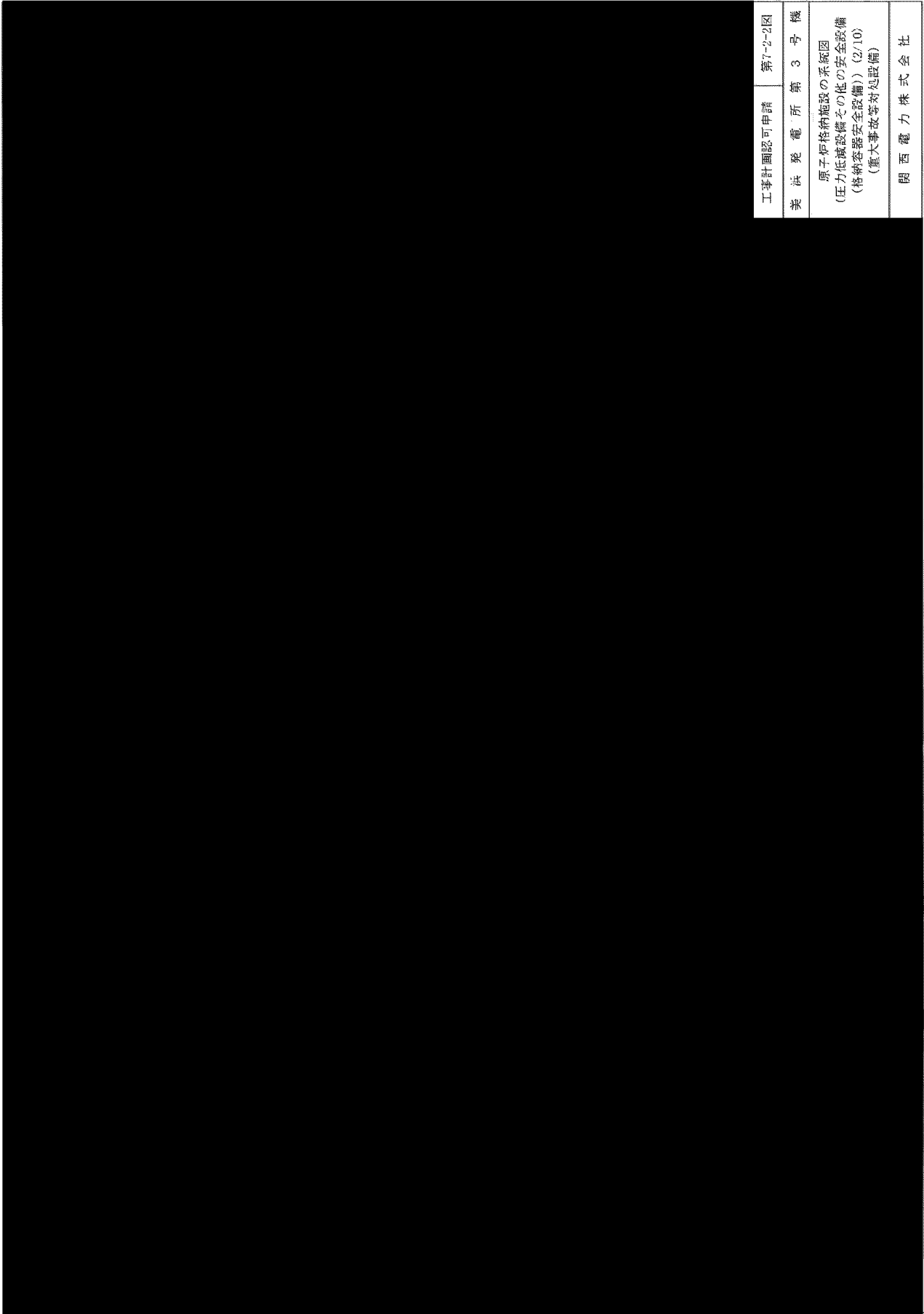
變更前		變更後				
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料
格納容器貫通部 PEN#301	弁 (3MOV-5420) ~ 格納容器貫通部 PEN#301	2.7	138	88.9	5.5	SUS27TP
				114.3	6.0	SUS304TP
				114.3 /	6.0 /	SUS304TP
格納容器貫通部 PEN#301 ~ 弁 (3V-5421)	格納容器貫通部 PEN#301 ~ 弁 (3V-5421)	2.7	138	88.9	5.5	SUS304TP
格納容器安全設備						
格納容器安全設備						

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
格納容器安全設備 弁 (3V-5421) ～ 原子炉下部 キャビテイ 取合点	2.7	138	(注3)	(注3, 15) 5.5	SUS27TP	変更なし	2.7	138			変更なし
			(注3)	(注3, 15) 5.5	SUS304TP						
			(注3)	(注3, 15) 7.1	SUS304TP						
			(注3)	7.1	SUS304TP						
			／	／	／						
			(注3)	89.1	／						
(注3)	88.9	5.5	／	／	／	／	／	／	／	／	／
(注3)	89.1	5.5	／	／	SUS304TP						



(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画には「燃料取換用水タンク～弁 (3-6400A、B)」と記載
(注2) SI単位に変換したものである。




- (注3) 公称値
- (注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注6) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備）のうち消火設備と兼用
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-6400A、B）～A、B、C、D内部スプレポンプへの分岐点」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁（3-6408A、B）」と記載
- (注9) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用
- (注10) 重大事故等時における使用時の値
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-6408A、B）～内部スプレポンプへの合流点」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプへの分岐点～内部スプレポンプ入口レギュレーサ（10×8）」と記載
- (注13) SUS27TP同等材（SUS304TP）への取替えを行う。
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口レギュレーサ（8×6）～内部スプレクローラへの合流点」と記載
- (注15) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。



工事計画認可申請	第7-2-2図
発電所	第3号機
原子炉格納施設の系統図 (圧力低下設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) (2/10) (重大事故等対応設備))	
関西電力株式会社	

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-09

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 8月4日	良	森田 豊  北村 博史 	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年 8月 4日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年 8月 4日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年 8月 4日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部、圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備) 固定式配管貫通部、貫通配管 301 ※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0112、M3-1-0157 ・目視で確認した範囲：— ※1：別紙22～24参照			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年 8月 4日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備) 主配管 ※1 原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口配管分岐点～弁(3MOV-5420) 弁(3MOV-5420)～格納容器貫通部PEN#301 格納容器貫通部PEN#301～弁(3V-5421) 弁(3V-5421)～原子炉下部キャビティ取合点			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div>	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0111、M3-1-0112 ・目視で確認した範囲：— ※1：別紙1～21(令和2年6月11日及び12日実施分)参照			

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

1 原子炉格納容器に係る次の事項

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配給貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、主要寸法及び材料

b 固定式配管貫通部

(11/16)

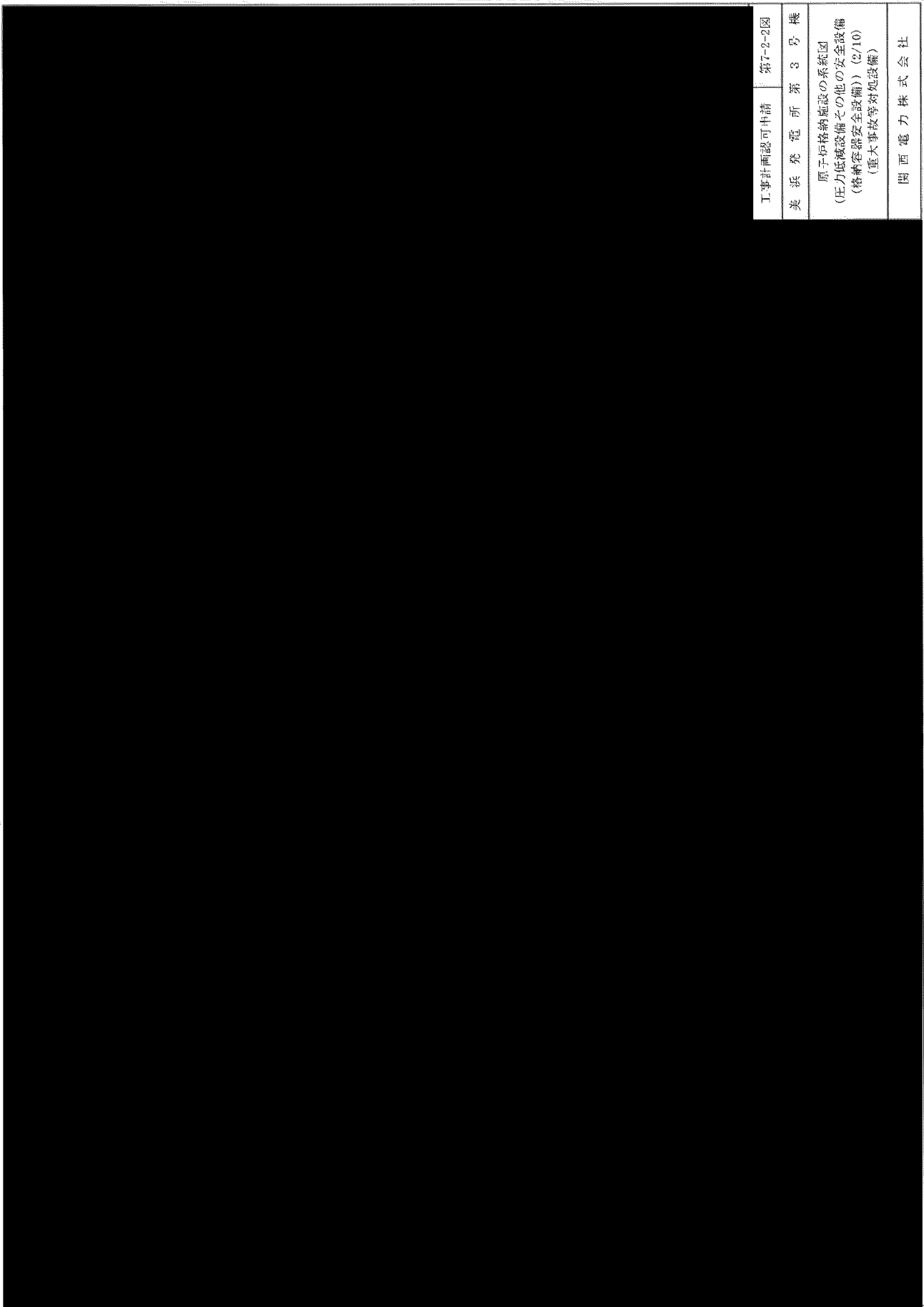
貫通部番号	種類	個数	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	変更前			変更後			材
						貫通部番号	種類	個数	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	
301	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	(注1) 301	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
				122	端板							
				95	貫通配管							
288	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	(注1) 288	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
				122	端板							
				95	貫通配管							
383 384	3B 貫通部	2	0.261	122	スリーブ	(注1) 383 384	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
				122	端板							
				95	貫通配管							

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「設計圧力」と記載

(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「設計温度」と記載



- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部端板寸法 (mm)」と記載
- (注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「端板材料」と記載
- (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年2月20日付け48発行第4409号にて認可された工事計画の参考資料2「格納容器を貫通する管一覧表」による。
- (注7) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計圧力 [] し、SI単位に換算したものである。
- (注8) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計温度の値
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「貫通部スリーブ」と記載
- (注10) 公称値
- (注11) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A333 Gr. 6」と記載
- (注13) 重大事故等時おける使用時の値
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27HP」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49 (JIS G 3118)」と記載
- (注16) 貫通配管については、計測制御系統施設と兼用
- (注17) 貫通配管については、計測制御系統設備のうち制御用空気設備と兼用
- (注18) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び計測制御系統施設のうちばう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注19) 貫通配管については、圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用
- (注20) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器送排気ダクト貫通部」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載



工事計画認可申請	第7-2-2図
美浜発電所	第3号機
原子炉格納施設の系統図 (圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) (2/10) (重大事故等対処設備))	
関西電力株式会社	

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-09

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年9月17日	良	須貝 実 	ボラー・タービン 主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年9月8日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年 9月 8日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：I-09

検査年月日：令和2年 9月 8日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 熱交換器 A格納容器循環冷暖房ユニット ※1 主配管 A格納容器循環冷暖房ユニット～ダクト開放機構 ※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0321 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：別紙25～31参照			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年 9 月 8 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
△格納容器循環冷暖房ユニット～ダクト開放機構	外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査	別添1参照	良	目視
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年 9 月 11 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
A格納容器循環冷暖房ユニット	外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査	別添1参照	良	目視
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年9月8日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査 漏えい検査	精密デジタル 圧力計				2019. 4. 17 2022. 4. 16	
以下余白						

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-09

検査年月日：令和2年9月11日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査	ブルン管式				2020. 6. 10	
漏えい検査	圧力計				2020. 9. 30	
耐圧検査	ブルン管式				2020. 6. 10	
漏えい検査	圧力計				2020. 9. 30	
以下余白						

原子炉格納施設

- 3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項
 (4) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項
 □ 熱交換器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、伝熱面積、主要寸法、材料及び取付箇所

・常設

(1/2)

種 類		名 称		変 更 前	変 更 後
容量 (設計熱交換量) ⁽¹⁾⁽²⁾	MW/個	—	—	—	A格納容器循環冷房ユニット ⁽¹⁾⁽²⁾
管側	最高使用圧力 ⁽¹⁾⁽²⁾	MPa	—	—	冷却コイル
	最高使用温度 ⁽¹⁾⁽²⁾	°C	—	—	1.2
胴側	最高使用圧力 ⁽¹⁾⁽²⁾	MPa	—	—	161
	最高使用温度 ⁽¹⁾⁽²⁾	°C	—	—	—
伝	熱 面 積 ⁽¹⁾⁽²⁾	m ² /個	—	—	155
主要寸法		吸 込 口 径	mm	—	—
		吐 出 口 径	mm	—	—
		た 横	mm	—	—
		高 さ	mm	—	—
材	料	—	—	—	—
個	数	—	—	—	1

①

(2/2)

変更前		変更後															
<table border="1"> <tr> <td>系名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の高さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </table>		系名	—	(ライン名)	—	設置床	—	溢水防護上の番号	—	区画番号	—	溢水防護上の高さ	—	配慮が必要な高さ	—	A格納容器循環ライン	
系名	—																
(ライン名)	—																
設置床	—																
溢水防護上の番号	—																
区画番号	—																
溢水防護上の高さ	—																
配慮が必要な高さ	—																
取付箇所																	

①

②

又 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

		変更前				変更後					
名	称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	料
		圧	温度	(mm)	(mm)		名	圧	温度	(mm)	
		(MPa)	(°C)				(MPa)	(°C)			
						(119)			(118)		
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備											
放射線物質濃度制御設備及び											
A格納容器											
循環冷暖房											
ユニット											
～											
ダクト											
開放機構											
							(115)	(115)	(115)	(118)	
							0	155	2,300 ×	3.2	亜鉛鉄板
									2,300		

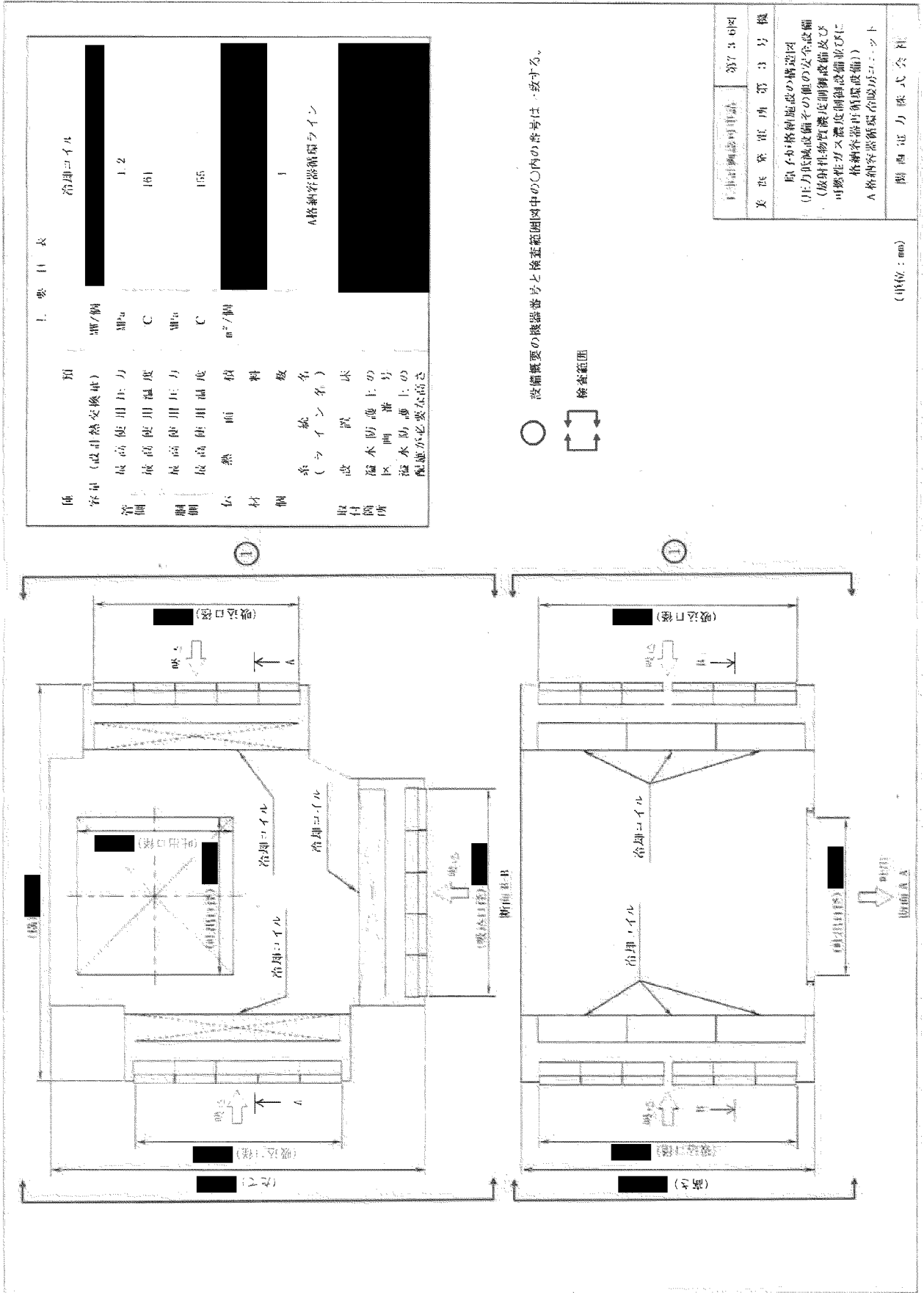
- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「アニュラス循環ダクト」と記載
- (注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注3) 公称値
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(板厚) 2.3t、3.2t」と記載
- (注5) 重大事故等時における使用時の値
- (注6) 入口と出口の口径が異なる管である。
- (注7) SS41同等材 (SS400) への取替えを行う。
- (注8) 当該箇所については、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注9) 本設備は既存の設備である。
- ②



三井物産株式会社	第3-2-43回
美浜発電所第3号発電機	
原子力発電所系統施設の系統図 (原子力制御室制御系統) (10/14) (重大事故等対応設備)	
関西電力株式会社	



事業計画承認申請書	第7212回
美 威 電 力 有 限 公 司	機
原子力格納施設に係る図 (1) 圧力減衰設備その他の安全設備 (放射性物質管理設備、制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器再循環設備) (2/4) (重大事変等対策設備)	
国 電 電 力 株 式 会 社	



種別	容量 (設計熱交換率)	管側	管/側	冷却コイル
最高使用圧力	MPa	1.2		
最高使用温度	℃	161		
最高使用圧力	MPa		155	
最高使用温度	℃			
熱負荷	m ² /側			
材料				
枚数				
名称				
系統 (ライン名)				A格納容器循環ライン
設置床				
設備地上の区画				
防水防漏上の区画				
設置高さ				
取付箇所				

工事計画認可申請	第734回
実施年度	第33号機
原子力格納施設の構造図 (正圧低減設備その他の安全設備 (放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器循環系冷却コイル))	
関西電力株式会社	

検査対象	最高使用圧力 (MPa) ^{※1}	耐圧検査 規定圧力 (MPa)	耐圧検査時圧力	保持時間 (分)	漏えい検査時圧力	水圧、気圧 区分
A格納容器循環冷 暖房ユニット(管 側)	1.2	1.2 ^{※2}	1.23MPa	11	1.23MPa	水圧
A格納容器循環冷 暖房ユニット〜ダ クト開放機構 ^{※3}	0	0	-0.6063kPa	11	-0.6037kPa	気圧

備考

- ※1：重大事故等時における使用時の値
- ※2：最高使用圧力×1.0 (1.2MPa×1.0=1.2MPa) 以上
- ※3：通気状態で検査を実施

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-10-1

令和2年8月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-10-1

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年8月5日
至 令和2年8月5日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-10-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 8月5日	良	北村 博史 [印]	電気 主任技術者 [印]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-10-1

検査年月日：令和2年 8月 5日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10-1

検査年月日：令和2年 8 月 5 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10-1

検査年月日：令和2年 8月 5日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備） 再結合装置及び電熱器 原子炉格納容器水素燃焼装置 ※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">記録確認</div> </div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1001 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：別紙1			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-10-1

検査年月日：令和2年8月5日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
原子炉格納容器水素燃焼装置 NO. 2	外観検査	-	良	目視
原子炉格納容器水素燃焼装置 NO. 2	組立て及び据付け状態を確認する検査	-	良	
 				
備考				

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(4) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項

ル 再結合装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、再結合効率、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに電熱器の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・常設

			変更前	変更後
名称			—	原子炉格納容器水素燃焼装置
種	類	—		
容	量 (注1)	W/個		■以上 (556 (注2))
個	数	—		12 (予備1 (注3))
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		原子炉格納容器水素燃焼装置
	設 置 床	—		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) ドーム部頂部付近用

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-10-2

令和2年8月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-10-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年7月30日
至 令和2年8月27日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号 (平成29年12月15日) 関原発第427号 (平成30年 3月16日) 関原発第 62号 (平成30年 4月20日) 関原発第158号 (平成30年 6月25日) 関原発第201号 (平成30年 7月 4日) 関原発第414号 (平成30年12月 5日) 関原発第517号 (平成31年 2月 6日) 関原発第 61号 (2019年 5月16日) 関原発第121号 (2019年 6月28日) 関原発第167号 (2019年 7月25日) 関原発第216号 (2019年 9月 2日) 関原発第640号 (2020年 3月24日) 関原発第650号 (2020年 3月30日) 関原発第 30号 (2020年 4月 7日) 関原発第239号 (2020年 8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号: 1-10-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
<p>令和2年 7月30日</p>	<p>良</p>	<p>足立 恭二 須貝 実</p>	<p>ボイラー・タービン 主任技術者</p>	<p>なし</p>

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-10-2

検査年月日：令和2年 7月 30日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10-2

検査年月日：令和2年 7月 30日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10-2

検査年月日：令和2年 7月 30日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 再結合装置 静的触媒式水素再結合装置 別添1-1～別添1-4参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0106 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-10-2

検査年月日：令和2年 7月 30日


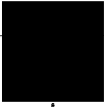
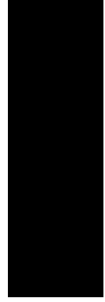

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
静的触媒式水素再結合装置	外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	検査対象（製造番号）： FR1-380T-MB-030*1	良	目視
以下余白				
備考 *1：別添1-1～別添1-3参照				

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-10-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 8月27日	良	上田 洋  福富 晋一 	ボラ-、ク-ビ- 主任技術者  	よし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-10-2

検査年月日：令和 2年 8月 27日

検査場所：美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 27 日

検査場所：美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：1-10-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 27 日

検査場所：美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 再結合装置 静的触媒式水素再結合装置 別添1-1、1-2、1-5参照 (FR1-380T-MB-033)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0106			

設 備 概 要

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(4) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項

ル 再結合装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、再結合効率、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに電熱器の名称、種類、容量、個数及び取付箇所

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	静的触媒式水素再結合装置
種 類	—	静的触媒式		
容 量	—	—		
最 高 使 用 圧 力	—	—		
最 高 使 用 温 度 ^(注1)	℃	500		
再 結 合 効 率 ^(注1)	kg/h/個	1.2 <small>(水素濃度 4vol%、圧力 0.15MPa[abs])</small>		
主 要 寸 法	横 寸	mm		
	奥 行 寸	mm		
	高 寸	mm		
材 料	本 体	—		
個 数	—	5		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	静的触媒式水素再結合装置	
	設 置 床	—		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

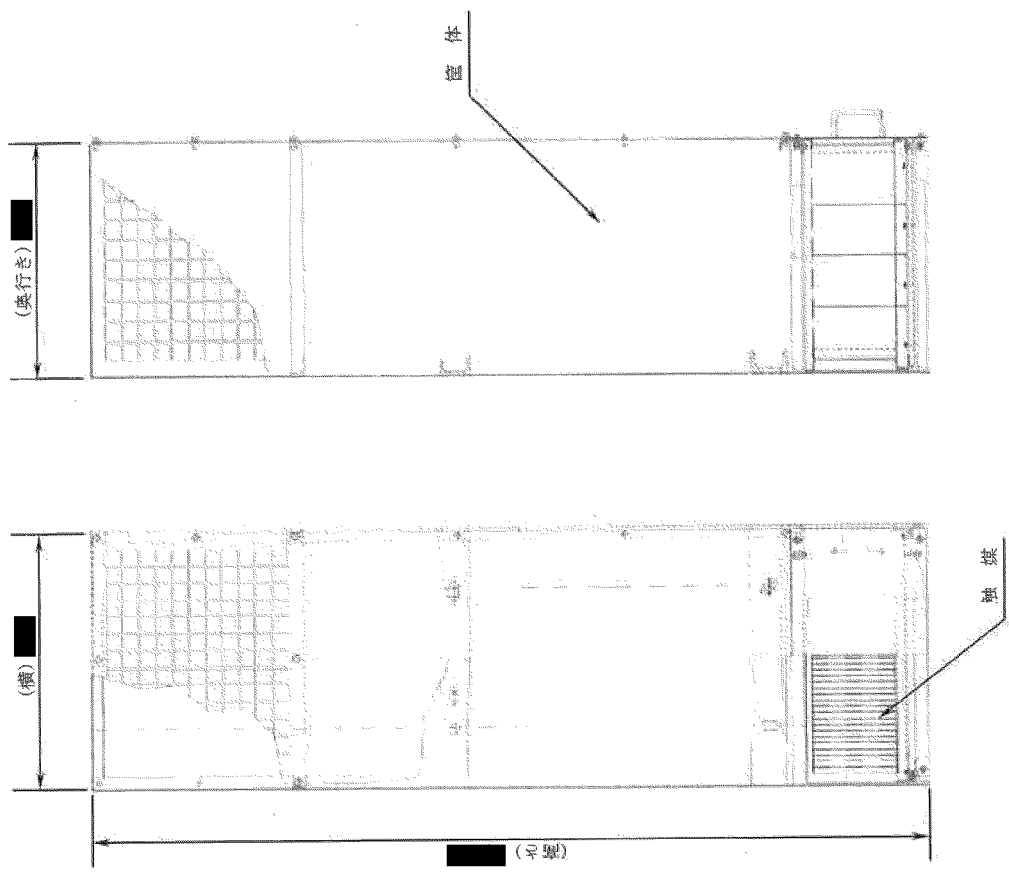
(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 再結合効率は、メーカー型式 FR1-380T の性能評価式の代表点での値

(注3) 公称

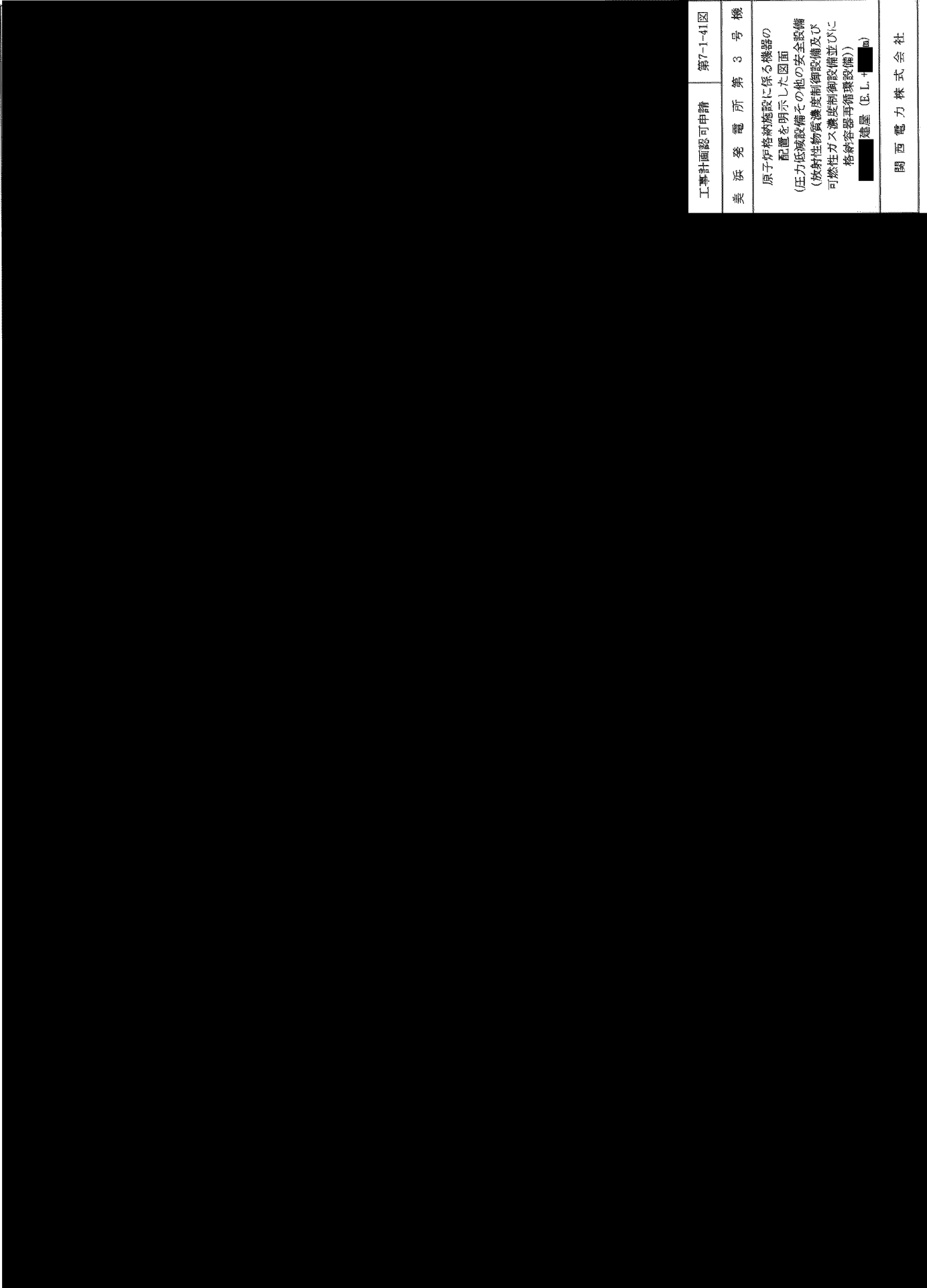
主 要 目 表

種 類	—	靜的触媒式
容 量	—	—
最 高 使 用 圧 力	—	—
最 高 使 用 温 度	℃	500
再 結 合 効 率	kg/h/個	1.2 (水素濃度 4vol%、圧力 0.15MPa[abs])
材 料	—	—
個	—	5
取 付 部 所	—	靜的触媒式水素再結合装置
系 統 名	—	—
設 置 床	—	—
溢 水 防 護 上 の 号	—	—
溢 水 防 護 上 の 配 慮 必 要 な 高 さ	—	—



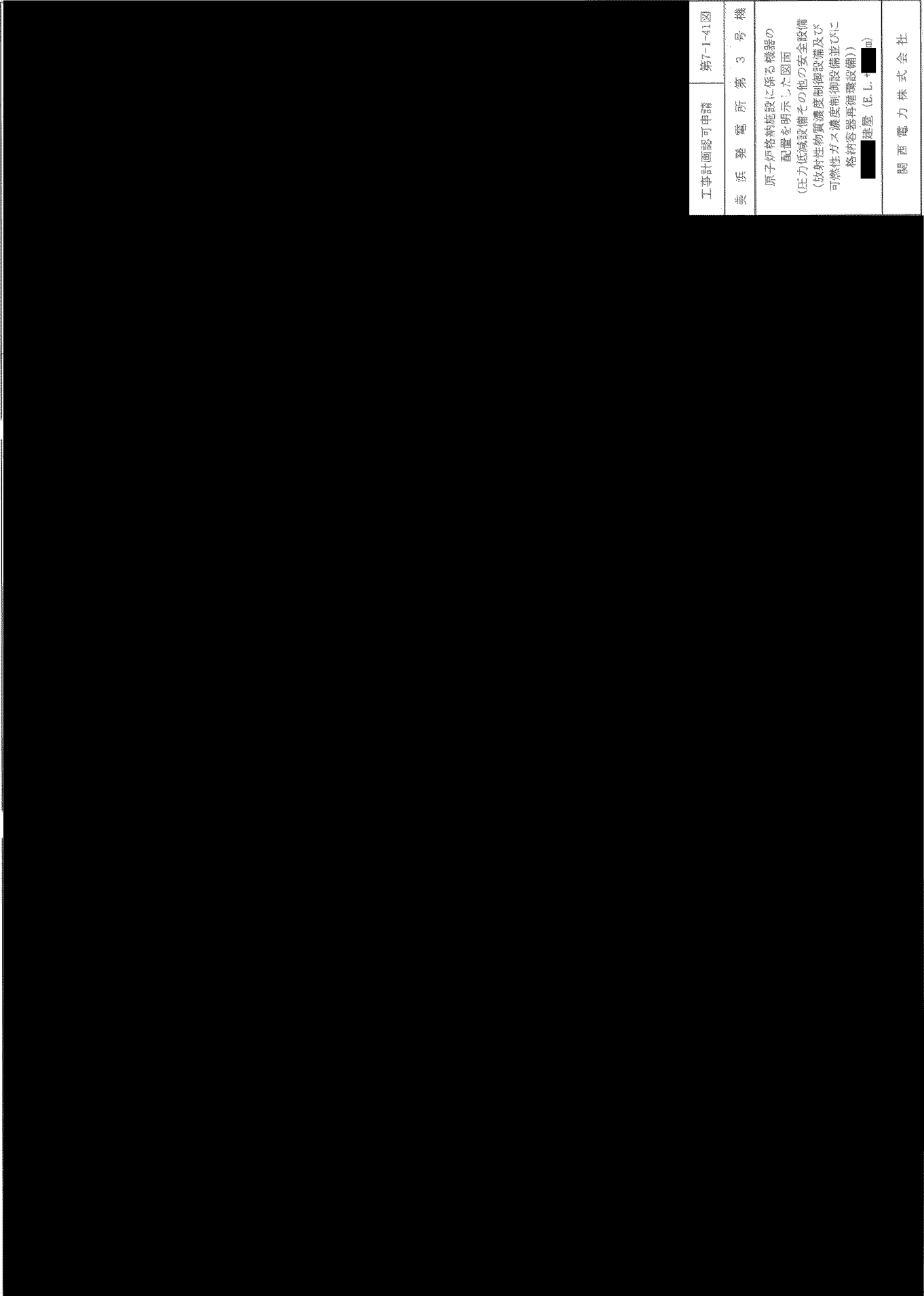
工事計画認可申請	第7-3-7図
美 浜 発 電 所	第 3 号 機
原子炉格納施設の構造図 (圧力低減設備その他の安全設備 (放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器再循環設備)) 靜的触媒式水素再結合装置	
関西電力株式会社	

(単位: mm)



<p>工事計画認可申請</p>	<p>第7-1-41図</p>
<p>美 沃 発 電 所 第 3 号 機</p>	
<p>原子炉格納施設に係る機器の 配置を明示した図面 (圧力低減設備その他の安全設備 (放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器再循環設備)) [建屋 (E.L. + [redacted] m)]</p>	
<p>関西電力株式会社</p>	

工事計画認可申請	第7-1-43図
業 務 発 電 所 第 3 号 機	
原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面 (圧力低減設備その他の安全設備 (放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器再循環設備)) ■■■■■ 建屋 (E.L. + ■■■■■ m) ■■■■■ 建屋 (E.L. + ■■■■■ m)	
関西電力株式会社	



工事計画認可申請 第7-1-41図

美浜発電所第3号機

原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面
(圧力低減設備その他の安全設備
(放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに
格納容器再循環設備))
[redacted] 建屋 (E.L. [redacted] m)

関西電力株式会社

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-11

令和2年6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-11

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月17日
至 令和2年6月17日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-11

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月17日	良	森田 寛二 [印]	ぶらー、タービン [印] 主任技術者	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和2年 6月 17日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和2年 6月 17日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	◎良・◎	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和2年 6月 17日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器本体 (別添1の赤線枠内の範囲) 機器搬出入口 (別添2の赤線枠内の範囲) エアロック (別添3の赤線枠内の範囲) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 (別添4の赤線枠内の範囲)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div>	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0155、M3-1-0903、M3-1-0157 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

1 原子炉格納容器に係る次の事項

(1) 原子炉格納容器本体の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、設計漏えい率、主要寸法、材料及び個数

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類		原子炉格納容器 上部半球、下部さら形鏡円筒形 ^(注1)	変更なし
最 高 使 用 圧 力 ^(注2)	MPa	0.261 ^(注3)	変更なし 0.305 ^(注4)
最 高 使 用 温 度 ^(注5)	℃	122	変更なし 138 ^(注6)
設 計 漏 え い 率 ^(注7)	%/d		変更なし
胴 内 径 ^(注8)	mm		
上 部 鏡 板 内 半 径	mm		
下 部 鏡 板 中 央 部 内 半 径	mm		
下 部 鏡 板 隅 の 丸 み 半 径	mm		
胴 板 厚 さ ^(注9)	mm		
上 部 鏡 板 厚 さ ^(注10)	mm		
下 部 鏡 板 厚 さ ^(注11)	mm		
高 さ ^(注12)	mm		
材 料	—		
個 数	—	1 ^(注13)	

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「上部半球形下部さら形鏡円筒形」と記載
- (注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「設計圧力」と記載
- (注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の設計圧力(内圧2.4Kg/cm²G)を1/0.9倍し、SI単位に換算したものである。
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内圧2.4Kg/cm²G 外圧アニュラス部0.014Kg/cm²G (負圧)」と記載
- (注5) 重大事故等時における使用時の値
- (注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「設計温度」と記載
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「漏えい率」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0.1%/日以下(常温空気設計圧力におい

て)」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載

(注10) 公称値

(注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「38.4m」と記載

(注12) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年8月8日付け
関工発第92号にて軽微変更届出した工事計画の参考資料1「原子炉格納容器板厚ならび
に補強板等の計算（分割第1次申請分資料2-1）」による。

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚胴」と記載

(注14) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚上部半球形鏡」と記載

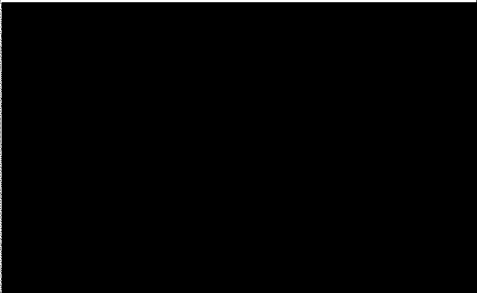
(注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚下部さら形鏡」と記載

(注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載

(注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「80.9m」と記載

(注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49 (JIS G 3118)」と記載

(2) 機器搬出入口の名称、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数

名 称		変 更 前 機器搬入口	変 更 後 変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.261 ^(注1)	変更なし 0.305 ^(注2)
最 高 使 用 温 度	℃	122 ^(注3)	変更なし 138 ^(注2)
主 要 寸 法	内 径 ^(注4)		変更なし
	胴 長 さ		
	ふ た 内 半 径		
	胴 板 厚 さ ^(注7)		
	ふ た 板 厚 さ ^(注8)		
材 料	—		
個 数	—	1	

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計圧力(内圧2.4Kg/cm²G)を1/0.9倍し、SI単位に換算したものである。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計温度の値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴内径」と記載

(注5) 公称値

(注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和47年7月31日付け47公第4147号にて認可された工事計画の添付図面第10図「機器搬入口組立図」による。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「盲板板厚」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49 (JIS G 3118)」と記載

(3) エアロックの名称、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数

名 称		変 更 前 通常用及び非常用エアロック (注1)	変 更 後 変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.261 (注2)	変更なし 0.305 (注2)
最 高 使 用 温 度	℃	122 (注4)	変更なし 138 (注3)
主 要 寸 法	内 径 (注5)	[Redacted]	変更なし
	胴 長 さ		
	胴 板 厚 さ (注7)		
	と び ら 厚 さ (注9)		
材 料	—	通常用I、非常用I (注12)	変更なし
個 数	—		

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「通常用および非常用エアロック」と記載

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計圧力（内圧2.4Kg/cm²G）を1/0.9倍し、SI単位に換算したものである。

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計温度の値

(注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴内径」と記載

(注6) 公称値

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載

(注8) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和47年7月31日付け47公第4147号にて認可された工事計画の添付図面第9-1図「通常用および非常用エアロック組立図」による。

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「扉板厚」と記載

(注10) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49 (JIS G 3118) (耐圧部)」と記載

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「各I」と記載

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、工要寸法及び材料

貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	変更前			変更後					
					構成	外形	長さ	厚さ	寸法	長さ	厚さ	材料	
200	貫通部	1	0.24	122	スリーブ								
					端板								
					貫通配管								
			0.305	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	

- (注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う
- (注2) 記載の適正化を行う 既工事計画書の器版については「端板材料」と記載
- (注3) 記載の適正化を行う 既工事計画書の貫通スリーブについては「板厚」と記載
- (注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う 記載内容は、設計図書による
- (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う 記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計圧力 (内圧2.4kg/cm²G) を1.0.9倍し、SI単位に換算したものである
- (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う 記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計温度の値
- (注7) 記載の適正化を行う 既工事計画書には「貫通部スリーブ」と記載
- (注8) 公称値
- (注9) 記載の適正化を行う 既工事計画書には「SGV49 (JIS G 3118)」と記載
- (注10) 重大事故等時における使用時の値
- (注11) 記載の適正化を行う 既工事計画書には「SI S27HP」と記載
- (注12) SI単位に換算したものである
- (注13) 記載の適正化を行う、既工事計画書には「燃料移送管」と記載

(1.16)

製品情報		外形寸法 (mm)		成形		外径寸法 (mm)		材料	
製品番号	種類	個数	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	寸法	寸法	寸法	寸法	材料
231	3/4B 貫通部	3	0.261	122	スリーブ	291	端板	変更なし	変更なし
232	貫通部	3	0.261	291	端板			0.305	変更なし
234	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	150	端板	0.305	変更なし
254	3/4B 貫通部	1	0.261	150	貫通配管			0.305	変更なし
278	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	122	端板	0.305	変更なし
			0.24	122	貫通配管				変更なし

(2/16)

品番	種類	個数	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構造	外径	長さ (mm)	厚さ (mm)	材料	品番	種類	個数	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構造	外径	長さ (mm)	厚さ (mm)	材料
282	3/4B 貫通部	122	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	0.305	138	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
					端板														
291	3/4B 貫通部	170	0.261	170	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	0.305	138	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
					端板														
327	3/4B 貫通部	122	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	0.305	138	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
					端板														
		122	0.24	122	貫通配管	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし			変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし

(316)

変更前		変更後										
貨番	種類	個数	構造	外径	長さ	厚さ	材料	構造	外径	長さ	厚さ	材料
品番	番号	個数	構造	最大径	長さ	厚さ	材	構造	最大径	長さ	厚さ	材
354	34B 貫通部	1	スリーブ 端板	122	150	0.261		スリーブ 端板	138	150	0.305	
355	34B 貫通部	4	貫通配管	122	150	4.9		貫通配管	138	150	0.305	
375	34B 貫通部	4	スリーブ 端板	122	150	0.261		スリーブ 端板	138	150	0.305	
386	34B 貫通部	4	貫通配管	122	150	0.24		貫通配管	138	150	0.305	
404	34B 貫通部	1	スリーブ 端板	122	343	0.261		スリーブ 端板	138	343	0.305	
378	34B 貫通部	1	貫通配管	122	343	17.16		貫通配管	138	343	0.305	

(416)

変更前		変更後					
貨通部 番号	種類 個数	最高使用 力圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	材 質	外径 長さ (mm)	厚 さ (mm)	変更 理由
381	スリーブ	0.261	122	変更なし	変更なし	変更なし	
	3.4B 貨通部		360	変更なし	変更なし	変更なし	
382 385	スリーブ	0.261	122	変更なし	変更なし	変更なし	
	3.4B 貨通部		360	変更なし	変更なし	変更なし	
452	スリーブ	0.261	122	変更なし	変更なし	変更なし	
	3.4B 貨通部		122	変更なし	変更なし	変更なし	
	貨通部	0.24	122	変更なし	変更なし	変更なし	

(5.16)

異種部 番号	種類	変更前		変更後		材料
		主要寸法 (mm)	厚さ	主要寸法 (mm)	厚さ	
234	IB 異種部	最高使用 圧力 (MPa)	122	0.261	変更なし	変更なし
		最高使用 温度 (°C)	150	150	スリーブ 端板	スリーブ 端板
255	IB 異種部	最高使用 圧力 (MPa)	7.8	7.8	異種配管	異種配管
		最高使用 温度 (°C)	122	122	スリーブ 端板	スリーブ 端板
281	IB 異種部	最高使用 圧力 (MPa)	4.9	50	異種配管	異種配管
		最高使用 温度 (°C)	122	122	スリーブ 端板	スリーブ 端板
		最高使用 圧力 (MPa)	0.305	0.305	変更なし	変更なし
		最高使用 温度 (°C)	138	138	変更なし	変更なし
		最高使用 圧力 (MPa)	0.305	0.305	変更なし	変更なし
		最高使用 温度 (°C)	138	138	変更なし	変更なし

(6.16)

変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後
部 号	種 類	個 数	最 高 使 用 力 温 (MPa)	最 高 使 用 力 温 (°C)	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質
290	18 貫通部	122	0.261	138	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ
					端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板
					貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管
377	貫通部	122	0.261	138	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ
					端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板
					貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管
479	11.2B 貫通部	122	0.261	138	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ	スリーブ
					端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板	端板
					貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管	貫通配管

(7.16)

品番	種別	個数	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構造	変更前			変更後				
						外径	長さ	厚さ	外径	長さ	厚さ		
230	2B	3	0.261	122	スリーブ								
233	貫通部	3		291	端板								変更なし
279													変更なし
			7.48	291	貫通配管								変更なし
259	2B	1	0.261	122	スリーブ								変更なし
275	貫通部	1		170	端板								変更なし
283				170	貫通配管								変更なし
260	2B	3	0.261	122	スリーブ								変更なし
276	貫通部	3		122	端板								変更なし
283													変更なし
			18.8	95	貫通配管								変更なし

貫通部 番号	種類	個数	最高使用 力温 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	変更後			材 料	
					外径	長さ	厚さ		
286	28 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
					端板	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
					貫通配管	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
328	28 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
					端板	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
					貫通配管	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
332	28 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
					端板	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
					貫通配管	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

(8/16)

品番 種類 個数	変更前		変更後		外径 長さ (mm)	材 質	構造	最高使用 温度 (°C)		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 速度 (MPa)	外径 長さ (mm)	厚 さ (mm)	材 料
	品番	種類	品番	種類				最高使用 温度 (°C)	最高使用 圧力 (MPa)					
380 貫通部	2B	1	スリーブ	スリーブ	122		スリーブ	122	0.261	変更なし	0.305	変更なし	変更なし	変更なし
			端板	端板	122		端板	122	0.261	変更なし	0.305	変更なし	変更なし	変更なし
			貫通配管	貫通配管	50		貫通配管	50	0.83	変更なし	0.305	変更なし	変更なし	変更なし
229 貫通部	3B	1	スリーブ	スリーブ	122		スリーブ	122	0.261	変更なし	0.305	変更なし	変更なし	変更なし
			端板	端板	150		端板	150	0.261	変更なし	0.305	変更なし	変更なし	変更なし
			貫通配管	貫通配管	150		貫通配管	150	17.16	変更なし	0.305	変更なし	変更なし	変更なし
261 262 276 貫通部	3B	3	スリーブ	スリーブ	122		スリーブ	122	0.261	変更なし	0.305	変更なし	変更なし	変更なし
			端板	端板	150		端板	150	0.261	変更なし	0.305	変更なし	変更なし	変更なし
			貫通配管	貫通配管	150		貫通配管	150	17.16	変更なし	0.305	変更なし	変更なし	変更なし

(9/16)

変更前		変更後	
品番	仕様	品番	仕様
最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)
外径 (mm)	壁厚 (mm)	外径 (mm)	壁厚 (mm)
材	材	材	材
品番	仕様	品番	仕様
最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)
264	スリーブ	変更なし	変更なし
	端板	変更なし	変更なし
280 285 287	スリーブ	変更なし	変更なし
	端板	変更なし	変更なし
	貫通配管	変更なし	変更なし
289	スリーブ	変更なし	変更なし
	端板	変更なし	変更なし
	貫通配管	変更なし	変更なし

(11.16)

部品 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成 情報	外径 長さ (mm)	厚 さ (mm)	材 質
301	貫通部	1	0.305	138	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし
					端板			
288	貫通部	1	0.305	138	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし
					端板			
383 384	貫通部	2	0.305	138	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし
					端板			
					貫通配管			
			0.98	95				
			18.8	95	貫通配管			
			0.98	95				

(12/16)

普通部 番号	種類	個数	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	外径	長さ	厚さ	材料
228	48 普通部	1	0.261	122	スリーブ				
		1		122	端板				変更なし
			0.98	40	直通配管				変更なし
265	48 普通部	1	0.261	122	スリーブ				
		1		122	端板				変更なし
			0.7	95	直通配管				変更なし
353	48 普通部	1	0.261	122	スリーブ				
		1		343	端板				変更なし
			17.16	343	直通配管				変更なし

(13 頁)

変更前				変更後			
構造部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	主要寸法 (mm)	外径	長さ
302	6B 貫通部	1	0.261	122	スリッ プ	端 板	変更なし
							変更なし
329	6B 貫通部	1	0.261	122	スリッ プ	端 板	変更なし
							変更なし
401	6B 貫通部	1	0.261	122	スリッ プ	端 板	変更なし
							変更なし

(14.16)

変更前		変更後	
部品 番号	部品 名称	部品 番号	部品 名称
402	スリッパ 122 0.261 122 122		スリッパ 138 0.305 138 138
450	スリッパ 122 0.261 150	450	スリッパ 138 0.305 138
451	スリッパ 122 0.261 150	478	スリッパ 138 0.305 138
481	スリッパ 122 0.261 150	481	スリッパ 138 0.305 138
326	スリッパ 122 0.261 122		スリッパ 138 0.305 138
	貫通配管 0.98 95		貫通配管 0.98 95

(15/16)

貨通部 番号	種別	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構造	変更前			変更後		
						外径	長さ	厚さ	外径	長さ	厚さ
376	8B 貫通部	1	0.261	22	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	変更なし
					端板				0.305	138	変更なし
457 477	2 貫通部	2	0.261	22	貫通配管	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	変更なし
					スリーブ				0.305	138	変更なし
458 459 460 475 476	12A 貫通部	5	0.261	22	貫通配管	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	変更なし
					スリーブ				0.305	138	変更なし
454 480	ダクト 貫通部	2	0.261	22	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	変更なし
					端板				0.305	138	変更なし

(16/16)

変更前		変更後	
品番	種類	品番	種類
個数	構造	個数	構造
最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)
長さ	径	長さ	径
厚さ	材	厚さ	材
330 108 387 388 455 貫通部	スリーブ 閉止板	変更なし 0.305 138	変更なし
331 108 千歯 貫通部	スリーブ 閉止板	変更なし 0.305 138	変更なし
325 128 389 390 貫通部	スリーブ 閉止板	変更なし 0.305 138	変更なし
356 128 379 453 貫通部	スリーブ 閉止板	変更なし 0.305 138	変更なし
456 610mm 千歯 貫通部	スリーブ 閉止板	変更なし 0.305 138	変更なし

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
 (注2) 記載の適正化を行う 既工事計画書には「設計圧力」と記載
 (注3) 記載の適正化を行う 既工事計画書には「設計温度」と記載

- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部端板寸法 (mm) と記載
- (注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「端板材料 と記載
- (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年2月20日付け48管序第409号にて認可された工事計画の参考資料2「格納容器を貫通する管一覽表」による
- (注7) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計圧力 [] し、SI単位に換算したものである。
- (注8) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計温度の概
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「貫通部スリーブ」と記載
- (注10) 公称値
- (注11) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A333 Gr.6」と記載
- (注13) 重大事故等時における使用時の値
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SISZIMP」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SQV40 (JIS G 3118) と記載
- (注16) 貫通配管については、計測制御系統施設と兼用
- (注17) 貫通配管については、計測制御系統施設のうち副制御空気設備と兼用
- (注18) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注19) 貫通配管については、圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用
- (注20) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器記録用データ、貫通部」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載

c 伸縮式配管直通部

(1/9)

直通部 番号	種類 個数	最高使用 力温 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成 要素	外径 長さ	厚 さ	材 質	寸法 (mm)	厚 さ	材 質
224 108 263 直通部	2	0.261	138	スリーブ 伸縮継手 端板 (スリーブ 取付) 端板 (配管取付) 短管	122	200	17.16	変更なし	変更なし	変更なし
258 108 直通部	1	0.261	138	スリーブ 伸縮継手 端板 (スリーブ 取付) 端板 (配管取付) 短管	122	200	17.16	変更なし	変更なし	変更なし

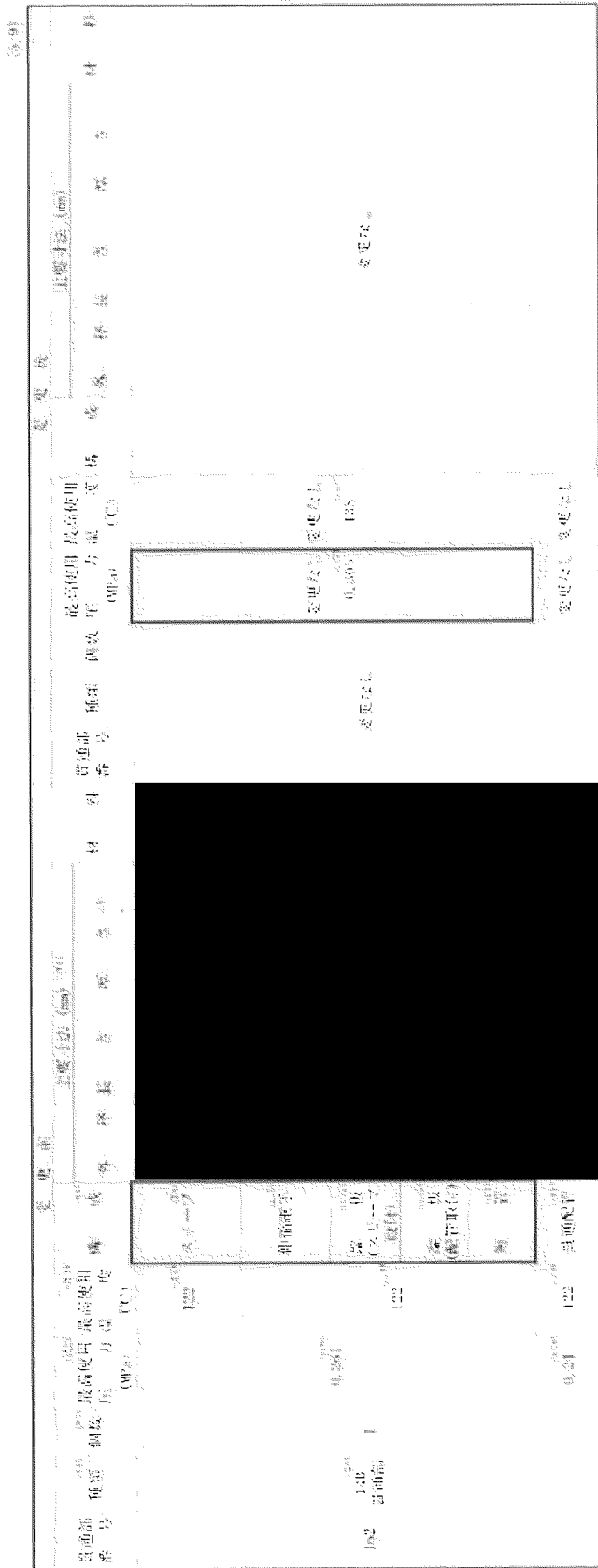
(2.9)

変更情報		変更情報		変更情報		変更情報		変更情報	
貨通部 番号	種類	個数	最大使用 圧 (MPa)	最大使用 温度 (°C)	構造	外径	長さ	厚さ	材質
227	128 貫通部	8	0.261	138	スリーブ 伸縮継手 端 (スリーブ 取付) 端 (スリーブ 取付) 端 (配管取付) 管 短	122			変更なし
277	貫通部	1		138	貫通配管	200			変更なし
256	128 貫通部	1	0.261	138	スリーブ 伸縮継手 端 (スリーブ 取付) 端 (配管取付) 管 短	122			変更なし
			0.98	138	貫通配管	95			変更なし

(3-9)

変更前		変更後	
部品番号	種類	個数	単位
257	貫通部	128	個
	スリーブ	122	個
	伸縮継手	122	個
	端スリーブ (取付)	0.261	個
	端スリーブ (配管取付)	122	個
	継手	0.98	個
	貫通部	95	個

部品番号	種類	個数	単位	材料	外径	長さ	厚さ	成形方法 (mm)	材料
257	貫通部	128	個					変更なし	
	スリーブ	122	個					138	
	伸縮継手	122	個					変更なし	
	端スリーブ (取付)	0.261	個					0.305	変更なし
	端スリーブ (配管取付)	122	個					161	変更なし
	継手	0.98	個					変更なし	
	貫通部	95	個					1.2	変更なし



変更履歴

費通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構造	外径	長さ	厚さ	材料	寸法	変更理由
153	費通部	1	0.261		スリーブ 伸縮継手 端板 (スリーブ 車輪) 端板 (配管取付 板)						
122		122	0.24	122	費通配管						
153		153	0.305	138							
			0.305	138							

(8-9)

品番	種類	原数	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	外形	上寸法 (mm)	厚さ	材質	品番	種類	原数	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	外形	上寸法 (mm)	厚さ	材質
226	16B 普通部	1	0.26	122	スリーブ	伸縮継手					226	変更なし	0.305	変更なし	スリーブ				変更なし
250	168 普通部	2	7.48	230	直通配管	伸縮継手					250	変更なし	0.305	変更なし	伸縮継手				変更なし
351	普通部				スリーブ	端板 (スリーブ取付)					351	変更なし	8.0	138	端板 (スリーブ取付)				変更なし
					端板 (配管取付)	端板 (配管取付)									端板 (配管取付)				
					短管	短管									短管				
					直通配管	直通配管									直通配管				

(9/9)

変更前	変更後			材料
	外径	長さ	厚さ	
品番 225 251 種類 普通部 個数 3 圧力 0.261 温度 122	品番 225 251 種類 普通部 個数 3 圧力 0.305 温度 138	外径 [不明] 長さ [不明] 厚さ [不明]	外径 [不明] 長さ [不明] 厚さ [不明]	材料 [不明]
品番 308 普通部 個数 3 圧力 7.48 温度 291	品番 308 普通部 個数 3 圧力 7.48 温度 291	外径 [不明] 長さ [不明] 厚さ [不明]	外径 [不明] 長さ [不明] 厚さ [不明]	材料 [不明]
品番 308 普通部 個数 1 圧力 0.261 温度 291	品番 308 普通部 個数 1 圧力 0.305 温度 351	外径 [不明] 長さ [不明] 厚さ [不明]	外径 [不明] 長さ [不明] 厚さ [不明]	材料 [不明]
品番 352 種類 普通部 個数 1 圧力 7.48 温度 291	品番 352 種類 普通部 個数 1 圧力 7.48 温度 291	外径 [不明] 長さ [不明] 厚さ [不明]	外径 [不明] 長さ [不明] 厚さ [不明]	材料 [不明]

- (注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「設計圧力」と記載
- (注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「設計速度」と記載
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書の普通部スリーブについては「板厚」と記載
- (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年2月24日付関工発第226号にて軽微変更届出した「工事計画の添付図面第10図 格納容器配管貫通部（その7）（分割第1次申請分第907図）」による
- (注6) 記載の適正化を行う。記載内容は既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計圧力（注2: $k_{ref} \times 1.09$ ）を1.09倍し、SI単位に換算したものである
- (注7) 記載の適正化を行う。記載内容は既工事計画書に記載の原子炉格納容器の設計温度の値
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「XXXXXXXXXX」と記載
- (注9) 公称値
- (注10) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49 (JIS G 3118)」と記載
- (注12) 普通配管については、原子炉冷却系統施設のうち余熱除去設備及び原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉本設備と兼用
- (注13) 重大事故時における使用時の値
- (注14) 経管については、既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ペローズ」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SES01 CS」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「端板」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS01 HP」と記載
- (注19) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年2月20日付け48管片第1409号にて認可された「格納容器を貫通する管一軸表」による。
- (注20) 普通配管については、原子炉冷却系統施設のうち余熱除去設備と兼用
- (注21) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年2月24日付け関工発第226号にて軽微変更届出した「工事計画の添付図面第12図 格納容器配管貫通部（その8）（分割第1次申請分第90-N2図）」による
- (注22) 普通配管については、原子炉冷却系統施設のうち原子炉輔機冷却設備と兼用
- (注23) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年2月24日付け関工発第226号にて軽微変更届出した「工事計画の添付図面第10-1図 格納容器配管貫通部（その2）（15L、175用ペローズ）（分割第1次申請分第90-2図）」による。
- (注24) 普通配管については、原子炉冷却系統施設のうち他原子炉冷却設備との他原子炉本設備と兼用
- (注25) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年2月24日付け関工発第226号にて軽微変更届出した「工事計画の添付図面第9-1図 「内部スプレッド」格納容器配管貫通部（その2）（152F、153F用ペローズ）（分割第2次申請分第75-2図）」による。
- (注26) 普通配管については、原子炉冷却系統施設のうち「蒸気・上給水設備」と兼用
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A316 Gr.70 A300 (SGV480相当)」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SPT49」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SPT42」と記載

d 電線保護管

(1/3)

品番	規格	最高使用温度 (°C)	最大引張力 (MPa)	最大使用温度 (°C)	外径 (mm)	長さ (m)	材質
552, 554		122					ASTM A333 Gr. 6 (GS1PL相当)
556, 560							
562, 575							
576, 577							
578, 579							
580, 625							
626, 627	25	0.261					変更なし
628, 632							
650, 652		122					
653, 654							
655, 656							
658, 659							
660							
661							
662							
663							
676							
677							
680							
681	12	0.261					変更なし
682							
663							
663							
676							
677							

(23)

品番	種類	最高使用力		構造	寸法	材質	用途	備考
		(MPa)	(℃)					
550	■	6	0.261	スリーブ 本体 端 溶接 リング	122	スリーブ 本体 端 溶接 リング	スリーブ 本体 端 溶接 リング	変更なし
553	■							
557	■							
559	■							
561	■	6	0.261	スリーブ 本体 端 溶接 リング	122	スリーブ 本体 端 溶接 リング	スリーブ 本体 端 溶接 リング	変更なし
629	■	2	0.261	スリーブ 本体 端 溶接 リング	122	スリーブ 本体 端 溶接 リング	スリーブ 本体 端 溶接 リング	変更なし
675	■							

13.31

品通部 番号	種類	数量	最高使用 力温 (MPa)	成 外 径	厚 さ	材 料	品通部 番号	種類	数量	最高使用 力温 (MPa)	成 外 径	厚 さ	材 料
526													
527													
528		7	0.261			スリッパ							
529			122			閉止板							
530													
6004													
6011													

- (注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う
- (注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書の直通部スリーブについては「板厚」と記載
- (注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年5月13日付付開工発第13号にて経費変更届出した工事計画書の参考資料2「格納容器電線ケーブル貫通部に関する説明書（分別第1）在中
請分番号資料4」による。
- (注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による
- (注5) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子格納容器の設計耐力（内圧2.4t/cm²）を1.0倍し、SI単位に換算したものである
- (注6) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の取子格納容器の設計温度の値
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載
- (注8) 名称値
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A333 Gr.61」と記載
- (注10) 重大事故発生時における使用時の値
- (注11) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年5月13日付付開工発第13号にて経費変更届出した「工事計画書の資料1「格納容器電線ケーブル貫通部強度計算書（分別第1）申請分
資料30」による。
- (注12) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和19年2月20日付付開工発第1109号にて認可された「工事計画書の資料30「格納容器電線ケーブル貫通部強度計算書（通分番号第201号）による
計算書」による。

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99
成績書管理番号：1-12

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-12

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 8 月 31 日
至 令和 2 年 9 月 1 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録




検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年3月16日) 関原発第62号(平成30年4月20日) 関原発第158号(平成30年6月25日) 関原発第201号(平成30年7月4日) 関原発第414号(平成30年12月5日) 関原発第517号(平成31年2月6日) 関原発第61号(2019年5月16日) 関原発第121号(2019年6月28日) 関原発第167号(2019年7月25日) 関原発第216号(2019年9月2日) 関原発第640号(2020年3月24日) 関原発第650号(2020年3月30日) 関原発第30号(2020年4月7日) 関原発第239号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-12

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 8月31日 9日 1日	良	上田 洋  渋谷 徹 	ボイラー・タービン 主任技術者 	たよし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和2年 8 月 31 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和2年 8月 31日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和2年 8 月 31 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検 査 対 象			
<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉冷却系統施設 蒸気タービンの附属設備、一次冷却材の循環設備、主蒸気・主給水設備、余熱除去設備、非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、化学体積制御設備、原子炉補機冷却設備 ・原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 主配管の支持構造物 ※別添1参照 			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0202 M3-1-0113 M3-1-0229 ・目視で確認した範囲 ※1：添付資料3-3参照 			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(一号検査) (立会検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和2年 8月 31日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 ・主配管の支持構造物	外観検査 組立て及び据付け 状態を確認する検 査	—	良	目視
備考：検査対象設備のうち、目視により確認した支持構造物は以下のとおり P4A-CK074、P4A-CK075、P4A-CK076、P3A-AC006				

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日			
原子炉冷却系統施設	蒸気タービンの附属設備	復水タンク ～ 弁 (3CW-054)	66H-117	10	令和2年 9月1日			
			66H-118	10				
			66H-120	10				
			66H-121	10				
			66H-123	10				
			66H-124	10				
			66H-125	10				
			66H-126	10				
			66H-127	10				
			66H-127A	10				
			66H-16-5	10				
			66H-43	10				
			66H-44	10				
			66H-45	10				
			66H-46	10				
			66H-47	10				
			66H-16-6	10				
			66H-56	10				
		66H-16-7	10					
		66H-16-8	10					
		66H-16-9	10					
				弁 (3CW-054) ～ 復水タンク 海水補給水 ライン合流点		95H-16-10	10	
				復水タンク 海水補給水 ライン合流点 ～ タービン動 補助給水ポンプ		66H-64A	10	
						66H-65	10	
						66H-16-11	10	
				復水タンク ～ 電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点		66H-101	10	
						66H-102	10	
						66H-104	10	
		66H-105	10					
		66H-107	10					
		66H-108	10					
		66H-109	10					
		66H-110	10					
		66H-111	10					
		66H-111A	10					

(2/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	蒸気タービンの附属設備	復水タンク ～ 電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点	66H-16-1	10	令和2年 9月1日
			66H-3	10	
			66H-4	10	
			66H-5	10	
			66H-6	10	
			66H-16-2	10	
			66H-16-3	10	
			66H-13	10	
			電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 電動補助 給水ポンプ	66H-16-4	10
			弁 (3AS-011A, B) ～ タービン動補助 給水ポンプ タービン入口	53H-16-6A	6
				53H-16-6B	6
				53H-16-7	6
				53H-16-12A	6
		53H-16-12B		6	
		53H-16-13		6	
		53H-16-14		6	
		53H-16-15		6	
		53H-16-16A		6	
		53H-16-16B		6	
		53H-16-17		6	
		53H-16-19		6	
		53H-16-20A		6	
		53H-16-20B		6	
		53H-16-18		6	
		53H-16-21		6	
		53H-16-22		6	
		53H-16-23		6	
		53H-16-24		6	
		53H-21	6		
		53H-33	6		
		53H-36	6		
		53H-42	6		
		53H-43	6		
53H-44	6				
H-7	6				
H-9	6				

(3/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	蒸気タービンの附属設備	弁(3FW-550A、B、C 及び 3FW-550A、B、C) ～ 弁 (3FW-502A、B、C)	B3220	4	
			P3F-DB007	4	
			P3F-DB006	4	
			P3F-DB005	4	
			P3F-DB004	4	
			P3F-DB003	4	
			P3F-DB002	4	
			P3F-DB001	4	
			P3F-DA003	4	
			P3F-DA002	4	
			P3F-DA001	4	
			P3F-DB013	4	
			P3F-DB012	4	
			IB6-FW-001-4	4	
			IB6-FW-001-5	4	
			P3F-DB011	4	
			P3F-DB010	4	
			P3F-DB009	4	
			P3F-DA008	4	
			P3F-DA007	4	
			P3F-DA006	4	
			P3F-DA005	4	
			P3F-DB019	4	
			P3F-DB018	4	
			IB6-FW-001-8	4	
			P3F-DB021	4	
			P3F-DB017	4	
			P3F-DB016	4	
P3F-DB015	4				
P3F-DA012	4				
P3F-DA011	4				
P3F-DA010	4				

令和2年
9月1日

(4/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	一次冷却材の循環設備	1次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレ ラインへの分岐点 ～ 加圧器	P3A-CK045	4	令和2年 9月1日
			P3A-CK046	4	
			P3A-CK047	4	
			P3A-CK048	4	
			P3A-CK049	4	
			P3A-CK050	4	
			P3A-CK051	4	
			P3A-CK052	4	
			P3A-CK053	4	
			P3A-CK054	4	
			P3A-CK055	4	
			P3A-CK056	4	
			P3A-CK057	4	
			P4A-CK058	4	
			P4A-CK059	4	
			P4A-CK060	4	
			P4A-CK061	4	
			P4A-CK062	4	
			P4A-CK063	4	
			P4A-CK064	4	
			P4A-CK065	4	
			P4A-CK066	4	
			P4A-CK067	4	
			P4A-CK068	4	
			P4A-CK069	4	
			F4A-CK070	4	
			P4A-CK071	4	
			P5A-CK029	4	
			P5A-CK030	4	
			P5A-CK031	4	
			P5A-CK032	4	
			P5A-CK033	4	
			P5A-CK034	4	
			P5A-CK035	4	
			P5A-CK036	4	
			P5A-CK037	4	
			P5A-CK038	4	

(5/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	一次冷却材の循環設備	1次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレ ラインへの分岐点 ～ 加圧器	P5A-CK038	4	令和2年 9月1日
			P5A-CK042	4	
			P5A-CK040	4	
			P5A-CK041	4	
			P5A-CK043	4	
			P5A-CK044	4	
			P4A-CK072	4	
			P4A-CK073	4	
			P4A-CK074	4	
			P4A-CK075	4	
			P4A-CK076	4	
			P4A-CK077	4	
			P4A-CK078	4	
			P4A-CK079	4	
			P4A-CK080	4	
			P4A-CK081	4	
			P4A-CK082	4	令和2年 9月1日
			P5A-CK083	4	
			P5A-CK084	4	
			P5A-CK085	4	
			P5A-CK087	4	
			P5A-CK086	4	
			P5A-CK089	4	
			P5A-CK088	4	
			P5A-CK090	4	
			P5A-CK091	4	
			P5A-CK092	4	
			P5A-CK093	4	
			P3A-CK001	4	
			P3A-CK002	4	
			P3A-CK003	4	
			P3A-CK004	4	
			P3A-CK005	4	
P3A-CK006	4				
P3A-CK007	4				
P3A-CK008	4				
P3A-CK009	4				

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日	
原子炉冷却系統施設	一次冷却材の循環設備	1次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレ ラインへの分岐点 ～ 加圧器	P3A-CK010	4	令和2年 9月1日	
			P3A-CK011	4		
			P3A-CK012	4		
			P3A-CK013	4		
			P4A-CK014	4		
			P4A-CK015	4		
			P4A-CK016	4		
			P4A-CK017	4		
			P4A-CK018	4		
			P4A-CK019	4		
			P4A-CK020	4		
			P4A-CK021	4		
			P4A-CK022	4		
			P4A-CK023	4		
			P4A-CK024	4		
			P4A-CK025	4		
			P4A-CK026	4		
			P4A-CK027	4		
			P4A-CK028	4		
						加圧器 ～ 弁 (3MOV-8000A、B) 入口レギュレーサ (6×4、4×3)
				P4A-CL001	6	
				RCH-28	6	
			1次冷却材管 A、Bループ高温側 余熱除去系への 分岐点 ～ 弁 (3MOV-8702A、B)	P3A-BD001	12	令和2年 8月31日
	P3A-AC004			12		
	P3A-AC006			12		
	RH-301			12		
	RHH-13			12		
	RHH-14			12		
	RH-313			12		
	RHH-25(A)			12		
	RH-312			12		
	RHH-26			12		
				P3A-CU030	12	令和2年 9月1日
			P3A-CU031	12		

(7/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日	
原子炉冷却系統施設	一次冷却材の循環設備	井 (3V-8940A、B、C) ～ 1次冷却材管 A、B、Cループ 高温側 安全注入系 よりの合流点	SI-457	6	令和2年 9月1日	
			SI-458	6		
			SI-459	6		
	SI-460		6			
	一次冷却材の循環設備	井 (3V-8948A、B、C) ～ 1次冷却材管 A、B、Cループ 低温側 アキュムレータ よりの合流点	1次冷却材管 Aループ高温側 分岐点 ～ 加圧器	P4A-AQ029		12
				P3A-BK004		14
	主蒸気・主給水設備	井 (3FW-520A、B、C) ～ 補助給水配管 合流点	補助給水配管 合流点 ～ 格納容器貫通部 PEN#351.250.226	P4F-CP042		16
				P3F-AM010		16
				P4F-CP043		16
		P3F-AM002		16		
		P3F-AM004		16		
		FWH-6		16		
		FW-004		16		
		FWH-54		16		
		FW-006		16		
		FWH-7		16		
		FWH-8		16		
		FWH-127		16		
		FWH-128		16		
		FWH-9		16		
		FWH-58		16		
		FWH-59		16		
		FWH-10		16		
		P4F-AM003		16		
		P4F-AM004		16		
		FWH-11		16		
FWH-61	16					
FWH-62	16					
P4F-AM007	16					
FWH-12	16					
FWH-65	16					
FWH-14	16					

(8/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サブ番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	補助給水配管 合流点 ～ 格納容器貫通部 PEN#351,250,226	P3F-AM011	16	令和2年 9月1日
			P3F-AM012	16	
			FWH-23	16	
			FW-012	16	
			FWH-73	16	
			FWH-24	16	
			P3F-AM014	16	
			FWH-74	16	
			FWH-26	16	
			FWH-27	16	
			FWH-35	16	
			FW-023	16	
			FW-024	16	
			FWH-36	16	
			FW-025	16	
			FWH-37	16	
			FWH-38	16	
			P4A-AM002	16	
			FW-309	16	
			FW-306	16	
	FW-308	16			
	P5A-AM002	16			
	P4A-AM012	16			
	P4A-AM010	16			
	FW-318	16			
	FW-314	16			
	P3A-CU008	16			
	P4A-AM029	16			
	P4A-AM028	16			
	P4A-AM027	16			
	FW-333	16			
	P4A-AM024	16			
	P4A-AM023	16			
FW-331	16				
FW-330	16				
P4A-AM021	16				
P5A-AM020	16				
		格納容器貫通部 PEN#351, 250, 226 ～ A、B、C 蒸気発生器			

(9/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	格納容器貫通部 PEN#351、250、226 ～ A、B、C 蒸気発生器	P5A-AM021	16	令和2年 9月18日
			FW-326-1	16	
			FW-326-2	16	
		P5A-CU001	30		
		MS-302-1	30		
		MS-302-2	30		
		P5A-CU002	30		
		P5A-CU003	30		
		P5A-AL003	30		
		P5A-AL004	30		
		P5A-AL006	30		
		P5A-AL007	30		
		P5A-AL005	30		
		MS-309	30		
		P5A-CU004	30		
		MS-314-1	30		
		MS-314-2	30		
		P5A-CU005	30		
		P5A-CU006	30		
		P5A-AL011	30		
		P5A-AL012	30		
		P5A-AL013	30		
		P4A-AL010	30		
		P4A-AL011	30		
		P4A-AL012	30		
		MS-318	30		
		P3A-CU001	30		
		P5A-CU007	30		
		MS-324-1	30		
		MS-324-2	30		
		P5A-CU008	30		
		P5A-CU009	30		
P5A-AL022	30				
P4A-AL020	30				
MS-327	30				
P4A-AL021	30				
P4A-AL022	30				
		レジューサ (32×30) ～ 格納容器貫通部 PEN#352、251、225			

(10/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	レジャーサ (32×30) ～ 格納容器貫通部 PEN#352、251、225	MS-328	30	令和2年 9月18日
			P3A-CU002	30	
			P3A-CU003	30	
			P4A-AL023	30	
			MS-330	30	
			MS-333-1	30	
			MS-333-2	30	
			P3A-CU004	30	
			P3A-CU005	30	
			P3A-CU006	30	
			P3A-CU007	30	
			MSH-159	30	
			P4F-AL002	30	
			P4F-AL009	30	
			MSH-46	30	
			P4F-AL011	30	
			MSH-157	30	
	MSH-157A	30			
	P4F-AL014	30			
	P4F-AL015	30			
	MSH-156	30			
	MSH-44	30			
	P4F-AL016	30			
	MSH-54	30			
	MSH-54A	30			
	MS-001	30			
	MS-002	30			
	P4F-AL018	30			
	P4F-AL019	30			
	P4F-AL020	30			
	P4F-AL021	30			
	P4F-AL022	30			
MSH-40-1	30				
MSH-40-2	30				
P3F-AL001	30				
MSH-153	30				
MSH-153A	30				
		格納容器貫通部 PEN#352、251、225 ～ 弁 (3MS-527A、B、C) 行分岐点			

(11/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	格納容器異通部 PEN#352、251、225 ~ 井 (3MS-527A、B、C) 行分岐点	P3F-AL002	30	令和2年 9月1日
			P2G-CP001	30	
			P2G-CP002	30	
			P2G-CP003	30	
			MSH-16	30	
			P2G-CP004	30	
			P2G-CP005	30	
			P2G-CP006	30	
			P2G-CP044	30	
			P2F-AL005	30	
			P2F-AL006	30	
			P2F-AL007	30	
			P2G-CP007	30	
			P2G-CP008	30	
			MSH-15	30	
			P2G-CP009	30	
			P2G-CP010	30	
			P2G-CP011	30	
			P2G-CP012	30	
			P2G-CP013	30	
			P2G-CM001	30	
			P2G-CM002	30	
			P2G-CM003	30	
			P2G-CM004	30	
			P2G-CM005	30	
			P2G-CM006	30	
			P2G-CM007	30	
			MSH-33	30	
			MSH-37A	30	
			MSH-38	30	
P3F-AL010	30				
MSH 154	30				
MSH-155	30				
MSH-155A	30				
MSH-39	30				
MSH-36	30				
MS-011	30				

(12/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	格納容器異通部 PEN#352、251、225 ～ 弁 (3MS-527A、B、C) 行分岐点	MSH-30	30	令和2年 9月18日
			MSH-35	30	
			MS-012	30	
			MS-013	30	
			P2G-CP016	30	
			P2G-CP017	30	
			P2G-CP018	30	
			P2G-CP020	30	
			MSH-18	30	
			MS-014	30	
			MS-015	30	
			MSH-13	30	
			MSH-27	30	
			MSH-27A	30	
			P2G-CP021	30	
			P2G-CP022	30	
			P2G-CP045	30	
			P2G-CP024	30	
			P2G-CP023	30	
			P2G-CP026	30	
			P2G-CP025	30	
			P2G-CM008	30	
			P2G-CM009	30	
			P2G-CM010	30	
			P2G-CM011	30	
			P2G-CM012	30	
			P2G-CM013	30	
			P2G-CM014	30	
			P3F-AL024	30	
			P2G-CP029	30	
			P2G-CP028	30	
MSH-17	30				
MSH-26	30				
MSH-26A	30				
P2F-AL020	30				
P2G-CP030	30				
P2G-CP031	30				

(13/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	格納容器貫通部 PEN#352、251、225 ～ 弁 (3MS-527A、B、C) 行分岐点	P2G-CP032	30	令和2年 9月1日
			MSH-25	30	
			P2G-CP033	30	
			P2F-AL023	30	
			P2F-AL024	30	
			P2G-CP034	30	
			P2G-CP035	30	
			P2G-CP036	30	
			MSH-23	30	
			P2G-CP037	30	
			P2G-CP038	30	
			MSH-6	30	
			MSH-150	30	
			P2G-CM015	30	
			P2G-CM016	30	
			P2G-CM017	30	
			P2G-CM018	30	
			P2G-CM019	30	
			P2G-CM020	30	
			P2G-CM021	30	
		弁 (3MS-527A、B、C) 行分岐点 ～ 弁 (3MS-537A、B、C)	P2F-CL006	30	
		MSH-12	30		
		MS-016	30		
		MS-022	30		
		主蒸気管 A、C分岐点 ～ 弁 (3AS-011A、B)	53H-1	6	
		53H-2	6		
		53H-4	6		
		53H-6	6		
		53H-16-101	6		
		53H-16-102	6		
		53H-16-103	6		
		53H-16-104	6		
53H-16-4	6				
53H-16-5	6				
53H-16-105	6				
53H-16-106	6				
53H-16-107A	6				

(14/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	主蒸気管 A、C分岐点 ～ 弁 (3AS-011A、B)	53H-16-107B	6	令和2年 9月18日
			53H-16-108	6	
			53H-16-11A	6	
			53H-16-11B	6	
		弁 (3FW-562A、B、C) ～ 補助給水配管合流点	P3F-DA004	4	
			P3F-DA009	4	
		A、B、C 主蒸気管 分岐点 ～ 弁 (3MS-520A、B、C)	3-MS-520A-1	6	
			P2G-CP014	6	
			3-MS-520B-1	6	
			3-MS-520B-2	6	
			P2G-CP027	6	
			3-MS-520C-1	6	
		弁 (3MS-520A、B、C) ～ 弁 (3PCV-3013、3PCV-3014、 3PCV-3015)	P2G-CP039	6	
			MS-103	6	
			MS-104	6	
			MS-105	6	
			MS-106	6	
			MS-107	6	
	余熱除去設備	弁 (3MOV-8702A、B) ～ 弁 (3MOV-8701A、B)	MS-108	6	
			RHH-21	12	
			RH-302	12	
			RHH-22	12	
			P3A-AC009	12	
			RHH-24	12	
			RHH-196	12	
			RHH-197	12	
			P3A-AC010	12	
			P3A-AC011	12	
RH-311			12		
RHH-15			12		
P3A-BI-002			12		
RHH-16			12		
RHH-29B	12				
RHH-30	12				
RHH-17	12				
RHH-31	12				
P3A-CL004	12				

(15/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	余熱除去設備	弁 (3MOV-8702A, B) ～ 弁 (3MOV-8701A, B)	RHH-32	12	令和2年 9月1日
			RHH-198	12	
			RHH-199	12	
		弁 (3MOV-8701A, B) ～ 格納容器貫通部 PEN#277、227	P3A-CL003	12	
			格納容器貫通部 PEN#277 ～ A余熱除去ポンプ 入口ラインとの 合流点	RHH-83	
		P3D-CY001		12	
		P2D-CY001		12	
		P2D-CY002		12	
		RHH-42		12	
		RHH-87		12	
		P2D-CY003		12	
		P2D-CY004		12	
		P2D-CY005		12	
		P2D-CY006		12	
		P2D-CY007		12	
		P2D-CY008		12	
		格納容器貫通部 PEN#227 ～ B余熱除去ポンプ 入口ラインとの 合流点	RH-029	12	
			RH-031	12	
			RH-037	12	
			RH-039	12	
			RHH-123	12	
			RHH-58-1	12	
			RHH-58-2	12	
			RHH-124	12	
			P2D-CY011	12	
			P2D-CY012	12	
			P2D-CY013	12	
			P2D-CY014	12	
			P2D-CY015	12	
			P2D-CY016	12	
			P2D-CY017	12	
		P2D-CL005	12		
		A, B 余熱除去ポンプ 入口ラインとの 合流点 ～ A, B 余熱除去ポンプ	P2D-CY009	14	
P2D-CY010	14				
P1D-CY001	14				

(16/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	余熱除去設備	A、B 余熱除去ポンプ 入口ラインとの 合流点 ～ A、B 余熱除去ポンプ	P1D-CY002	14	令和2年 9月1日
			P2D-CY018	14	
			RHH-95	14	
			P1D-CY003	14	
			P1D-CY004	14	
			P1D-CY005	14	
		A、B余熱除去 ポンプ ～ A、B余熱除去 クーラ	RH-002	10	
			RHH-129	10	
			RHH-128	10	
			SI-1014	10	
			P1D-CU030	10	
			RH-044	10	
			RH-046	10	
			RH-051	10	
			RH-052	10	
			A、B余熱除去 クーラ バイパスライン	P2D-BC020	
		RHH-79		10	
		A、B余熱除去 クーラ ～ 弁 (3HCV-603A、B)	P3D-BC014	10	
		弁 (3HCV-603A、B) ～ A、B 余熱除去ポンプミニマム フローライン との分岐点	P3D-CU031	10	
			P2D-BC005	10	
			RH-006	10	
			RH-007	10	
			RHH-180-1	10	
			RHH-180-2	10	
			P3D-CZ008	10	
			P3D-CZ009	10	
			P3D-CU032	10	
			弁 (3MOV-8809A、B) ～ A、B 余熱除去ポンプ 入口ラインとの 合流点	RHH-45	
		RHH-60		14	
		A、B 余熱除去ポンプミニマム フローライン との分岐点 ～ 弁 (3MOV-8817A、B) 及び 弁 (3MOV-8818A、B)	SI-204	10	
			SI-1005	10	
			P3D-CZ006	10	
			P3D-CZ007	10	
P3D-CZ004	10				

(17/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日	
原子炉冷却系統施設	余熱除去設備	A, B 余熱除去ポンプミニマム フローライン との分岐点 ～ 弁 (3MOV-8817A, B) 及び 弁 (3MOV-8818A, B)	P3D-CZ005	10	令和2年 9月1日	
			P3D-CZ003	10		
			P3D-CZ002	10		
			P3D-CZ001	10		
			P4D-CZ008	10		
			P4D-CZ007	10		
			P4D-CZ006	10		
			P4D-CZ004	10		
			P4D-CZ005	10		
			SI-217	10		
			SI-218	10		
			SI-215-1	10		
			SI-215-2	10		
			SI-216(A)	10		
	SI-216(B)	10				
	SI-220	10				
	SI-228	10				
			A, B余熱除去 グループ 出口ラインとの 分岐点 ～ 弁 (3MOV-8708A, B)	P3D-CU030		10
		非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水タンク ～ 弁(3V-8926)	P1J-DC008		8
			弁(3V-8926) ～ 恒設代替低圧注水ポンプ原子炉下部キャビティ 注水ポンプ行分岐点	SI-005		8
	P4D-CW001			8		
	P1J-DC010			8		
	P4D-Z010			8		
	弁(3V-8927) ～ 弁(3V-8926)上流側合流点		P1J-DC009	8		
	弁(3V-8937C) 及び 弁(3V-8939C) ～ 弁(3V-8940C)		P3A-BX045	4		
	弁 (3MOV-8811A, B) ～ 弁 (3MOV-8812A, B)		SIH-5	14		
		SIH-20	14			
		SIH-4	14			

(18/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	弁 (3MOV-8811A, B) ～ 弁 (3MOV-8812A, B)	SIH-2	14	令和2年 9月1日
			SIH-1	14	
			SIH-26	14	
		燃料取替用水 タンク ～ 弁 (3V-8958)	P1J-DC003	14	
			P1J-DC004	14	
			A4386	14	
			A4385	14	
			P3D-DC006	14	
			P3D-DC007	14	
		弁 (3MOV-8817A, B) ～ 弁 (3MOV-8817A, B) 下流分岐点	P4D-CZ002	10	
			P4D-CZ003	10	
			P4D-CZ001	10	
			SI-251	10	
			P4D-CZ009	10	
		弁 (3MOV-8817A, B) 下流分岐点 ～ 弁 (3MOV-8819)	SI-206	10	
			SI-1003	10	
		格納容器貫通部 PEN#263, 224 ～ 弁 (3V-8971A, B)を経て Bループ コールドレグ 注入ラインの 分岐点	SI-333	10	
			P3A-CU020	10	
		Bループ ニールドレグ 注入ラインの 分岐点 ～ 弁 (3V-8973 A, B, C)	P3A-CX002	6	
			P3A-CX003	6	
			SI-353	6	
			SI-356	6	
			SIH-148	6	
			SI-357	6	
			SIH-131	6	
			P3A-CX001	6	
			SI-335	6	
SI-337	6				
P3A-BX001	6				
P3A-CL002	6				
SI-363	6				
SI-365	6				
P3A-BX010	6				
SI-413-1	6				

(19/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	ブルーブ コールドレグ 注入ラインの 分岐点 ～ 弁 (3V-8973 A、B、C)	SI-413-2	6	令和2年 9月18日
			SI-415	6	
			SI-384	6	
			SI-385	6	
			SI-386	6	
			SI-389	6	
			SI-390	6	
			SI-393	6	
			SI-394	6	
			P3A-BX016	6	
		SI-159	6		
		格納容器貫通部 PEN#25B ～ 分岐点	SI-422	10	
			SI-421-1	10	
			SI-421-2	10	
		分岐点 ～ 弁 (3V-8939A、B)	SIH-205	6	
			SI-438	6	
			SI-437	6	
			SI-427	6	
			P3A-CU023	6	
			SI-429	6	
			P3A-CU022	6	
			P3A-CU021	6	
		弁 (3V-8973A、B、C) ～ 余熱除去クーラ 出口合流点	SI-434	6	
			P3A-BX002	6	
			P3A-BX003	6	
			P3A-BX004	6	
			P3A-BX005	6	
			P3A-BX006	6	
			P3A-BX007	6	
			P3A-BX008	6	
			SI-348	6	
			SI-349	6	
			P3A-BX009	6	
P3A-BX011	6				
P3A-BX012	6				
SI-373	6				
P3A-BX013	6				

(20/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	弁 (3V-8973A、B、C) ～ 余熱除去クーラ 出口合流点	P3A-BX014	6	令和2年 9月18日
			P3A-BX015	6	
			SI-378	6	
			P3A-BX017	6	
			P3A-BX018	6	
			P3A-BX019	6	
			P3A-BX020	6	
			P3A-BX021	6	
			P3A-BX022	6	
			P3A-BX023	6	
		余熱除去クーラ 出口合流点 ～ 弁 (3V-8945A、B、C)	SIH-125A	6	
			SIH-125B	6	
			P3A-BX024	6	
			P3A-BX025	6	
		弁 (3V-8935A、B) ～ 弁 (3V-8940A、B)	SI-440	6	
			SIH-185	6	
			SI-441	6	
			SIH-186	6	
			SI-453	6	
			SI-454	6	
			SI-455	6	
		A、B、C アキュムレータ ～ 弁 (3MOV-8808 A、B、C)	P4A-AQ019	12	
		弁 (3V-8956A、B、C) ～ 弁 (3V-8946A、B、C)	SIAH-7	12	
			SI-305	12	
			SIAH-17	12	
			P4A-AQ017	12	
			P4A-AQ021	12	
			SIAH-24	12	
		A内部スプレ クーラ 出口配管分岐点 ～ 弁 (3MOV-760)	P3D-J011	6	
			P3D-BG011	6	
			P3D-J012	6	
			P3D-J013	6	
			P3D-J001	6	
GSS-23-P1	6				
P3D-J002	6				

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日	
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	A内部スプレ ターラ 出口配管分岐点 ～ 弁 (3MOV-760)	P3D-J003	6	令和2年 9月1日	
			P3D-J004	6		
			P3D-J005	6		
			P3D-J006	6		
			P3D-J007	6		
			CSS-23-PA	6		
			P3D-J009	6		
			P3D-J010	6		
			P3D-J014	6		
			P3D-J015	6		
		弁 (3MOV-760) ～ A余熱除去クーラ 出口配管合流点	P3D-J016	6		
			P3D-J017	6		
			P3D-J018	6		
			P3D-J018	6		
			恒設代替低圧 注水ポンプ 原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ行分岐点 及び 電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ	P4D-CW002		12
				P4D-CW003		12
				P3D-CW004		12
				P3D-CW005		12
		P3D-CW006		12		
		P3D-CW007		12		
		P3D-CW008		12		
		P3D-CW009		12		
		P3D-CW010		12		
		P3D-CW011		12		
		P3D-CW012		12		
		P3D-CW013		12		
		P3D-CW014		12		
		P3D-CW015		12		
		P3D-CW016		12		
		P3D-CW017		12		
P3D-CW020	12					
P3D-CW019	12					
P3D-CW018	12					
P3D-CW025	14					
P3D-CW026	14					
P3D-CW027	14					
P3D-CW024	12					
P3D-CW023	12					

(22/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	恒設代替低圧注水ポンプ 原子炉下部キャビティ注水ポンプ行分岐点及び 電動補助給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 原子炉下部キャビティ注水ポンプ 及び 恒設代替低圧注水ポンプ	P3D-CW022	12	令和2年 9月1日
			P3D-CW021	12	
			P3D-DD001	10	
			P3D-DD002	10	
			P1F-CW028	10	
			P1F-CW029	14	
			P1F-CW030	14	
			P1F-CW031	14	
			P1F-CW032	14	
			P1F-CW033	14	
			P1F-CW034	14	
			P1F-CW035	14	
			P1F-CW036	14	
			P1F-CW037	14	
			P1F-CW038	14	
			P1F-CW039	14	
			P1F-CW040	14	
			P1F-CW041	14	
			P1F-CW042	14	
			P3D-DE001	10	
			P3D-DE002	10	
			P3D-DE003	10	
			P3D-DE004	10	
			P3D-DE005	10	
	P4D-DE006	10			
	P4D-DF001	10			
	P4D-DF002	10			
	P4D-DF003	10			
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ B内部スプレクーラ出口合流点	P3D-DD003	6	
			P3D-DD004	6	
			P3D-DD005	6	
		P3D-DD006	6		
		P3D-DD007	6		
		P3D-DD008	6		
		P3D-DD009	6		
		P3D-DD010	6		
		P3D-DD011	6		

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	原子炉下部キャビティ注水ポンプ B内部スプレクーラ出口合流点	P3D-DD012	6	令和2年 9月1日
			P3D-DD013	6	
			P3D-DD014	6	
			P3D-DD015	6	
			P3D-DD016	6	
			P3D-DD017	6	
			P3D-DD018	6	
			P3D-DD019	6	
			P3D-DD020	6	
			P3D-DD021	6	
			P3D-DD022	6	
			P3D-DD023	6	
			P3D-DD024	6	
			P3D-DD025	6	
			P3D-DD026	6	
			P3D-DD027	6	
			P3D-DD028	6	
			P3D-DD029	6	
			P3D-DD030	6	
			P3D-DD031	6	
			P3D-DD032	6	
			P3D-DD033	6	
			P3D-DD034	6	
			P3D-DD035	6	
			P3D-CF009	8	
			P3D-CF008	8	
			P3D-DD036	8	
			P3D-CF005	8	
			P3D-CF004	8	
		P3D-DD037	8		
		P3D-DD038	6		
		P3D-DD039	6		
		P3D-DD040	6		
P3D-DD041	6				
恒設代替低圧注水ポンプ A内部スプレクーラ出口合流点	P4D-DF004	4			
	P4D-DF005	4			
	P4D-DF006	4			

(24/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	恒設代替低圧注水ポンプ ～ A内部スプレクーラ出口合流点	P4D-DF007	4	令和2年 9月1日
			P4D-DF008	4	
			P4D-DF009	4	
			P4D-DF010	4	
			P4D-DF011	4	
			P4D-DF012	4	
			P4D-DF013	6	
			P4D-DF014	6	
			P4D-DF015	6	
			P4D-DF016	6	
			P4D-DF017	6	
			P4D-DF018	6	
			P4D-DF019	6	
			P4D-DF020	6	
			P4D-DF021	6	
			P4D-DF022	6	
			P4D-DF023	6	
			P3D-DF024	6	
			P3D-DF025	6	
			P3D-DF026	6	
		P3D-DF027	6		
		P3D-DF028	6		
		P3D-DF029	6		
		可搬式代替低圧注水ライン接続口 ～ 恒設代替低圧注水ポンプ出口配管合流点	P6J-DF030	6	
			P6J-DF031	6	
			P6J-DF032	6	
			P6J-DF038	6	
			P6J-DF039	6	
			P6D-DF040	6	
			P6D-DF041	6	
			P6D-DF042	6	
			P6D-DF043	6	
P6D-DF044	6				
P5D-DF045	6				
P5D-DF046	6				
P5D-DF047	6				
P5D-DF048	6				

(25/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式代替低圧注水ライン接続口 ～ 恒設代替低圧注水ポンプ出口配管合流点	P5D-DF049	6	令和2年 9月1日
			P4D-DF050	6	
			P4D-DF051	6	
			P4D-DF052	6	
			P4D-DF053	6	
			P4D-DF054	6	
			P4D-DF055	6	
			P4D-DF056	6	
			P4D-DF057	6	
			P4D-DF058	6	
			P4D-DF059	6	
			P4D-DF060	6	
			P4D-DF061	6	
			P4D-DF062	6	
			P4D-DF063	6	
			P4D-DF064	6	
			P4D-DF065	6	
			P4D-DF066	6	
			P4D-DF067	6	
			P4D-DF068	6	
			P4D-DF069	6	
			P4D-DF070	6	
			P4D-DF071	6	
			P4D-DF072	6	
			P4D-DF073	6	
			P4D-DF074	6	
			P4D-DF075	6	
			P4D-DF076	6	
			P4D-DF077	6	
			P4D-DF078	6	
			P4D-DF079	6	
			P4D-DF080	6	
P4D-DF081	6				
P4D-DF082	6				
P4D-DF083	6				
P4D-DF084	6				
P4D-DF085	6				

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式代替低圧注水ライン接続口 ～ 恒設代替低圧注水ポンプ出口配管合流点	P1J-DF086	4	令和2年 9月18日
			P1J-DF087	6	
			P1G-DF088	6	
			P1G-DF089	6	
			P1G-DF090	6	
			P1G-DF091	6	
			P1G-DF092	6	
			P1G-DF099	6	
			P1G-DF100	6	
			P1G-DF101	6	
			P1G-DF102	6	
			P1G-DF103	6	
			P1F-DF104	6	
			P1F-DF105	6	
			P1F-DF106	6	
			P1F-DF107	6	
			P1F-DF108	6	
			P1F-DF109	6	
			P1F-DF110	6	
			P1F-DF111	6	
			P1F-DF112	6	
			P1F-DF113	6	
			P1F-DF114	6	
			P1F-DF115	6	
			P1F-DF116	6	
			P1F-DF117	6	
			P1F-DF118	6	
			P1F-DF119	6	
P1F-DF120	6				
P1F-DF121	6				
P1F-DF122	6				
P1F-DF123	6				
P1F-DF124	6				
P1F-DF125	6				
P1F-DF126	6				
P1F-DF127	6				
P1F-DF128	6				

(27/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式代替低圧注水ライン接続口 ～ 恒設代替低圧注水ポンプ出口配管合流点	P1F-DF129	6	令和2年 9月1日
			P1F-DF130	6	
			P1F-DF131	6	
			P1F-DF132	6	
			P1F-DF133	6	
			P1F-DF134	6	
			P3D-DF135	6	
			P3D-DF136	6	
			P3D-DF137	6	
			P3D-DF138	6	
			P3D-DF139	6	
			P3D-DF140	6	
			P3D-DF141	6	
			P3D-DF142	6	
			P3D-DF143	6	
			P3D-DF144	6	
			P3D-DF145	6	
			P3D-DF146	6	
			P3D-DF147	6	
			P3D-DF148	6	
			P3D-DF149	6	
			P3D-DF150	6	
			P3D-DF151	6	
			P3D-DF152	6	
			P3D-DF153	6	
			P3D-DF154	6	
			P3D-DF155	6	
			P3D-DF156	6	
			P3D-DF157	6	
			P3D-DF158	6	
			P3D-DF159	6	
			P3D-DF160	6	
P3D-DF161	6				
P3D-DF162	6				
P3D-DF163	6				
P3D-DF164	6				
P3D-DF165	6				

(28/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (D)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式代替低圧注水ライン接続口 ～ 恒設代替低圧注水ポンプ出口配管合流点	P3D-DF166	6	令和2年 9月1日
			P3D-DF167	6	
			P3D-DF168	6	
			P3D-DF169	6	
			P3D-DF170	6	
			P4D-DF171	6	
			P4D-DF172	6	
			P4D-DF173	6	
		E.L.約■■■■側 復水タンク海水 補給水ライン 接続口 ～ 復水タンク海水 補給水ライン 合流点	CST-SWA-201	6	
			CST-SWA-202	6	
			CST-SWA-203	6	
			CST-SWA-204	6	
			CST-SWA-205	6	
			CST-SWA-206	6	
			CST-SWA-207	6	
			CST-SWA-208	6	
			CST-SWA-209	6	
			CST-SWA-210	6	
			CST-SWA-211	6	
			CST-SWA-212	6	
			CST-SWA-213	6	
			CST-SWA-214	6	
			CST-SWA-215	6	
		E.L.約■■■■側 復水タンク海水 補給水ライン 接続口 ～ 弁(3CW-100)	CST-SWA-114	6	
		弁(3CW-100) ～ 復水タンク	CST-SWA-101	6	
			CST-SWA-102	6	
			CST-SWA-103	6	
			CST-SWA-104	6	
			CST-SWA-105	6	
			CST-SWA-106	6	
			CST-SWA-107	6	
			CST-SWA-108	6	
			CST-SWA-109	6	
CST-SWA-110	6				
CST-SWA-111	6				
CST-SWA-112	6				
CST-SWA-113	6				

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日		
原子炉冷却系統施設	化学体積制御設備	弁 (3MOV-8706A, B) ～ A, B余熱除去系 再循環ライン 合流点	P3D-BC010	8	令和2年 9月1日		
			CVCS-29-PA	8			
	原子炉補機冷却設備	海水ポンプ ～ A1, A2 海水ストレーナ 及び 中間建屋入口 (B系)		8H-55		36	
				8H-56		36	
				8H-57		36	
				8H-58		36	
				8H-59		36	
				8H-60		36	
				8H-41		36	
				8H-42		36	
				8H-43		36	
				8H-44		36	
		A1, A2 海水ストレーナ ～ 中間建屋入口 (A系)		8H-45		36	
				8H-46		36	
				8H-47		36	
				8H-48		36	
				8H-49		36	
			中間建屋入口 (A系) ～ レジューサ (38×30)			SWS-1-P2	36
						SWS-1-P1	36
			中間建屋入口 (B系) ～ 1次系冷却水 クーラ及び2次系 冷却水クーラ行き 分岐点 (B系)			SWS-2-P2	36
				SWS-2-P1		36	
		1次系冷却水 クーラ及び2次系 冷却水クーラ行き 分岐点 (A系) ～ 1次系冷却水 クーラ及び2次系 冷却水クーラ行き 分岐点 (B系)		SWS-78910-P7		36	
	A1次系冷却水 クーラ 入口海水母管 分岐点 ～ A1次系冷却水 クーラ			SWS-78910-P6		24	
			SWS-78910-P9	24			
			SWS-78910-P1	24			
	B1次系冷却水 クーラ 入口海水母管 分岐点 ～ B1次系冷却水 クーラ 入口配管分岐点(海水側)		SWS-78910-P5	24			
			SWS-78910-P2	24			
C1次系冷却水 クーラ 入口海水母管 分岐点 ～ C1次系冷却水 クーラ		SWS-78910-P4	24				
		SWS-78910-P3	24				

(30/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	原子炉補機冷却設備	1次系冷却水 クーラ ～ A、B、C 1次系冷却水 クーラ 出口海水母管 合流点	SWS-3456-P1	24	令和2年 9月1日
			SWS-3456-P2	24	
		C1次系冷却水 クーラ出口合流点～ レジャーサ (20×14)	CCWS-36-1-P1	20	
		弁(3MOV-5125) ～ 格納容器循環 冷暖房ユニット 冷却ライン レジャーサ (18×12)	P2F-DJ047	16	
			P2F-DJ048	16	
			P2F-DJ049	16	
			P3F-DJ050	16	
			P3F-DJ051	16	
		格納容器循環 冷暖房ユニット 戻り母管合流点 ～ 弁(3MOV-5131)	CCWS-37-2-P3	16	
			CCWS-37-2-P1	16	
			3-5131-P1	16	
		Bヘッダ1次系 冷却水 戻り母管合流点 ～ Bヘッダ1次系 冷却水タンク 連絡配管合流点	CCWS-35-P2	20	
		弁(3MOV-5299) ～ 格納容器真通部 PEN#353	CCWS-18-P3	4	
			CCWS-18-PA	4	
			CCWS-18-P1	4	
			CCWS-18-P2	4	
A、Bヘッダ 1次系冷却水 タンク連絡配管 合流点 ～ 弁(3V-5105A、B)	P4F-DP001	4			
格納容器循環 冷暖房ユニット 冷却ライン レジャーサ (18×12) ～ 弁(3MOV-5130A)	CCWS-32-3-P4	12			
	CCWS-32-P2	12			
	CCWS-32-P3	12			
	CCWS-32-P1	12			
	CCWS-32-PB	12			
弁(3MOV-5160A) ～ 格納容器真通部 PEN#256	CCWS-32-PA	12			
格納容器循環 冷暖房ユニット 冷却水出口配管 分岐点 ～ 格納容器循環 冷暖房ユニット 戻り母管合流点	CCWS-37-1-P2	12			

(31/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	原子炉補機冷却設備	A1, A2 海水ストレーナ 海水供給接続口 ~ A1, A2 海水ストレーナ	SP-01	10	令和2年 9月1日
			SP-02	10	
			SP-03	10	
			SP-04	10	
			SP-05	10	
			SP-06	10	
			SP-07	10	
			SP-08	10	
	原子炉補機冷却設備	大容量ポンプ 海水供給接続口 ~ B内部スプレ ーケーラ 入口配管台流点	P-030	8	
			P-031	8	
			P-032	8	
			P-033	8	
			P-034	8	
			P-035	8	
			P-036	8	
			P-037	8	
			P-038	8	
			P-001	8	
			P-002	8	
			P-003	8	
			P-004	8	
			P-005	8	
			P-006	8	
			P-007	8	
			P-008	8	
			P-009	8	
			P-010	8	
			P-011	8	
			P-012	8	
P-013	8				
P-014	8				
P-015	8				
P-016	8				
P-017	8				
P-018	8				
P-019	8				
P-020	8				

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日		
原子炉冷却系統施設	原子炉補機冷却設備	大容量ポンプ 海水供給接続口 ～ B内部スプレ ーケーラ 入口配管合流点	P-021	8	令和2年 9月1日		
			P-022	8			
			P4D-CE104	6			
			P4D-CE105	6			
			P4D-CE106	6			
			P4D-CE107	6			
			P4D-CE108	6			
			P4D-CE109	6			
			P4D-CE110	6			
			P4D-CE111	6			
			P4D-CE112	6			
			P4D-CE113	6			
			P4D-CE114	6			
			P4D-CE115	6			
			P4D-CE116	6			
			格納容器循環 冷暖房ユニット 冷却水出口配管 分岐点 ～ 屋外放出端	P4D-CE117		6	
				P4D-CE118		6	
				P4D-CE119		6	
				P4D-CE120		6	
				P4D-CE121		6	
				P4D-CE122		6	
				P4D-CE123		6	
				P4D-CE124		6	
				P4D-CE125		6	
				P4D-CE126		6	
				P4D-CE127		6	
				P4D-CE128		6	
				P4D-CE129		6	
				P4D-CE130		6	
				B充てん/高圧注入ポンプ 海水排出ライン 接続用座(下流側) 及び B充てん/高圧注入ポンプ 油冷却器海水排出ライン 接続用座(下流側) ～ 屋外放出端		P4D-CE603	4
						P1J CE604	4
				B1次系冷却水 ケーラ入口 配管分岐点 (海水側) ～ 弁(3V-5122B) 前合流点		P1F-CE001	8
						P1F-CE002	8
			P1F-DE007	8			
			P1F-DE008	8			

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日	
原子炉冷却系統施設	原子炉補機冷却設備	B1次系冷却水 クーラ入口 配管分岐点 (海水側) ～ 弁(3V-5122B) 前合流点	P1F-CE004	8		
			P1F-CE005	8		
			P1F-CE006	8		
			P1F-CE007	8		
			P1F-CE008	8		
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	燃料取替 用水タンク ～ 弁 (3MOV-6400A, B)	P1J-DC001	14		
			A4386	14		
			A4385	14		
			3-6400B-P3	14		
			3-6400B-P1	14		
			3-6400B-P2	14		
			P1J-DC002	14		
			A4386	14		
			A4385	14		
			P3D-DC005	14		
			弁 (3MOV-6400A, B) ～ 内部スプレポンプ 入口ヘッダ配管	GSS-18-PC		14
				CSS-17-PA		14
				CSS-17-P6		14
			弁 (3MOV-6408A) ～ 内部スプレポンプ 入口ヘッダ配管 合流点	CSS-18-P1		14
			内部スプレポンプ 入口ヘッダ配管 分岐点 ～ 内部スプレポンプ 入口レギュレータ (10×8)	CSS-18-P2		10
				CSS-18-P3		10
				GSS-18-PA		10
				CSS-18-PB		10
				CSS-17-P2		10
	CSS-17-P3	10				
	CSS-17-P4	10				
	CSS-17-P5	10				
	CSS-17-PB	10				
	GSS-17-PC	10				
	内部スプレポンプ ～ 内部スプレクーラ 入口合流点	CSS-21-PA	8			
		CSS-21-PB	8			
		CSS-21-P2	8			
		CSS-22-PA	8			
CSS-22-PB		8				

令和2年
9月1日

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	内部スプレポンプ ～ 内部スプレクーラ 入口合流点	GSS-22-P1	8	令和2年 9月1日
		内部スプレクーラ 入口合流点 ～ 内部スプレクーラ 出口合流点	GSS-21-P1	12	
		内部スプレクーラ 出口合流点 ～ 弁 (3MOV-6403A、B)	3-6405A-P1	12	
		格納容器貫通部 PEN#477、457 ～ オリフィス (内部スプレリング ヘッド (1A、2A、1B、2B)行き)	P5A-CQ016	8	
			P5A-CQ017	8	
			P5A-CQ018	8	
			SPH-502a	8	
			SPH-502b	8	
			P5A-CQ034	8	
			SPH-522a	6	
			SPH-522b	8	
		オリフィス ～ 内部スプレリング ヘッド	SPH-526	8	
			SPH-503a	8	
			SPH-504a	8	
			SPH-504b	8	
			P5A-CQ022	8	
			P5A-CQ023	8	
			P5A-CQ019	6	
			P5A-CQ020	6	
			P5A-CQ021	6	
			P5A-CL009	6	
			SPH-511b	6	
			SPH-512a	6	
			SPH-512b	6	
			P5A-CQ001	6	
			P5A-CQ002	6	
			P5A-CQ003	6	
			SPH-513a	6	
SPH-514a	6				
SPH-514b	6				
SPH-515a	6				
SPH-515b	6				
P5A-CQ035	6				

(35/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低下設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	オリフィス ～ 内部スプレリング ヘッド	SPH-524a	6	令和2年 9月1日
			SPH-524b	6	
			SPH-525a	6	
			SPH-525b	6	
			SPH-531b	6	
			P5A-CQ006	6	
			P5A-CQ007	6	
			SPH-533a	6	
			SPH-533b	6	
			SPH-534a	6	
			SPH-534b	6	
			SPH-535a	6	
			SPH-535b	6	
			P5A-CQ004	6	
			P5A-CQ005	6	
			P5A-CQ036	6	
			P5A-CQ049	6	
			SP-502	6	
	P5A-CQ014	6			
	SP-512a	6			
	P5A-CQ013	6			
	P5A-CL010	6			
	SP-513a	6			
	P5A-CQ012	6			
	SP-503	6			
	P5A-CQ011	6			
	SP-510a	6			
	P5A-CQ010	6			
	P5A-CQ009	6			
	SF-511a	6			
	P5A-CQ008	6			
	SP-576	6			
SP-577	6				
P5A-CQ015	6				
SP-588a	6				
SP-580	6				
SP-575	6				

(36/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	内部スプリング ヘッド (1A, 2A, 4A, 1B, 2B, 4B)	SP-542	6	
			P5A-CQ024	6	
			SP-543	6	
			P5A-CQ025	6	
			SP-545	6	
			SP-540	6	
			SP-611	6	
			SP-612	6	
			SP-613	6	
			SP-614	6	
			P5A-CQ026	6	
			SP-626a	6	
			P5A-CQ027	6	
			P5A-CQ028	6	
			SP-627a	6	
			P5A-CQ029	6	
			SP-615	6	
			P5A-CQ030	6	
			SP-616a	6	
			P5A-CQ031	6	
			P5A-CQ032	6	
			SP-617a	6	
			P5A-CQ033	6	
			SP-610	6	
			P5A-CQ037	6	
			P5A-CQ038	6	
			P5A-CQ039	6	
			P5A-CQ040	6	
			P5A-CQ041	6	
			P5A-CQ042	6	
			P5A-CQ043	6	
			P5A-CQ044	6	
			P5A-CQ045	6	
SP-757	6				
P5A-CQ046	6				
P5A-CQ047	6				
P5A-CQ048	6				

令和2年
9月1日

(37/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	内部スプレリング ヘッド (3A, 3B)	SP-645	6	令和2年 9月1日
			SP-681	6	
			SP-683	4	
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ 出口配管分岐 点 ～ 弁(3MOV-5420)	P3D-DD042	6	
			P3D-DD043	6	
			P3D-DD044	6	
			P3D-DD045	6	
			P3D-DD046	6	
			P3D-DD047	6	
			P3D-DD048	6	
			P3D-DD049	6	
			P3D-DD050	6	
			P3D-DD051	6	
			P3D-DD052	6	
			P3D-DD053	6	
			P3D-DD054	6	
			P3D-DD055	6	
			P3D-DD056	6	
			P4D-DD057	6	
			P4D-DD058	6	
			P4D-DD059	6	
			P4D-DD060	6	
			P4D-DD061	6	
			P4D-DD062	6	
			P4D-DD063	6	
			P4D-DD064	6	
			P4D-DD065	6	
			P4D-DD066	6	
			P4D-DD067	6	
			P4D-DD068	6	
			P4D-DD069	6	
P4D-DD070	6				
P4D-DD071	6				
P5D-DD072	6				
P5D-DD073	6				
P5D-DD074	6				
P5D-DD075	6				

(38/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	原子炉下部キャビティ注水ポンプ 出口配管分岐 点 ~ 弁(3MOV-5420)		P5D-DD076	6	令和2年 9月1日
			P5D-DD077	6	
			P5D-DD078	6	
			P5D-DD079	6	
			P5D-DD080	6	
			P5D-DD083	4	
			P5D-DD084	4	
			P5D-DD085	4	
			P5D-DD086	4	
			P5D-DD087	4	
			P5D-DD088	4	
			P5D-DD089	4	
			P5D-DD090	4	
			P5D-DD091	4	
			P5D-DD092	4	
	P5D-DD093	4			
	P5D-DD094	4			
	P5D-DD095	4			
	P5D-DD096	4			
	P5D-DD097	4			
	P5D-DD098	4			
	P5D-DD099	4			
	P5D-DD100	4			
	P5D-DD101	4			
	P4A-DD134	6			
	P4A-DD135	6			
	P4A-DD136	6			
	P4A-DD137	6			
	P4A-DD138	6			
	P4A-DD139	6			
	P4A-DD140	6			
	P3A-DD141	6			
	P3A-DD142	6			
P3A-DD143	6				
P3A-DD144	6				
P3A-DD145	6				
P2A-DD146	6				
		弁(3V-5421) ~ 原子炉下部 キャビティ 取合点			
	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)				

(39/39)

施設区分	設備区分	設備名称	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	弁(3V-5421) ～ 原子炉下部 キャビティ 取合点	P2A-DD147	6	令和2年 9月1日
			P2A-DD148	6	
			P2A-DD149	6	
			P2A-DD150	6	
			P2A-DD151	6	
			P2A-DD152	6	
			P2A-DD153	6	
			P2A-DD154	6	
			P2A-DD155	6	
			P2A-DD156	6	
	圧力低減設備その他の安全設備 (放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環 設備)	アニュラス 出口取合点 ～ 格納容器 排気筒取合点	B4946	φ508mm	
			3-6715Aサポート(上流側)	φ508mm	
			3-6715Aサポート(下流側)	φ508mm	
			3-6715Bサポート(上流側)	φ508mm	
			3-6715Bサポート(下流側)	φ508mm	

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-13

令和 2 年 8 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-13

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年8月25日
至 令和2年8月25日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録




検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) 関原発第239号(2020年 8月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 8 月 25 日	良	 上田 洋	発電用原子炉 主任技術者 	 取 ✓

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 2 年 8 月 25 日

検査場所：美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 2 年 8 月 25 日

検査場所：美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 2 年 8 月 25 日

検査場所：美浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置 使用済燃料ピット温度 使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (広域) 可搬型使用済燃料ピット水位 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 <input checked="" type="checkbox"/> / 警報検査 系統性能検査 計測範囲確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0804 (その1)、 M3-3-0804 (その2) ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1. 系統機能検査(警報検査)については、使用済燃料ピット温度のみ。			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 2 年 8 月 25 日

検査場所：美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
使用済燃料ピット温度	警報検査 計測範囲確認検査	別添2参照	良	目視
以下余白				
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 2 年 8 月 25 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
警報検査 計測範囲確認検査	6ダイヤル 可変抵抗器				2019年11月5日 2020年11月4日	
以下余白						

設 備 概 要

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

- 3 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項
- (6) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数
(平成28年10月26日付け原規規発第1610261号)

名	種	類	変 更 前			変 更 後		
			計 測 範 囲	取 付 所	個 数	種 類	計 測 範 囲	取 付 所
使用済燃料ピット温度	(注2) 潮温抵抗体	(注2) 0~100℃	系 (ライオン名) 設 置 床	(注1) 使用済燃料ピット 水冷却浄化系統	(注2) 1	変更なし	変更なし 溢水防護上の 区画番号	変更なし
使用済燃料ピット水位 (狭域)	(注3) 超音波式 水位検出器	(注2) E.L.+30.89m ~ (注3) E.L.+32.19m	系 (ライオン名) 設 置 床	(注1) 使用済燃料ピット 水冷却浄化系統	(注3) 1	変更なし	変更なし 溢水防護上の 区画番号	変更なし
使用済燃料ピット水位 スイッチ	(注2) フロート式 レベル スイッチ	(注3) E.L.+31.79m ~ (注3) E.L.+31.94m	系 (ライオン名) 設 置 床	(注1) 使用済燃料ピット 水冷却浄化系統	(注2) 1	変更なし	変更なし 溢水防護上の 区画番号	変更なし

変更前				変更後			
名	種	類	計測範囲	取	付	箇	所
称	種	類	計測範囲	取	付	箇	所
名	種	類	計測範囲	取	付	箇	所
使用済燃料ピット温度 (AM用)	測温抵抗体	0~100℃	系統名 設置床 塗水防護上の 区画番号 塗水防護上の 配慮が必要な高さ	使用済燃料ピット 水冷却浄化系統	1		
使用済燃料ピット水位 (広域)	電波式 水位検出器	E.L.+24.76m ~ E.L.+31.94m	系統名 設置床 塗水防護上の 区画番号 塗水防護上の 配慮が必要な高さ	使用済燃料ピット 水冷却浄化系統	1		
可燃型 使用済燃料ピット水位	フロート式 水位検出器	E.L.+21.0m ~ E.L.+32.0m	保管場所： 取付箇所： (1台)		1 (予備1)		

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
(注3) 当該計器の警報動作範囲である。

(関原発第418号平成30年12月5日)

名前	種類	計測範囲	変更前			変更後						
			取	付	箇所	個数	名称	種類	計測範囲	取	付	箇所
使用済燃料ピット温度 (AM用)	測温抵抗体	0~100℃	系 (ライン名)	使用済燃料ピット 水冷却浄化系統	1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
			設置	床								
			溢水防 護上 の 区 画 番 号	の								
使用済燃料ピット水位 (広域)	電波式 水位検出器	E.L.+24.76m ~ E.L.+31.94m	系 (ライン名)	使用済燃料ピット 水冷却浄化系統	1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
			設置	床								
			溢水防 護上 の 区 画 番 号	の								
可搬型 使用済燃料ピット水位	フロート式 水位検出器	E.L.+21.0m ~ E.L.+32.0m	保 管 場 所	床	1 (予備1)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
			取付箇所	1台								

(注1) 平成28年10月26日付け原規規発第1610261号にて認可された既工事計画書には変更前に記載

(注2) 本設備は既存の設備である。

(注3) 当該計器の警報動作範囲である。

系統機能検査 (警報検査) 記録

検査対象 (Tag No)	警報設定値		許容誤差範囲		表示値		警報発信
	工学値	模擬入力	工学値	模擬入力	工学値	模擬入力	
	°C	Ω	°C	Ω	°C	Ω	
使用済燃料 ピット温度 (3TE-651)	50.0	119.40	49.6 ~ 50.4	119.25 ~ 119.55	49.9	119.39	燃料ピット温度高

系統性能検査 (計測範囲確認検査) 記録

使用済燃料ピット温度

検査対象 (Tag No)	標準入力		標準値 ℃	許容誤差範囲 ℃	表示値 ℃	備考
	工学値 ℃	模擬入力 Ω				
		0.0				
使用済燃料 ピット温度 (3TE-651)	25.0	109.73	25.0	24.5~25.5	24.9	
	50.0	119.40	50.0	49.5~50.5	49.9	
	75.0	128.99	75.0	74.5~75.5	74.9	
	100.0	138.51	100.0	99.5~100.5	99.9	

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-14

令和2年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-14

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年7月8日
至 令和2年11月25日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

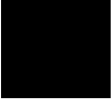
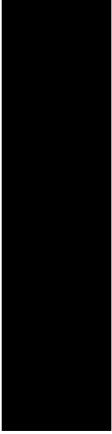
検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号 (平成29年12月15日) 関原発第427号 (平成30年 3月16日) 関原発第 62号 (平成30年 4月20日) 関原発第158号 (平成30年 6月25日) 関原発第201号 (平成30年 7月 4日) 関原発第414号 (平成30年12月 5日) 関原発第517号 (平成31年 2月 6日) 関原発第 61号 (2019年 5月16日) 関原発第121号 (2019年 6月28日) 関原発第167号 (2019年 7月25日) 関原発第216号 (2019年 9月 2日) 関原発第640号 (2020年 3月24日) 関原発第650号 (2020年 3月30日) 関原発第 30号 (2020年 4月 7日) 関原発第239号 (2020年 8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-14

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 7 月 8 日	良	大江 勇人 	発電用原子炉主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和 2 年 7 月 8 日

検査場所：美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和 2 年 7 月 8 日

検査場所：美浜発電所、美浜体育館

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和 2 年 7 月 8 日

検査場所：美浜発電所、美浜体育館

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 主配管（スプレイヘッドを含む） 可搬型 スプレイヘッド 一式 ※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 スプレイ検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認 ※2
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-1201 ・目視で確認した範囲：スプレイヘッド-A (X534115) ※1：別添1～5参照 ※2：スプレイヘッド-B (X534102)			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和 2 年 7 月 8 日

検査場所：美浜体育館

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果※1	検査方法
スプレイヘッド-A (X534115)	スプレイ検査	—	良	目視
備考 ※1：使用済燃料ピット模擬範囲内にスプレイされていることを確認した。				

設 備 概 要

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

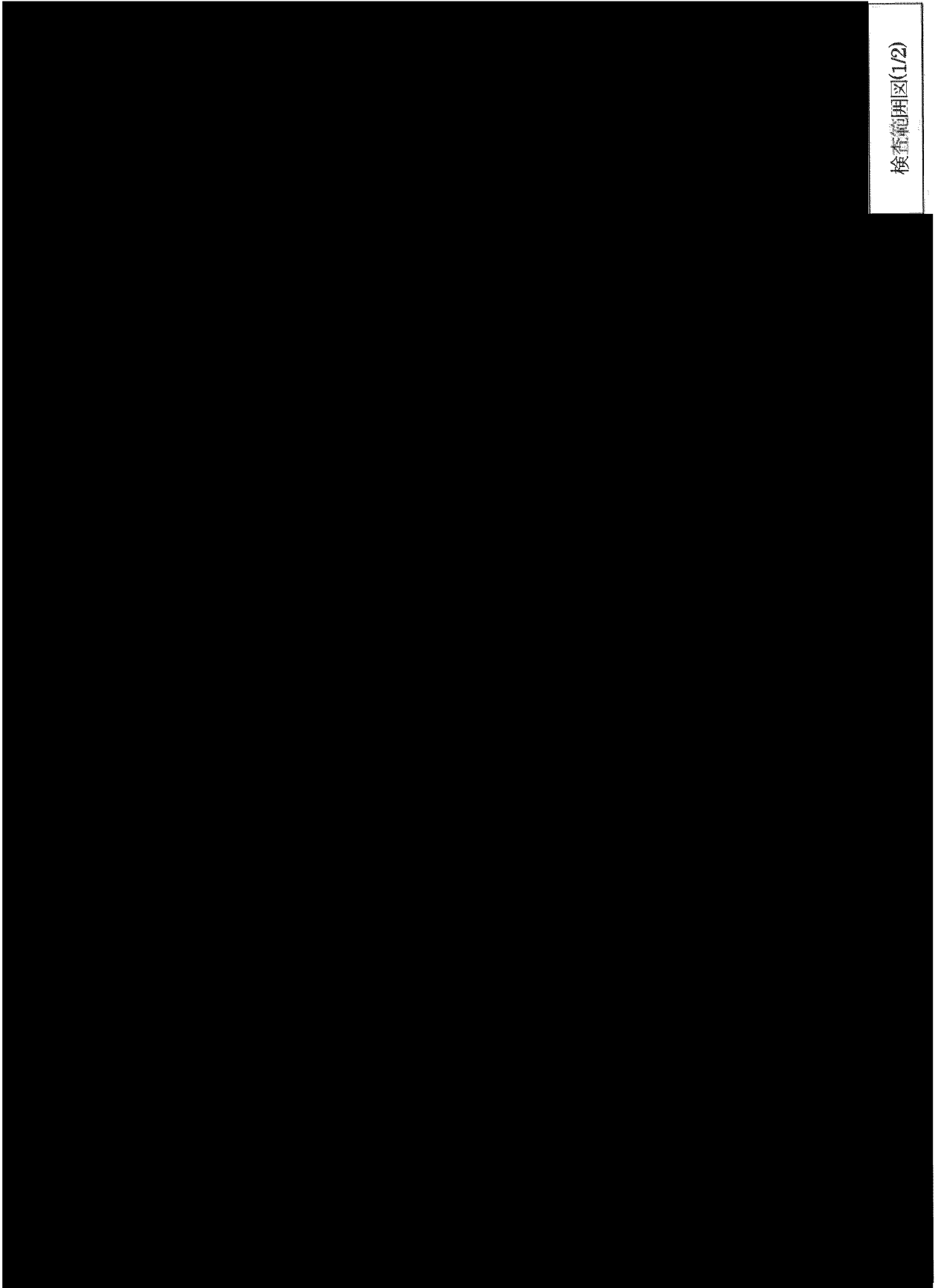
(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

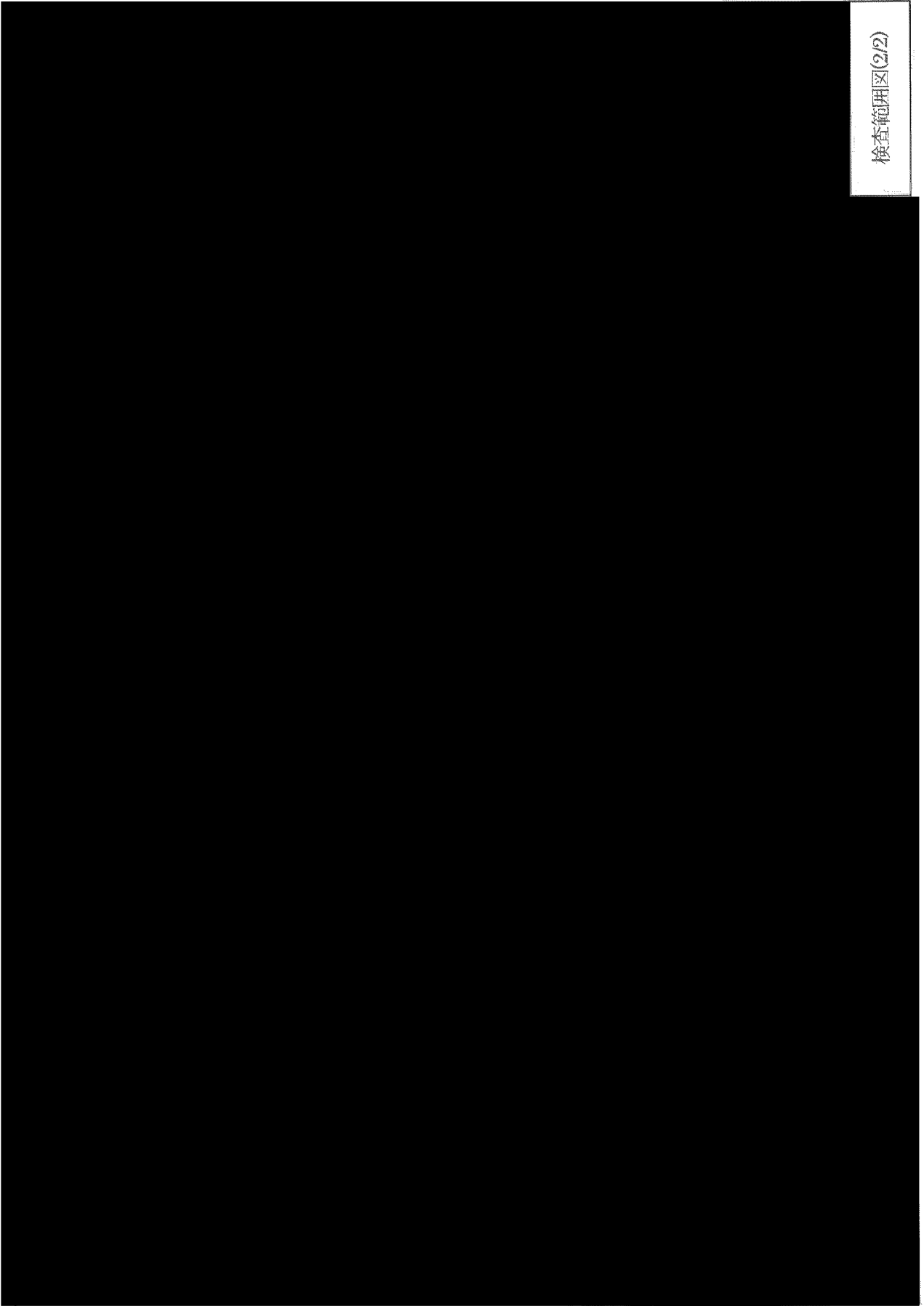
変 更 後																						
変更前	変更後																					
-	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 10%;">最高使用圧力 (MPa)</th> <th style="width: 10%;">最高使用温度 (°C)</th> <th style="width: 10%;">外 径 (mm)</th> <th style="width: 10%;">厚 さ (mm)</th> <th style="width: 10%;">材 料</th> <th style="width: 30%;">取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 スプレイヘッド</td> <td style="text-align: center;">(注2) [Redacted]</td> <td style="text-align: center;">(注2) [Redacted]</td> <td style="text-align: center;">(注3) [Redacted]</td> <td style="text-align: center;">(注4) [Redacted]</td> <td style="text-align: center;">(注23) [Redacted]</td> <td> 保管場所 (注11): [Redacted] </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td> 取付箇所: [Redacted] </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 スプレイヘッド	(注2) [Redacted]	(注2) [Redacted]	(注3) [Redacted]	(注4) [Redacted]	(注23) [Redacted]	保管場所 (注11): [Redacted]							取付箇所: [Redacted]
名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所																
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 スプレイヘッド	(注2) [Redacted]	(注2) [Redacted]	(注3) [Redacted]	(注4) [Redacted]	(注23) [Redacted]	保管場所 (注11): [Redacted]																
						取付箇所: [Redacted]																

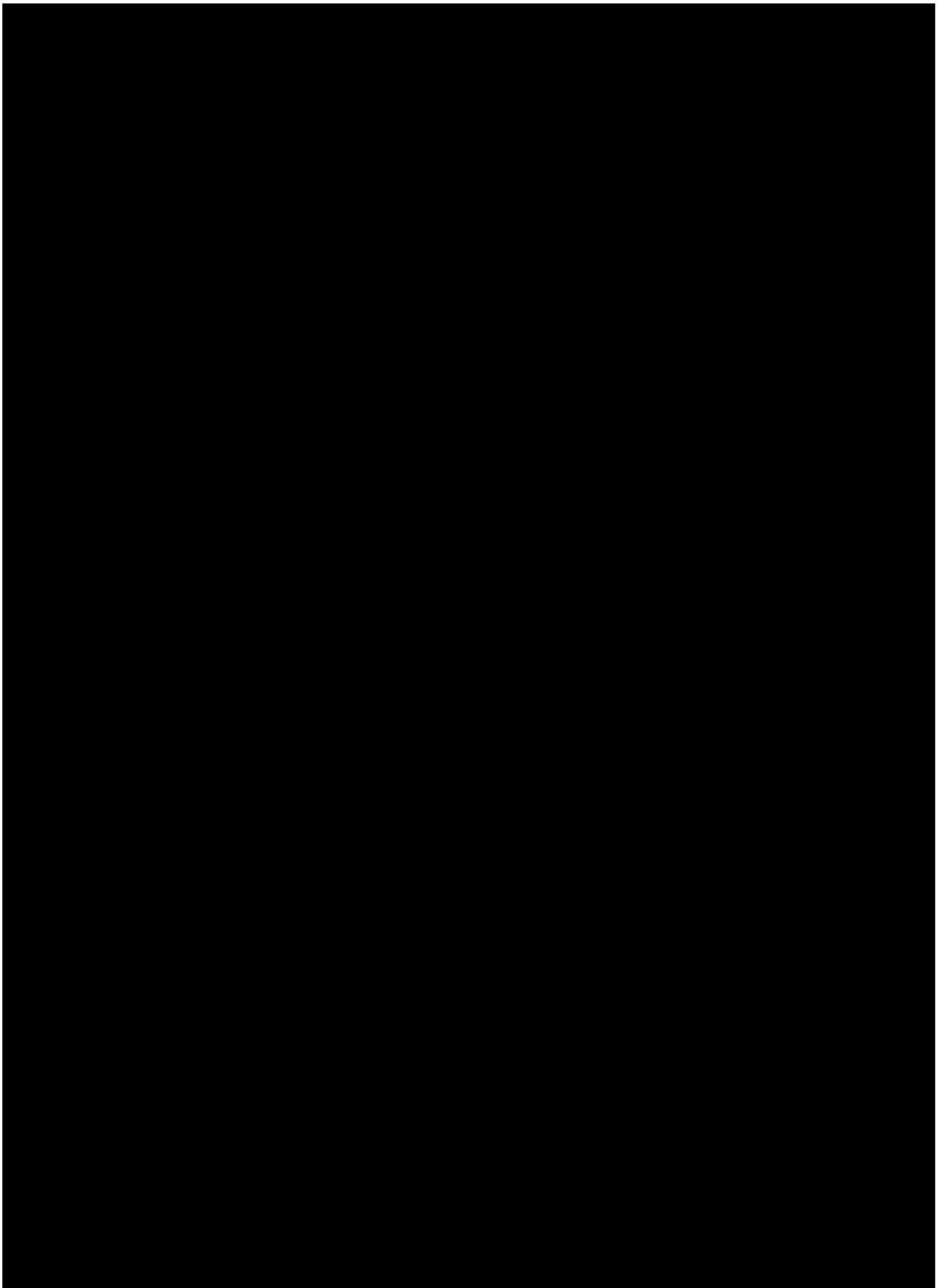
- (注2) 重大事故等時における使用時の値
- (注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。
- (注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- (注11) 当該設備台（必要台数に予備台を加えた数量）以上を保管する。
- (注23) スプレイヘッド本体の材料

検査範囲図(1/2)



検査範囲図(2/2)





検査結果一覧表

成績書管理番号：1-14

検査年月日	検査結果	原子力検査官 氏名	検査立会責任者 氏名	特記事項
令和2年 11月19日	良	須貝実 環境技官 楠本智仁	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和2年11月19日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和 2 年 11 月 19 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉に係るものにあつては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

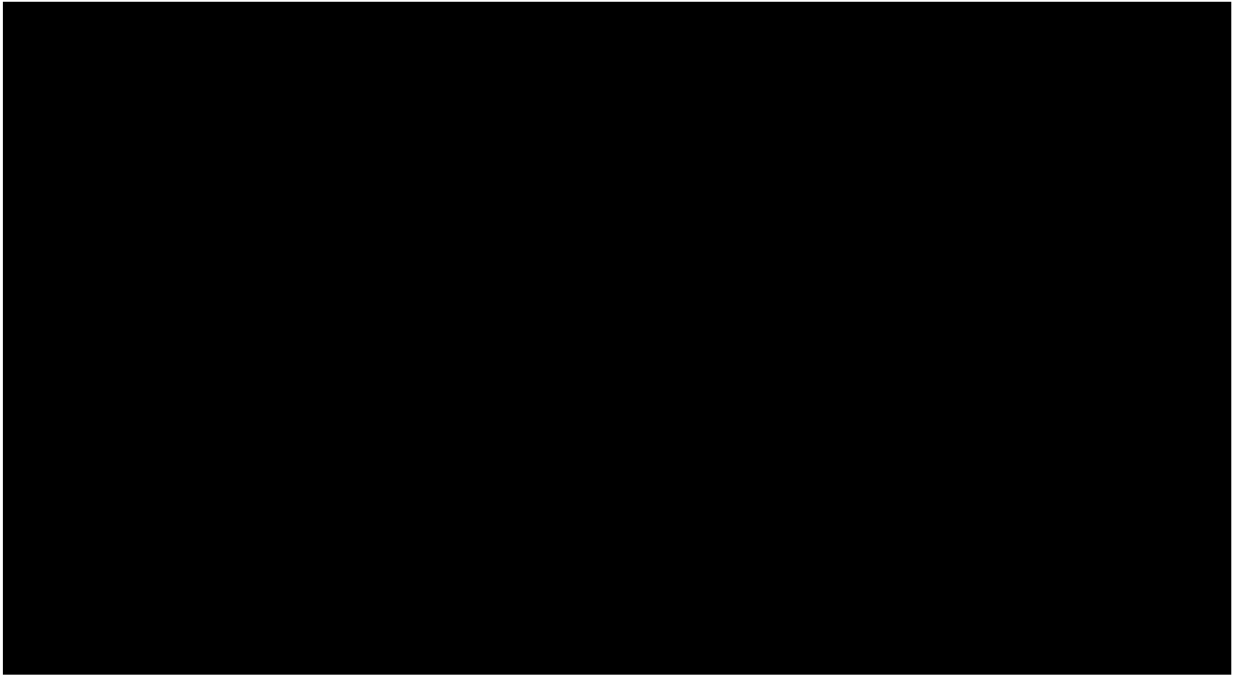
・可搬型

(1/2)

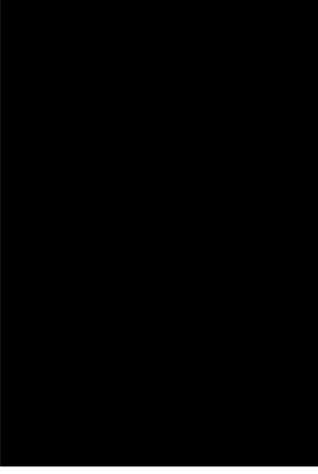
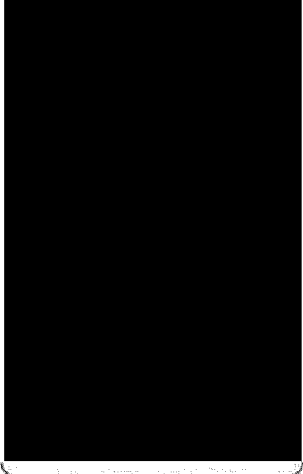
			変更前	変更後	
名 称				送水車 (注1)	
ポンプ	種 類	—		うず巻形	
	容 量 (注2)	m ³ /h/個			
	吐 出 圧 力 (注2)	MPa			
	最 高 使 用 圧 力 (注2)	MPa			
	最 高 使 用 温 度 (注2)	℃			
	主要寸法	吸 込 口 径	mm		
		吐 出 口 径	mm		
		た て	mm		
		横	mm		
		高 さ	mm		
		車 両 全 長	mm		
		車 両 全 幅	mm		
	材料	ケ ー シ ン グ	—		
		個 数	—		
取 付 箇 所		—			

(2/2)

			変更前	変更後
原 動 機	種 類	—	—	[Redacted]
	出 力	kW/個		
	個 数	—		
	取 付 箇 所	—		

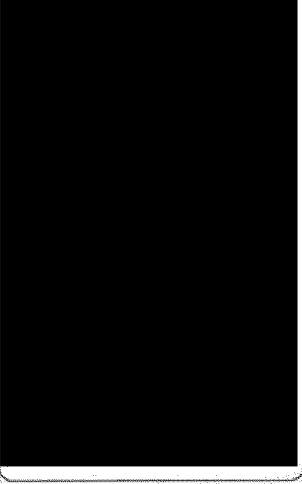


(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

変更前		変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所	取付箇所	
(注12) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 吸水用ホース	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)		保管場所 (注13): 	取付箇所: 	

変更後						
名前	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
(注12) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 吸水用ホース	(注2) [Redacted]	(注2) [Redacted]	(注3) [Redacted]	(注4) [Redacted]	[Redacted]	保管場所 (注14): [Redacted] 取付箇所: [Redacted]
変更前	-					





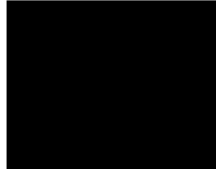
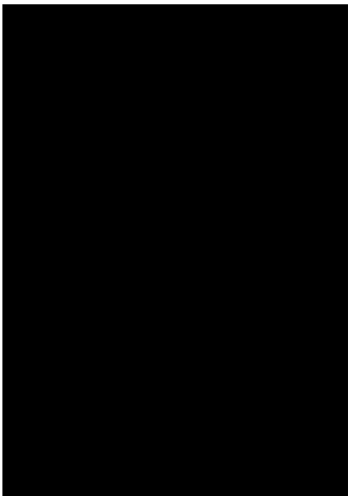
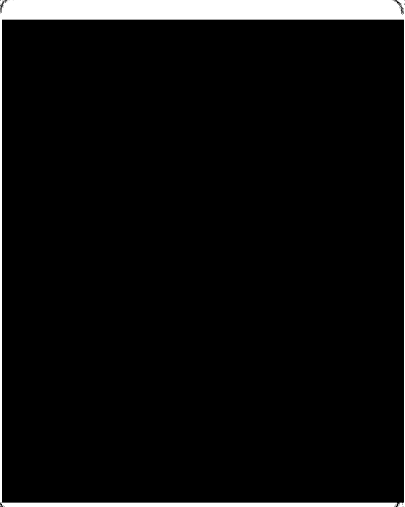
変更後						
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
	(注12) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 送水用 [redacted] mホース	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)	(ジャケット部) ポリエステル (内張り部) 合成樹脂
						保管場所 (注15): [redacted] 取付箇所: [redacted]
						(次項へ続く)

変更前		変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所		
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (注12) 送水車 送水用 [redacted] ホース			(前項からの続き)			(前項からの続き)		
						取付箇所： 		

変更前		変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所	
(注12) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 送水用 [redacted] ボース [redacted]	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)	[redacted]	保管場所 (注16) : [redacted] 取付箇所 : [redacted] (次項へ続く)	

変更前		変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所	
(注12) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 送水用 [redacted] ボース						(前項からの続き) 取付箇所： [redacted] (次項へ続く)	

変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備		(前項からの続き)					
(注12)		(前項からの続き)					
送水車 送水用 [redacted] mホース		取付箇所： [redacted]					

変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 送水用  mホース	(注2) 	(注2) 	(注3) 	(注4) —		保管場所 (注22) :  取付箇所 : 
変更前						

(次項へ続く)

変更後							
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 スプレイヘッド	(注2) [Redacted]	(注2) [Redacted]	(注3) [Redacted]	(注4) [Redacted]	(注23) [Redacted]	保管場所 (注10) : [Redacted] 取付箇所 : [Redacted]

(注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注5) 当該ホース ([Redacted]) 以上を保管する。

- (注6) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載
(注7) 当該ホース()本()以上を保管する。
(注8) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載()
(注9) 放水砲寸法(公称値) : ()
(注10) 公称値
(注11) 当該設備()台(必要台数に予備()台を加えた数量)以上を保管する。
(注12) 原子炉炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)と兼用
(注13) 当該ホース()本(必要本数に予備()本を加えた数量)以上を保管する。
(注14) 当該ホース()本(必要本数に予備()本を加えた数量)以上を保管する。
(注15) 当該ホース()本(必要本数()本に予備各()本を加えた数量)以上を保管する。
(注16) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載()
(注17) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載()
(注18) 当該ホース()本(必要本数()本に予備各()本を加えた数量)以上を保管する。
(注19) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載()
(注20) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載()
(注21) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載()
(注22) 当該ホース()本(必要本数に予備()本を加えた数量)以上を保管する。
(注23) スプレイヘッド本体の材料

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-14

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 11月25日	良	洪 谷 徹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラータービン主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	⓪・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	⓪・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⓪	
系統構成が完了していること。	立会/ ⓪記録確認	⓪・—	


関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検 査 対 象			
<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉冷却系統施設 原子炉格納施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 蒸気タービンの附属設備 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） 主配管 別添 1 参照 			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0019 ・目視で確認した範囲： 			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの(蒸気タービンに係るものを除く。)にあつては、次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備											
						(注65)					
						E. L. 約 mm側 復水タンク海水 補給水ライン	(注14)		165.2	(注3)	(注3, 21)
						接続口 ～ 復水タンク海水 補給水ライン 合流点	1.6	40	(注3)	7.1	SUS304TP
									267.4	9.3	SUS304TP
									165.2	7.1	

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備											
						(注65) E. L. 約 100mm側 復水タンク海水 補給水ライン 接続口 ～ 弁 (3CW-100)	(注14) 1.6	(注14) 40	(注3) 165.2	(注3) 7.1	SUS304TP
						(注65)			(注3) 165.2	(注3) 7.1	SUS304TP
						弁 (3CW-100) ～ 復水タンク	(注14) 0	(注14) 40	(注3) 165.2 / / / 165.2	(注3) 7.1 / / / 7.1	SUS304TP

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁 (3-8926)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

- (注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注7) 重大事故等時に使用
- (注8) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（3-8926）～弁（3-LCV-115D、E）」及び「逆止弁（3-8926）出口分岐点～弁（3-8927）」と記載
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（3-8926）～弁（3-LCV-115D、E）」と記載
- (注11) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-8927）～逆止弁（3-8926）入口合流点」と記載
- (注13) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注14) 重大事故等時における使用時の値
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口集合母管～レジュエーサ（4×3）」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュエーサ（4×3）～レジュエーサ（4×3）」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュエーサ（4×3）～弁（3-8803A、B）および弁（3-8816）」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュエーサ（4×3）～弁（3-8815）及び弁（3-8814）」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-8815）～分岐点」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（3-8942A、B、C）」と記載
- (注21) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（3-8942A、B、C）～余熱除去クーラ出口合流点」と記載
- (注23) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

- (注24) エルボを示す。
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5」と記載
- (注26) 公称値は既工事計画書に記載がないため適正化を行う。
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8803A、B) ～ほう酸注入タンク入口レギュレーサ (6×3)」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (6×3) ～ほう酸注入タンク」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク出口レギュレーサ (6×3) ～弁 (3-8801A、B)」と記載
- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8801A、B) ～分岐点」と記載
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (3-8944A、B、C)」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (3-8944A、B、C) ～余熱除去クーラ出口合流点」と記載
- (注33) 記載内容は、既工事計画認可申請書 (平成24年2月7日付け関原発第465号工事計画認可申請書、平成24年2月28日付け平成24・02・07原第8号にて認可) による。なお、本工事計画は、認可された工事計画に対して、基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ー / (60.5) / (60.5)」と記載
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ー / (8.7) / (8.7)」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ー / (差し込み部の内径) (61.1) / (差し込み部の内径) (61.1)」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ー / (最小) 9.5 / (最小) 9.5」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8816) ～分岐点」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (3-8937A、B、C)」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8814) ～分岐点」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (3-8939A、B、C)」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (3-8937C) 及び逆止弁 (3-8939C) ～逆止弁 (3-8940C)」と記載
- (注43) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (3-8937A、B) 及び逆止弁 (3-8939A、B) ～余熱除去クーラ出口合流点」と記載

- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁(3-8811A、B)」と記載
- (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-8811A、B)～弁(3-8812A、B)」と記載
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁(3-8958)」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁(3-8809A、B)」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプミニマムフローライン分岐点～弁(3-8818A、B)及び弁(3-8819)」と記載
- (注49) SUS32TP同等材(SUS316TP)への取替えを行う。
- (注50) 余熱除去設備と兼用
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-8818A、B)～逆止弁(3-8971A、B)を経てBループコールドレグ注入ラインの分岐点」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Bループコールドレグ注入ラインの分岐点～逆止弁(3-8973A、B、C)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-8819)～分岐点」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁(3-8935A、B)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁(3-8973A、B、C)～逆止弁(3-8945A、B、C)」と記載
- (注56) 記載内容は、既工事計画届出書(平成24年度2月7日付け関原発第466号工事計画届出書)による。なお、本工事計画は、届出した工事計画に対して、基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。
- (注57) 余熱除去設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-8935A、B)～逆止弁(3-8940A、B)」と記載
- (注59) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注60) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年2月24日付け関元発第226号にて軽微変更届出した工事計画書の参考資料2「アキユムレータ強度計算書(分割第4次申請分資料16)」による。
- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-8808A、B、C)～逆止弁(3-8948A、B、C)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁(3-5400)」と記載

(注63) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

(注64) 本設備は既存の設備である。

(注65) 蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)と兼用

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-15

令和2年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-15

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年11月19日
至 令和2年11月24日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) 関原発第239号(2020年 8月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-15

検査年月日	検査結果	原子力検査官 氏名	検査立会責任者 氏名	特記事項
令和2年 11月19日 21日	良	須貝実 環境技官 柏木智仁	栗野用原 子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年 11月 19日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年 11月 21¹⁹日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年 11 月 21 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、原子炉格納施設。 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備、圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） ポンプ 大容量ポンプ（放水砲用） 主配管 大容量ポンプ（放水砲用）取水用 [] m ホース、 大容量ポンプ（放水砲用）送水用 [] m ホース、放水砲 別添1参照			
原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ポンプ 大容量ポンプ 主配管 大容量ポンプ取水用 [] m ホース、 大容量ポンプ送水用 [] m ホース 別添2参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 放水検査 通水検査 系統性能検査 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">記録確認※</div>
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0416、M3-3-0417、M3-3-0418 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※：検査対象のうち、添付資料3-3の検査対象設備及び項目を除く範囲について確認。 			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年 11月 21日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
大容量ポンプ (放水砲用) 取水用 [] m ホース ~ 大容量ポンプ (放水砲用) ~ 大容量ポンプ (放水砲用) 送水用 [] [] m ホース ~ 放水砲	系統機能検査 放水検査 通水検査	原子炉格納容器他に異常なく放水できること。 異常なく通水されること。	良	目視
大容量ポンプ (放水砲用)	系統性能検査 運転性能検査	別紙1参照	良	
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年11月21日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統性能検査 運転性能検査	圧力計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2020. 8. 6	
					2023. 8. 5	
系統性能検査 運転性能検査	流量計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2019. 5. 27	
					2024. 5. 26	
以下余白						

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉に係るものにあつては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

- (2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

(1/2)

名称			変更前	変更後	
				大容量ポンプ (放水砲用) ^(注1)	
ポンプ	種類	—	—	[Redacted]	
	容量 ^(注2)	m ³ /h/個			
	吐出圧力 ^(注2)	MPa			
	最高使用圧力 ^(注2)	MPa			
	最高使用温度 ^(注2)	℃			
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
		高さ			mm
		車両全長			mm
		車両全幅			mm
	材料	ケーシング			—
個数		—			
取付箇所		—			

(2/2)

			変更前	変更後
原動機	種	類	—	[Redacted]
	出	力	kW/個	
	個	数	—	
	取	付 箇所	—	



(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

変更前		変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	取付箇所		
(注1) 使用済燃料貯蔵機冷却浄化設備 大容量ポンプ (放水砲用) 取水用ポンプ	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)		保管場所 取付箇所:		

変更前		変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所	
(E11) 大容量ポンプ (放水砲用) 送水用 [REDACTED] [REDACTED] ホース	(F12) [REDACTED]	(F12) [REDACTED]	(E13) [REDACTED]	(E14) [REDACTED]	[REDACTED]	保管場所 (F17) : [REDACTED] 取付箇所 : [REDACTED]	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備							

変更前		変更後					取付箇所
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	保管場所 (注1):	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(注2)	(注2)					
放水砲	(注2)	(注2)					取付箇所:

(注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

- (注5) 当該ホース~~本~~以上を保管する。
(注6) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載
(注7) 当該ホース~~本~~以上を保管する。
(注8) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載
(注9) 放水砲寸法 (公称値) :
(注10) 公称値
(注11) 当該設備~~台~~ (必要台数に予備~~台~~を加えた数量) 以上を保管する。
(注12) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備、原子炉炉注水設備、原子炉炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用
(注13) 当該ホース~~本~~ (必要本数に予備~~本~~を加えた数量) 以上を保管する。
(注14) 当該ホース~~本~~ (必要本数に予備~~本~~を加えた数量) 以上を保管する。
(注15) 当該ホース~~本~~ (必要本数~~本~~に予備各~~本~~を加えた数量) 以上を保管する。
(注16) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載
(注17) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載
(注18) 当該ホース~~本~~ (必要本数~~本~~に予備各~~本~~を加えた数量) 以上を保管する。
(注19) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載
(注20) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載
(注21) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載
(注22) 当該ホース~~本~~ (必要本数に予備~~本~~を加えた数量) 以上を保管する。
(注23) スプレッドヘッド本体の材料

原子炉冷却系統施設

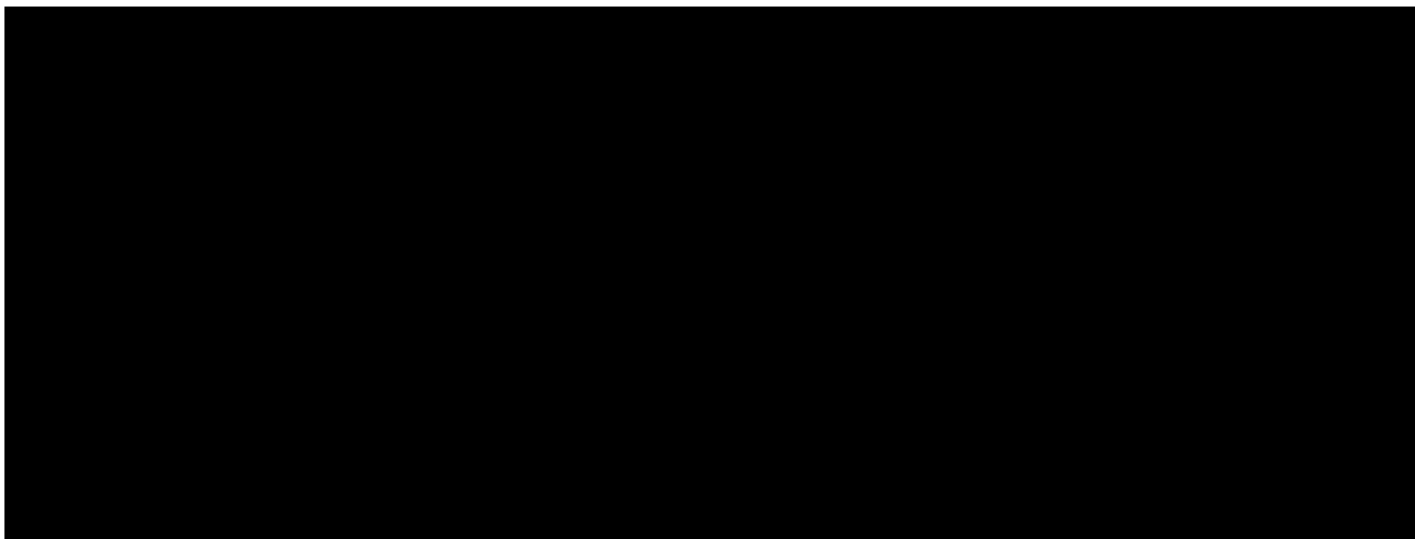
加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

- (3) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後	
名 称				大容量ポンプ	
ポンプ	種 類	—		うず巻形	
	容 量 (注1)	m ³ /h/個			
	吐 出 圧 力 (注1)	MPa			
	最 高 使 用 圧 力 (注1)	MPa		1.2	
	最 高 使 用 温 度 (注1)	℃		40	
	主要寸法	吸 込 口 径	mm		
		吐 出 口 径	mm		
		た て	mm		
		横	mm		
		高 さ	mm		
		車 両 全 長	mm		
		車 両 全 幅	mm		
	材料	ケ ー シ ン グ	—		
		個 数	—		2(予備1 ^(注5))
	取 付 箇 所	—		保管場所： [Redacted]	
				取付箇所： [Redacted]	
原動機	種 類	—		ディーゼル機関	
	出 力	kW/個			
	個 数	—		2(予備1 ^(注5))	
	取 付 箇 所	—			



(8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

変更前		変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所		
原子炉補機冷却設備					(シヤクケン)部 ポリエステル (内張り部) 合成ゴム	保管場所 (14) : [Redacted]		
	0.25 (11)	40 (13)	250A (12)	—		取付箇所 : [Redacted]		

変更前		変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	取付箇所	
原子炉補給冷却設備 大容量ポンプ 送水用 [] []ホース	1.2	40	250A	-	(シヤケット部) ポリエステル (内張り部) 合成ゴム	保管場所 [] 取付箇所 []	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時に

おける使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
(注4) 当該ホース■本 (必要本数に予備■本 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備及び原子炉格納施設のうち圧力

低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用) を加えた数量) 以上を保管する。

(注5) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 (■)

(注6) 当該ホース■本 (必要本数■本 (必要本数■本に予備各■本を加えた数量) 以上を保管する。

(注7) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 (■)

(注8) 当該ホース■本 (必要本数に予備■本を加えた数量) 以上を保管する。

(注9) 公称値

(注10) 当該マニホールド■台 (必要台数に予備■台を加えた数量) 以上を保管する。

(注11) 当該ホース■本 (必要本数に予備■本を加えた数量) 以上を保管する。

容量 (m ³ /h/個)			吐出圧力 (MPa)		
工事計画 記載値	許容値	確認値	工事計画 記載値	許容値	確認値
備考 ※ 1 : 公称値					

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-15

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 11月24日	良	荒谷 徹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボルト・ワッペン主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年 11月 24日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年 11月 24日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年 11月 24日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉冷却系統施設 <li style="padding-left: 20px;">原子炉補機冷却設備 <li style="padding-left: 40px;">ポンプ <li style="padding-left: 60px;">可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ <li style="padding-left: 40px;">主配管 <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">別添1参照</p>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
<ul style="list-style-type: none"> ・系統機能検査 <li style="padding-left: 20px;">通水検査 ・系統性能検査 <li style="padding-left: 20px;">運転性能検査 	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： M3-3-0014、M3-3-0018 ・目視で確認した範囲： 			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの(蒸気タービンに係るものを除く。)にあつては、次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

- (3) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後	
名 称				可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	
ポンプ	種 類	—		容積式	
	容 量 (注1)	m ³ /h/個			
	揚 程 (注1)	m			
	最高使用圧力 (注1)	MPa		0.33	
	最高使用温度 (注1)	℃		40	
	主要寸法	吸 込 口 径	mm		
		吐 出 口 径	mm		
		た て	mm		
		横	mm		
		高 さ	mm		
	材 料	ケーシング	—		
	個 数	—		1 (予備1)	
	取 付 箇 所	—		保管場所： [] 取付箇所： []	
原動機	種 類	—		三相誘導電動機	
	出 力	kW/個			
	個 数	—		1 (予備1)	
	取 付 箇 所	—			

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) ネジ接続。記載内容は、JIS B 0203による。

(8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料



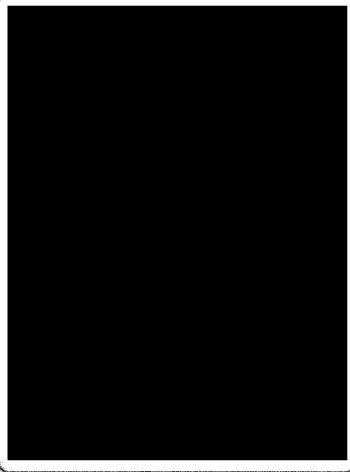
・可搬型

変更前		変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所		
原子炉補機冷却設備						保管場所 (注3)		
B充てん/高圧 注入ポンプ 海水排出用 ■ホース	(注1) 0	(注1) 60	(注2) 40A	(注3) -	(ジャケット部) ポリエステル (内張り部) ポリウレタン	取付箇所		

変更後							
変更前	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	原子炉補機冷却設備 B充てん/高圧 注入ポンプ油冷却器 海水排出用 mホース	0 (注1)	60 (注1)	50A (注2)	-	(ジャケット部) ポリエスデル (内張り部) ポリウレタン	保管場所 (注8) ; 取付箇所 ;

変更前		変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所	
原子炉補機冷却設備	0.7 <small>(注1)</small>	60 <small>(注1)</small>	40A <small>(注2)</small>	— <small>(注3)</small>	(ジャケット部) ポリエステル (内張り部) ポリウレタン	保管場所 <small>(注8)</small> ; [Redacted]	
						取付箇所 ; [Redacted]	

変更前		変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所		
原子炉補機冷却設備	(注1) 0.33	(注1) 40	(注2) 20A	(注3) —	SUS304	保管場所 (注8): [Redacted]	取付箇所: [Redacted]	
可搬型原子炉補機 冷却水循環ポンプ 吸水用 [Redacted] m フレキシブルホース								

変更後							
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
—	原子炉補機冷却設備 可搬型原子炉補機 冷却水循環ポンプ 送水用  m フレキシブルホース	0.33 (注1)	40 (注1)	20A (注2)	— (注3)	SUS304	保管場所 (注6) :  取付箇所 : 

変更後							
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
—	原子炉補機冷却設備 格納容器雰囲気ガス サンプリング冷却水 屋外排水用 フレキシブルホース	0 (注1)	60 (注1)	32A (注2)	— (注3)	SUS304	保管場所 (注11) ; [Redacted] 取付箇所 ; [Redacted]

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 当該ホース■本 (必要本数に予備■本 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用) を加えた数量) 以上を保管する。

(注5) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 (■)

(注6) 当該ホース■本 (必要本数■本に予備各■本を加えた数量) 以上を保管する。

- (注7) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載
[redacted]
- (注8) 当該ホース■本(必要本数に予備■本を加えた数量)以上を保管する。
- (注9) 公称値
- (注10) 当該マニホール■台(必要台数に予備■台を加えた数量)以上を保管する。
- (注11) 当該ホース■本(必要本数に予備■本を加えた数量)以上を保管する。

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-16

令和2年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-16

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年11月19日
至 令和2年11月25日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) 関原発第239号(2020年 8月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-16

検査年月日	検査結果	原子力検査官 姓	検査立会責任者 姓	特記事項
令和2年 11月19日	良	須貝実 環境検査官 柏木智仁	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和 2 年 11 月 19 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和 2 年 11 月 19 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和 2 年 11 月 19 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 ポンプ 可搬式代替低圧注水ポンプ 主配管 可搬式代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口 可搬式代替低圧注水ポンプ送水用 10m ホース（フランジ継手付、フランジ継手なし） 別添 1 参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 通水検査 系統性能検査 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0420、M3-3-0421 ・目視で確認した範囲：添付資料 3-3			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

- (1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

名称			変更前	変更後	
ポンプ	種類	—	—	可搬式代替低圧注水ポンプ	
	容量 ^(注)	m ³ /h/個		うず巻形	
	揚程 ^(注)	m			
	最高使用圧力 ^(注)	MPa		1.7	
	最高使用温度 ^(注)	℃		40	
	主要寸法	吸込口径		mm	
		吐出口径		mm	
		たて		mm	
		横		mm	
		高さ		mm	
		車両全長		mm	
		車両全幅		mm	
	材料	ケーシング		—	
		ケーシング		—	
		カバー		—	
個数	—	2(予備1)			
取付箇所	—				

(2/2)

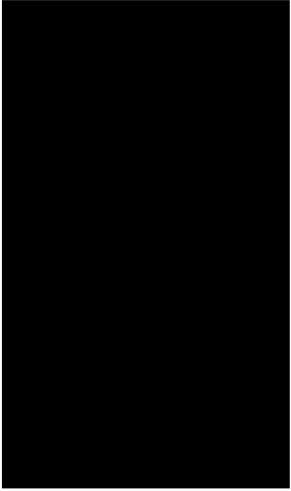
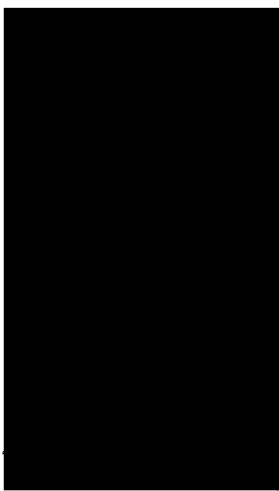
				変更前	変更後
原 動 機	種	類	-	-	三相誘導電動機
	出	力	kW/個		
	個	数	--		2(予備1)
	取	付	箇		所

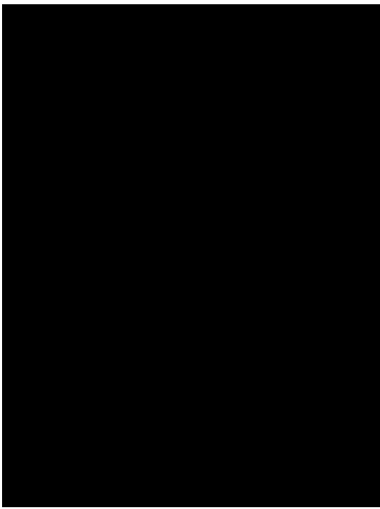
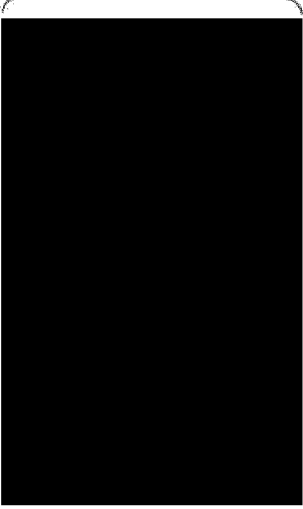
(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

変更前		変更後					取付箇所
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	取付箇所	
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 可搬式代替低圧 注水ポンプ ~ 可搬式代替低圧 注水ポンプ 出口接続口	(注1)	(注1)	(注1)	(注2)		保管場所 (注3):  取付箇所: 	

変更前		変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所	
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(b)1	(b)1	(b)4	(b)5	—	保管場所 (b)6: 	
可搬式代替 低圧注水ポンプ 送水用 mホース (フランジ継手付、 フランジ継手なし)	(b)1	(b)1	(b)4	—	—	取付箇所: 	

- (注1) 重大事故等時における使用時の値
- (注2) 公称値
- (注3) 当該設備8台(可搬式代替低圧注水ポンプの保有数と同じ数量)以上を保管する。
- (注4) メーカーにて規定する呼び径を示す。
- (注5) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- (注6) 当該ホース■本(必要本数フランジ継手付：■本、フランジ継手なし：■本)を加えた数量)以上を保管する。
- (注7) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載(必要本数フランジ継手付：■本、フランジ継手なし：■本)

検査結果一覧表

成績書管理番号：I-16

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 2 年 11 月 25 日	良	森 谷 徹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボ行一・ク・ヒン主任技師者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉冷却系統施設 原子炉格納施設 ✓ 計測制御系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） ✓ 化学体積制御設備 ✓ ほう酸注入機能を有する設備 ポンプ（恒設代替低圧注水ポンプ、充てん／高圧注入ポンプ） ・原子炉冷却系統施設 原子炉格納施設 計測制御系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） ほう酸注入機能を有する設備 主配管 <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: 2em;">}</div> <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: 1.2em;">別添 1 参照</div>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
<ul style="list-style-type: none"> ・系統機能検査 通水検査 ・系統性能検査 運転性能検査 	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： <ul style="list-style-type: none"> M3-3-0001、M3-3-0002、M3-3-0006、M3-3-0007 M3-3-0008、M3-3-0011、M3-3-0025、M3-3-0055 M3-3-0062 ・目視で確認した範囲：添付資料 3-3 参照 			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(三号検査) (立会検査)

成績書管理番号：1-17

検査年月日：令和2年11月25日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
主配管 ・原子炉下部キャビティ 注水ポンプ～B 内部スプ レクーラ出口合流点	系統機能検査 通水検査	異常なく通水されること	良	目視
備考				

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

名称		変更前	変更後
種類	—		
容量	量 (注2) m ³ /h/個		恒設代替低圧注水ポンプ (注1)
揚程	程 (注2) m		うず巻形
最高使用圧力	(注2) MPa		
最高使用温度	(注2) ℃		
吸込口径			
吐出口径			
ケーシング厚さ			
た			
横			
高さ			
ケーシング			
ケーシングカバー			
個数	—		

(2/2)

変更前		変更後	
系名 (ライン名)	—	恒設代替低圧注水ライン	
取付箇所 ポンプ	—		
設置床	—		
溢水防護上の 区画番号	—		
溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		
種	—	三相誘導電動機	
出力	kw/個		
個数	—	1	
取付箇所	—		

関原発第 418 号 平成 30 年 12 月 5 日

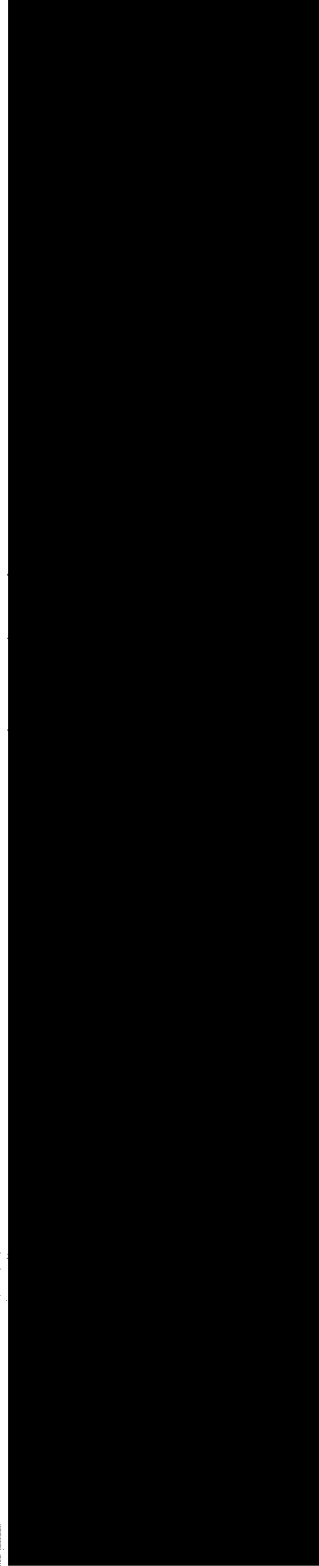
(1/2)

・常設

名称		変更前	変更後
種類	ポンプ	恒設代替低圧注水ポンプ (注1)	
容量	量 (注2)	m ³ /h/個	
揚程	程 (注3)	m	
最高使用圧力	力 (注2)	MPa	
最高使用温度	度 (注2)	℃	
主要寸法	吸込口径	mm	
	吐出口径	mm	
	ケーシング厚さ	mm	
	たて	mm	
	横	mm	
高さ	mm		
材料	ケーシング		
	ケーシングカバー		
個数	個		変更なし

(2/2)

		変 更 前	変 更 後
ポンプ	系 統 名 (ライン名)	恒設代替低圧注水ライン	変更なし
	取付箇所		
	設置床		
	溢水防護上の区画番号		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		
原動機	種 類	三相誘導電動機	変更なし
	出 力	kw/個	
	個 数	1	
	取 付 箇 所		



(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料
・常設
(次ページより記載)

変更前				変更後										
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料			
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(注9)	150	219.1	8.2	SUS27TP	弁 (3V-8926) ～ 恒設代替低圧注水ポンプ 原子炉下部キャビティ注水ポンプ行 分岐点	変更なし	変更なし	219.1	8.2	SUS304TP			
												(注3)	(注3)	(注3)
												(注3)	(注3)	(注3)
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(注2)	1.4	219.1	8.2	SUS304TP	弁 (3V-8926) ～ 恒設代替低圧注水ポンプ 原子炉下部キャビティ注水ポンプ行 分岐点	変更なし	変更なし	219.1	8.2	SUS304TP			
												(注3,4)	(注3)	(注3)
												(注3,6)	(注3,6)	(注3,6)
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(注7)	7.1	168.3	7.1	SUS304TP	弁 (3V-8926) ～ 恒設代替低圧注水ポンプ 原子炉下部キャビティ注水ポンプ行 分岐点	変更なし	変更なし	216.3	8.2	SUS304TP			
												(注7)	(注7)	(注7)
												(注7)	(注7)	(注7)

変更前					変更後								
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	料
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備													
									(注64)				
								A内部スプレ クロー 出口配管分岐点 ～ 弁(3MOV-760)	(注14) 2.7	(注14) 150	(注3) 165.2	(注3) 7.1	SUS304TP
								弁(3MOV-760) ～ A余熱除去クロー 出口配管合流点	(注14) 4.1	(注14) 200	(注3) 165.2	(注3,21) 7.1	SUS304TP

変更前					変更後								
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
(注13)													
恒設代替低圧 注水ポンプ											(注3)	9.3	SUS304TP
原子炉下部 キャピテイ注水 ポンプ行分岐点 及び											(注3)	11.1	SUS304TP
電動補助 給水ポンプ								(注14)	40		(注3)	11.1	SUS304TP
入口配管分岐点 ～											(注3)	9.3	
原子炉下部 キャピテイ注水 ポンプ 及び											(注3)	11.1	SUS304TP
恒設代替低圧 注水ポンプ											(注3)	11.1	SUS304TP
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備													

変更前					変更後									
名	称	最高使用	最高使用	料	最高使用	最高使用	最高使用	料						
		圧	温			圧	温		厚	径	厚	径		
		(MPa)	(℃)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	
(注13)														
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備					恒設代替低圧 注水ポンプ 原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ行分岐点 及び 電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ									
							0		95		165.2		7.1	
							0		95		267.4		9.3	
											318.5		10.3	
													SUS304TP	
													SUS304TP	

変更前				変更後			
名称	最高使用圧	最高使用温度	外径	名称	最高使用圧	最高使用温度	外径
	(MPa)	(°C)	(mm)		(MPa)	(°C)	
				(注13) 恒設代替低圧注水ポンプ			(注3) 355.6
				原子炉下部キャビティ注水ポンプ行分岐点及び電動補助給水ポンプ			(注3) 11.1
				入口配管分岐点			(注3) 267.4
				原子炉下部キャビティ注水ポンプ及び恒設代替低圧注水ポンプ			(注3) 9.3
				非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(注14) 0	(注14) 95	(注3) 165.2
							(注3) 10.3
							(注3) 267.4
							(注3) 9.3
							(注3) 355.6
							(注3) 11.1
							(注3) 10.3
							(注3) 318.5
							(注3) 10.3

変更前					変更後								
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備													
(注13)													
恒設代替低圧注水ポンプ													
原子炉下部キャビティ注水ポンプ行分岐点及び電動補助給水ポンプ													
入口配管分岐点													
～													
原子炉下部キャビティ注水ポンプ及び恒設代替低圧注水ポンプ													
(注14)													
0													
(注14)													
95													
(注13)													
318.5													
10.3													
(注13)													
318.5													
10.3													
(注13)													
318.5													
10.3													
(注13)													
355.6													
11.1													
(注13)													
355.6													
11.1													
(注13)													
267.4													
9.3													
(注13)													
SUS304TP													

変更前					変更後								
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚 さ (mm)	材	料	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚 さ (mm)	材	料
(注13)													
恒設代替低圧 注水ポンプ 原子炉下部 キャビテイ注水 ポンプ分岐点 及び 電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビテイ注水 ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ													
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備													
				216.3	8.2					216.3	8.2		SUS304TP
				318.5	10.3					318.5	10.3		SUS304TP
			150					1.4					
				318.5	10.3					318.5	10.3		SUS304TP
				216.3	8.2					216.3	8.2		SUS304TP

変更前					変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
						(注13)						
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ ～ B内部スプレ クローラ出口 合流点	(注14) 2.7	(注14) 95				
									(注3)	114.3	6.0	SUS304TP
									(注3)	165.2	7.1	SUS304TP
									(注3)	114.3	6.0	SUS304TP
									(注3)	165.2	7.1	
										165.2	7.1	SUS304TP
										165.2	7.1	SUS304TP
										165.2	7.1	

変更前					変更後										
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備															
(注13)															
原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ ～ B内部スプレ クター出口 合流点															
				165.2	(注3)	(注3,21)	SUS304TP	165.2	(注3)	7.1	(注3,21)	SUS304TP			
			(注14)	216.3	(注3)	(注3,21)	SUS304TP	216.3	(注3)	8.2	(注3,21)	SUS304TP			
			150		(注3)				(注3)						
				216.3				216.3		8.2					
				165.2				165.2		7.1					

変更前					変更後										
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料
									(注13)						
									非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備						
									恒設代替低圧 注水ポンプ ～ A内部スプレー クレー 出口合流点	(注14) 2.7	(注14) 95	(注3) 114.3	(注3,21) 6.0	SUS304TP	
												(注3) 165.2	(注3,21) 7.1	SUS304TP	

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	口径 (mm)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	口径 (mm)	材料
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備						(注13)		(注3)	(注3)	(注3)	SUS304TP
						恒設代替低圧注水ポンプ		165.2	7.1	114.3	
						(注14)	(注14)	(注3)	(注3)	(注3)	SUS304TP
						2.7	95	114.3	6.0	114.3	SUS304TP
								114.3	6.0	114.3	SUS304TP
								114.3	6.0	114.3	SUS304TP

変更前					変更後						
名	称	最高使用	最高使用	料	名	最高使用	最高使用	材	料		
		圧	温度			圧	温度			厚	径
		(MPa)	(°C)	(mm)			(°C)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備					恒設代替低圧注水ポンプ	114.3	95	6.0	114.3	6.0	SUS304TP
					A内部スプレ	165.2	150	7.1	165.2	7.1	SUS304TP
					クレー						
					出口合流点						

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式代替低圧注水ライン			(注3) 114.3	(注3,21) 6.0	SUS304TP
						接続口	(注14) 2.7	(注14) 40	(注3) 165.2	(注3,21) 7.1	SUS304TP
						恒設代替低圧注水ポンプ			(注3)	(注3)	
						出口配管合流点			165.2	7.1	SUS304TP
									114.3	6.0	

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備						可搬式代替低圧注水ライン 接続口 ～ 恒設代替低圧注水ポンプ 出口配管合流点	(注14) 2.7	(注14) 40	(注3)	(注3)	SUS304TP
									165.2	7.1	
									165.2	7.1	
									(注3)	(注3)	SUS304TP
									165.2	7.1	
									165.2	7.1	

変更前					変更後																	
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料							
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備														可搬式代替低圧 注水ライン 接続口 ～ 恒設代替低圧 注水ポンプ 出口配管合流点	(注3)	60.5	(注3,21)	3.9	SUS304TP			
														(注14)	2.7	(注14)	95	(注3)	165.2	(注3,21)	7.1	SUS304TP
														(注3,24)	114.3	(注3,24)	6.0	(注3)	165.2 /	7.1 /	SUS304TP	
														(注3)	114.3	(注3)	6.0	SUS304TP				
														(注3)	114.3	(注3)	6.0	(注3)	114.3	(注3)	6.0	SUS304TP

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備							
	充てん流量計 後分岐点 ～ 事故等時バイパス ライン ～ 弁(3MOV-8108) 前合流点	(注14) 18.8	(注14) 150	(注3) 60.5 / 60.5	(注3) 8.7 / 8.7	(注3,21) SUS304TP	
				(注3) 60.5 / 60.5	(注3) 8.7 / 8.7	SUS304TP	

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備							
	(注65) 約 1.1m側 復水タンク海水 補給水タンク 接続口 ～ 弁 (3CW-100)	(注14) 1.6	(注14) 40	(注9) 165.2	(注9) 7.1		SUS304TP
	(注65)			(注9) 165.2	(注9) 7.1		SUS304TP
	弁 (3CW-100) ～ 復水タンク	(注14) 0	(注14) 40	(注9) 165.2	(注9) 7.1		SUS304TP

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁(3-8926)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

- (注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注7) 重大事故等時に使用
- (注8) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（3-8926）～弁（3-LCV-115D、E）」及び「逆止弁（3-8926）出口分岐点～弁（3-8927）」と記載
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（3-8926）～弁（3-LCV-115D、E）」と記載
- (注11) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-8927）～逆止弁（3-8926）入口合流点」と記載
- (注13) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注14) 重大事故等時における使用時の値
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口集合母管～レジュューサ（4×3）」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ（4×3）～レジュューサ（4×3）」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ（4×3）～弁（3-8803A、B）および弁（3-8816）」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ（4×3）～弁（3-8815）及び弁（3-8814）」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（3-8815）～分岐点」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（3-8942A、B、C）」と記載
- (注21) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（3-8942A、B、C）～余熱除去クーラ出口合流点」と記載
- (注23) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

- (注24) エルボを示す。
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5」と記載
- (注26) 公称値は既工事計画書に記載がないため適正化を行う。
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8803A、B) ～ほう酸注入タンク入口レギュレーサ (6×3)」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (6×3) ～ほう酸注入タンク」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク出口レギュレーサ (6×3) ～弁 (3-8801A、B)」と記載
- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8801A、B) ～分岐点」と記載
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (3-8944A、B、C)」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (3-8944A、B、C) ～余熱除去クーラ出口合流点」と記載
- (注33) 記載内容は、既工事計画認可申請書 (平成24年2月7日付け関原発第465号工事計画認可申請書、平成24年2月28日付け平成24・02・07原第8号にて認可) による。なお、本工事計画は、認可された工事計画に対して、基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「— / (60.5) / (60.5)」と記載
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「— / (8.7) / (8.7)」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「— / (差し込み部の内径) (61.1) / (差し込み部の内径) (61.1)」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「— / (最小) 9.5 / (最小) 9.5」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8816) ～分岐点」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (3-8937A、B、C)」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8814) ～分岐点」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (3-8939A、B、C)」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (3-8937C) 及び逆止弁 (3-8939C) ～逆止弁 (3-8940C)」と記載
- (注43) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (3-8937A、B) 及び逆止弁 (3-8939A、B) ～余熱除去クーラ出口合流点」と記載

載

- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁(3-8811A、B)」と記載
- (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-8811A、B)～弁(3-8812A、B)」と記載
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁(3-8958)」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁(3-8958)～弁(3-8809A、B)」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプミニマムフローライン分岐点～弁(3-8818A、B)及び弁(3-8819)」と記載
- (注49) SUS32TP同等材(SUS316TP)への取替えを行う。
- (注50) 余熱除去設備と兼用
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-8818A、B)～逆止弁(3-8971A、B)を経てBルーブコールドレグ注入ラインの分岐点」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Bルーブコールドレグ注入ラインの分岐点～逆止弁(3-8973A、B、C)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-8819)～分岐点」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁(3-8935A、B)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁(3-8973A、B、C)～逆止弁(3-8945A、B、C)」と記載
- (注56) 記載内容は、既工事計画届出書(平成24年度2月7日付け関原発第466号工事計画届出書)による。なお、本工事計画は、届出した工事計画に対して、基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。
- (注57) 余熱除去設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-8935A、B)～逆止弁(3-8940A、B)」と記載
- (注59) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注60) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年2月24日付け関工発第226号にて軽微変更届出した工事計画書の参考資料2「アキムレータ強度計算書(分割第4次申請分資料16)」による。
- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-8808A、B、C)～逆止弁(3-8948A、B、C)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁(3-5400)」と記載

- (注63) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注64) 本設備は既存の設備である。
- (注65) 蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

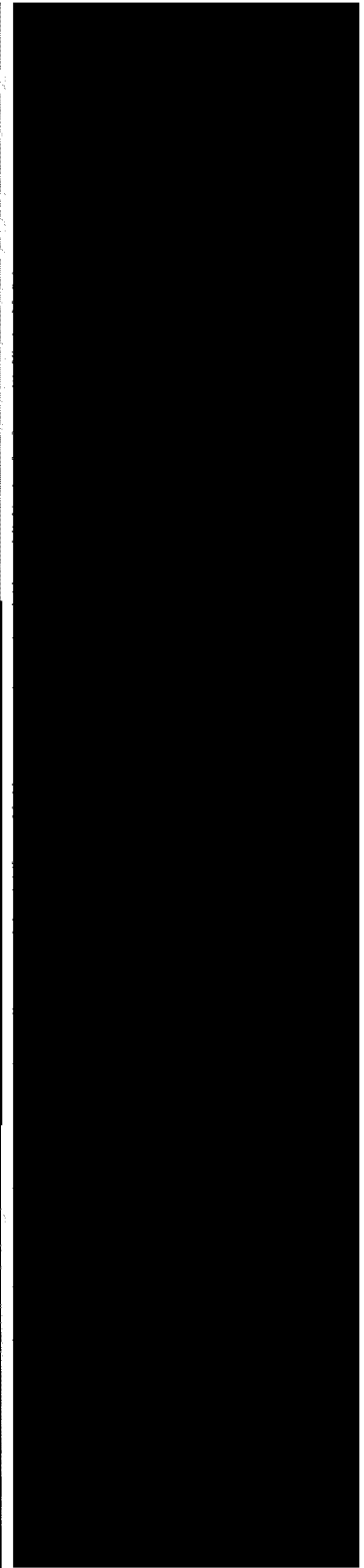
- 8 化学体積制御設備に係る次の事項
 (2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに原動機の種類、出力及び個数

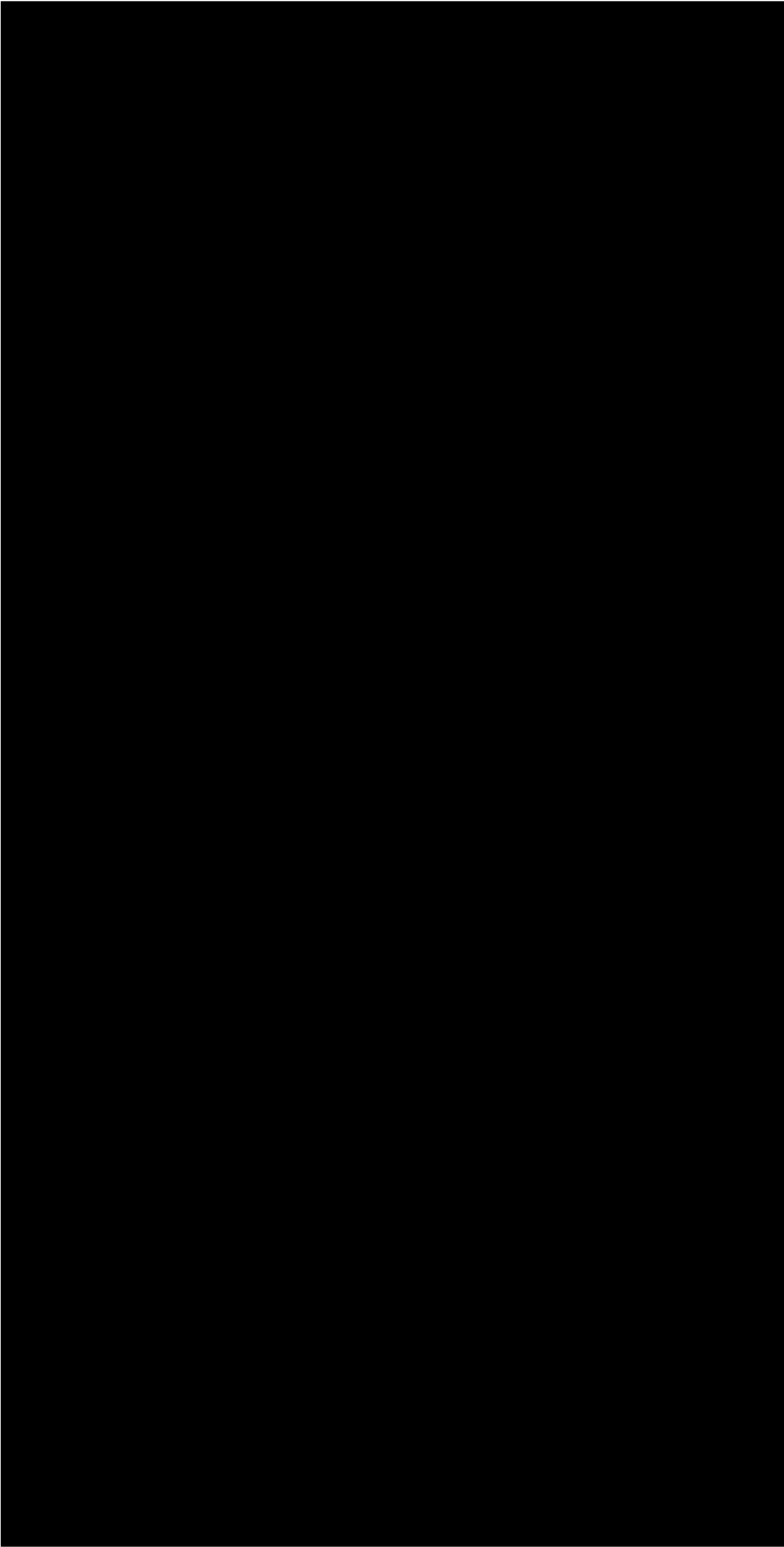
(1/2)

名称		変更前	変更後
種類	ポンプ	充てん/高圧注入ポンプ うず巻形(注2)	充てん/高圧注入ポンプ(注1)
容量	m ³ /h/個		変更なし
揚程	m		変更なし
最高使用圧力	MPa		
最高使用温度	℃		
主要寸法			
吸込口径	mm		
吐出口径	mm		
ケーシング厚さ	mm		
たて	mm		
横	mm		
高さ	mm		

(2/2)

		変更前	変更後
ポンプ	ケーンシグ		変更なし
	ケーンシグ		
	ケカバ		
	個数		
	系統名(ライン名)		A充てん/高圧注入ポンプ A充てん/高圧注入ライン B充てん/高圧注入ポンプ B充てん/高圧注入ライン C充てん/高圧注入ポンプ C充てん/高圧注入ライン
	取付箇所		
	設置床		
	溢水防護上の区画番号		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		
	種類	三相誘導電動機 (注12)	
原動機	出力		変更なし
	個数		
	取付箇所 (注11)		ポンプと同じ





関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-17

令和 2 年 11 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-17

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年11月25日
至 令和2年11月25日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号 (平成29年12月15日) 関原発第427号 (平成30年 3月16日) 関原発第 62号 (平成30年 4月20日) 関原発第158号 (平成30年 6月25日) 関原発第201号 (平成30年 7月 4日) 関原発第414号 (平成30年12月 5日) 関原発第517号 (平成31年 2月 6日) 関原発第 61号 (2019年 5月16日) 関原発第121号 (2019年 6月28日) 関原発第167号 (2019年 7月25日) 関原発第216号 (2019年 9月 2日) 関原発第640号 (2020年 3月24日) 関原発第650号 (2020年 3月30日) 関原発第 30号 (2020年 4月 7日) 関原発第239号 (2020年 8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-17

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 11月25日	良	荒谷 徹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-17

検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-17

検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-17

検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 70%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉冷却系統施設 原子炉格納施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） ポンプ（原子炉下部キャビティ注水ポンプ） ・原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） 主配管 </div> <div style="width: 25%; text-align: center; vertical-align: middle;"> } 別添1参照 </div> </div>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
<ul style="list-style-type: none"> ・系統機能検査 通水検査 ・系統性能検査 運転性能検査 	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">記録確認</div> </div>
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： M3-3-0062、M3-3-0114 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(三号検査) (立会検査)

成績書管理番号：1-17

検査年月日：令和2年 11月 25日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
ポンプ (原子炉下部キャビティ 注水ポンプ)	系統性能検査 運転性能検査	<ul style="list-style-type: none"> 測定値等は別紙1のとおり ポンプの運転時に異音、異臭等の異常がないこと 	良	
主配管 <ul style="list-style-type: none"> 原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口配管分岐点～弁 (3MOV-5420) 弁 (3MOV-5420) ～格納容器貫通部 PEN#301 格納容器貫通部 PEN#301～弁 (3V-5421) 	系統機能検査 通水検査	異常なく通水されること	良	目視
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-17

検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統性能検査 運転性能検査	圧力計 (入口)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2020. 8. 28 次回定期事業者検査まで	
系統性能検査 運転性能検査	圧力計 (出口)				2020. 8. 28 次回定期事業者検査まで	
系統性能検査 運転性能検査	流量計				2020. 9. 18 次回定期事業者検査まで	
以下余白						

1. 運転性能試験記録
2. 検査年月日：令和 2 年 11 月 25 日

容量 (m ³ /h/個)		揚程 (m)	
工事計画記載値	設計値	工事計画記載値	設計値
	確認値		確認値

備考：揚程については、JIS8301（ポンプ試験方法）を準用し吸込圧力、吐出圧力等により算出した。

注 1：原子炉下部キャビティに注水する場合の値

注 2：原子炉格納容器内にスプレイする場合の値

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの(蒸気タービンに係るものを除く。)にあつては、次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

- (1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

(1/2)

・常設

名称		変更前	変更後
種類	—		
容量	量 (注2) m ³ /h/個		原子炉下部キヤピティ注水ポンプ (注1)
揚程	程 (注2) m		うず巻形
最高使用圧力	力 (注2) MPa		2.7
最高使用温度	度 (注2) ℃		95
主要寸法			
吸込口径	mm		
吐出口径	mm		
ケーシング厚さ	mm		
た	mm		
横	mm		
高さ	mm		
材料	ケ—シング		
	ケ—シングカパー		
個数	—		1

(2/2)

		変更前		変更後	
ポンプ	系統名 (ライン名)	—	—	原子炉下部キャビティ注水ライン	
	取付箇所	—			
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			
原動機	種類	—	三相誘導電動機		
	出力 kW/個	—			
	台数	—	1		
取付箇所	—				

(注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 原子炉下部キャビティに注水する場合の値

(注5) 原子炉格納容器内にスプレーする場合の値

関原発第 418 号 平成 30 年 12 月 5 日

(1/2)

・常設

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類	—	原子炉下部キャピタリ注水ポンプ (注1)	
容 量 (注2)	m ³ /h/個		
揚 程 (注2)	m		
最 高 使 用 圧 力 (注2)	MPa	2.7	
最 高 使 用 温 度 (注2)	℃	95	
吸 込 口 径			
吐 出 口 径			
ケーシング厚さ			
た て			
横			
高 さ			
ケ ー シ ン グ			
ケ ー シ ン グ カ バ ー			
個 数	—	1	

変更なし

関原発第 418 号 平成 30 年 12 月 5 日

(2/2)

変更前		変更後	
ポンプ	系統名 (ライン名)	原子炉下部キャビティ注水ライン	変更なし
取付箇所	設置床		
	溢水防護上の 区画番号		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		
原動機	種類	三相誘導電動機	変更なし
	出力 kW/個		
	台数	1	
	取付箇所		

(注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 原子炉下部キャビティに注水する場合の値

(注5) 原子炉格納容器内にスプレイする場合の値

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(1) 格納容器安全設備に係る次の事項

り 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前				変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
						格納容器安全設備						
							原子炉下部			(注3, 27) 88.9	(注3, 19, 27) 5.5	(注3) SUS27TP
							キャビティ注水			(注3) 88.9	(注3) 5.5	(注3) SUS304TP
							ポンプ出口配管	2.7	95	(注3) 89.1	(注3) 5.5	(注3) SUS304TP
							分岐点			(注3) 114.3	(注3, 15) 6.0	(注3) SUS304TP
							弁 (3MOV-5420)			(注3) 165.2	(注3, 15) 7.1	(注3) SUS304TP

変更前				変更後						
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	さ材	料			
	格納容器安全設備				(注3)	SUS304TP				
					114.3			6.0	114.3	6.0
					/			/	/	/
	原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)	2.7	95	(注3)	SUS304TP					
				165.2				7.1	165.2	7.1
				/				/	/	/
				(注3)	SUS304TP					
				89.1				5.5	89.1	5.5
				/				/	/	/

変更前						変更後									
名	称	最高使用	最高使用	径厚	径厚	最高使用	最高使用	径厚	径厚	材	料				
		圧	温				圧					温	材	料	
		(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)		(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)					
格納容器安全設備						原子炉下部 キャビテイ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)									
										(注3)					
									88.9	5.5					
									/	/					
									-	-		SUS304TP			
									/	/					
							2.7	95	88.9	5.5					
									(注3)	(注3)					
									88.9	5.5					
									/	/					
									-	-		SUS304TP			
									89.1	5.5					

変更前					変更後												
名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(°C)	外径(mm)	径厚(mm)	口径(mm)	径厚(mm)	外径(mm)	最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(°C)	口径(mm)	径厚(mm)	外径(mm)	材料				
格納容器安全設備	-	-	-	-	弁 (3MOV-5420)		88.9	(注3, 27)		88.9	5.5	(注3, 27)	(注27)	SUS27TP			
					~												
					格納容器貫通部 PEN#301	2.7	138	114.3	(注3)	6.0	(注3, 16)						SUS304TP
					格納容器貫通部 PEN#301 ~ 弁 (3V-5421)	2.7	138	88.9	(注3)	5.5	(注3)						SUS304TP

変更前					変更後										
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	さ材	料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	さ材	料
格納容器安全設備															
	弁 (3V-5421)														
	原子炉下部 キャビティ 取合点	2.7	138	165.2	7.1	SUS304TP						88.9	5.5	SUS27TP	
				89.1	5.5	SUS304TP						88.9	5.5	SUS304TP	
				165.2	7.1	SUS304TP						88.9	5.5	SUS27TP	
				89.1	5.5	SUS304TP						88.9	5.5	SUS304TP	

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁 (3-6400A、B) J」と記載

(注2) SI単位に変換したものである。

- (注3) 公称値
- (注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注6) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他発電用原子炉の附属施設(火災防護設備)のうち消火設備と兼用
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-6400A、B)～A、B、C、D内部スプレポンプへの分岐点」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁(3-6408A、B)」と記載
- (注9) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用
- (注10) 重大事故等時における使用時の値
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-6408A、B)～内部スプレポンプへの合流点」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプへの分岐点～内部スプレポンプ入口レギュサ(10×8)」と記載
- (注13) SUS27TP同等材(SUS304TP)への取替えを行う。
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口レギュサ(8×6)～内部スプレクローラへの合流点」と記載
- (注15) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクローラ入口合流点～内部スプレクローラ出口分岐点」と記載
- (注17) 重大事故等時に使用
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクローラ出口分岐点～レギュサ(8×6)」及び「レギュサ(8×6)および分岐点～オリフィス」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュサ(8×6)および分岐点～オリフィス」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「オリフィス～内部スプレリングヘッダー」と記載
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレリングヘッダー(1A、2A、4A、1B、2B、4B)」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレリングヘッダー(3A、3B)」と記載

- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-6417A、B)～エダクタ」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「よう素除去薬品タンク～弁(3-6417A、B)」と記載
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクター出口分岐点～弁(3-6411A、B)」と記載
- (注26) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注27) 本設備は既存の設備である。

関原発第227号 平成30年7月25日

変更前				変更後										
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料			
格納容器安全設備 原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)	2.7	95	(注3)	(注3,16)	SUS27TP	変更なし	2.7	95						
			88.9	5.5										
			(注3)	(注3)								SUS304TP	変更なし	(注10)
			88.9	5.5										
			(注3)	(注3)										
89.1	5.5	SUS304TP												
(注3)	(注3,16)	SUS304TP	変更なし	(注10)										
114.3	6.0													
(注3)	(注3,16)	SUS304TP	変更なし	(注10)										
165.2	7.1													

関原発第227号 平成30年7月25日

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材質	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材質
格納容器安全設備	2.7	95	(注3) 114.3	(注3) 6.0	SUS304TP	変更なし	(注10) 2.7	(注10) 95			変更なし
			/	/							
			88.9	5.5							
原子炉下部 キャピタリ注水 ポンプ出口配管 分岐点 弁 (3MOV-5420)	2.7	95	(注3) 165.2	(注3) 7.1	SUS304TP	変更なし	(注10) 2.7	(注10) 95			変更なし
			/	/							
			89.1	5.5							
格納容器安全設備	2.7	95	(注3) 165.2	(注3) 7.1	SUS304TP	変更なし	(注10) 2.7	(注10) 95			変更なし
			/	/							
			165.2	7.1							

関原発第227号 平成30年7月25日

変更前				変更後			
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	口径厚 (mm)	外径 (mm)	径厚 (mm)
格納容器安全設備	2.7	95	(注3) 88.9	(注3) 5.5	—	—	—
			—	—			
原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (3MOV-5420)	2.7	95	(注3) 88.9	(注3) 5.5	SUS304TP	変更なし	変更なし
格納容器安全設備			(注3) 88.9	(注3) 5.5	SUS304TP	変更なし	変更なし

関原発第227号 平成30年7月25日

変更前				変更後			
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	口径	材料	名称
格納容器貫通部 弁 (3MOV-5420)	2.7	138	(注3) 88.9	(注3) 5.5	SUS27TP	SUS304TP	変更なし
			(注3) 114.3	(注3,16) 6.0			
格納容器貫通部 PEN#301	2.7	138	(注3) 114.3	(注3) 6.0	SUS304TP	SUS304TP	変更なし
			(注3) 88.9	5.5			
格納容器貫通部 弁 (3V-5421)	2.7	138	(注3) 88.9	(注3,16) 5.5	SUS304TP	SUS304TP	変更なし
格納容器安全設備				格納容器安全設備			

28

関原発第227号 平成30年7月25日

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
格納容器安全設備 弁 (3V-5421) ～ 原子炉下部 キャビティ 取合点	2.7	138	(注3)	(注3,15)	SUS27TP	変更なし	2.7	138			
			88.9	5.5							
			(注3)	(注3,15)	SUS304TP						
			88.9	5.5							
			(注3)	(注3,15)	SUS304TP						
			165.2	7.1							
(注3)	(注3)	SUS304TP	(注10)	(注10)	変更なし						
165.2	7.1										
89.1	5.5										
(注3)	(注3)	SUS304TP									
88.9	5.5										
89.1	5.5										

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁 (3-6400A、B) 」と記載

(注2) SI単位に変換したものである。

関原発第227号 平成30年7月25日

- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(3-6417A、B)～エダクダ」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「よう素除去薬品タンク～弁(3-6417A、B)」と記載
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクター出口分岐点～弁(3-6411A、B)」と記載
- (注26) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。